SONY

3-866-481-**03** (1)

ビデオカセットレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

D VHS Hi-Fi



S200 デジタルCSチューナー

G-CODE®

SLD-DC1

LPT0234-001C

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録画防止機能について

別売りのデジタルCSチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

次のようなことはできません

－テレビ放送をD-VHSテープにデジタル録画する
－入力端子につないだ機器からD-VHSテープにデジタル録画する
－i.LINK端子と、デジタルビデオデッキやデジタルビデオカメラ、パソコンなどのDV入力/出力端子をつないで録画する・再生する

ユーザー登録について

本機をお買い上げいただいたお客様には、ユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録をしていただくと、機能のアップグレードの情報やテクニカルサポートのご案内をさせていただきます。
詳しくは、添付の「ユーザー登録のお願い」をご覧ください。

- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“i.”は商標です。
- D-VHSは日本ビクター株式会社の登録商標です。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号 赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

目次

接続と準備

再生

録画・予約

スマートファイル

他機をつないで行う操作

デジタル録画・再生 (i.LINK対応デジタルCSチューナー)

その他

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
リモコンと同じなまえのビデオ本体のボタンも同じように使えます。

主な特長

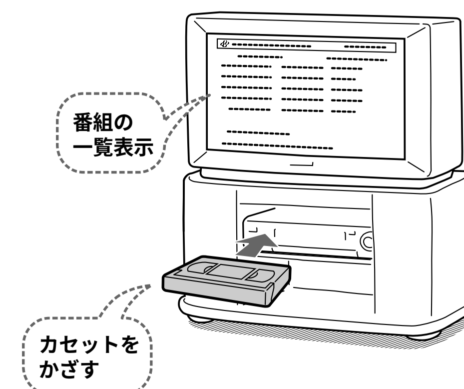
本機は、1本のテープに続けて録画すると、録画の内容をテレビ画面に表示し、頭出しできる、スマートファイル機能付きビデオです。
また、別売りのi.LINK対応デジタルCSチューナーを組み合わせて、デジタル録画および再生をすることができます。

スマートファイル機能

録画した内容をテレビ画面に表示して、頭出し再生できる（☛ 66ページ）



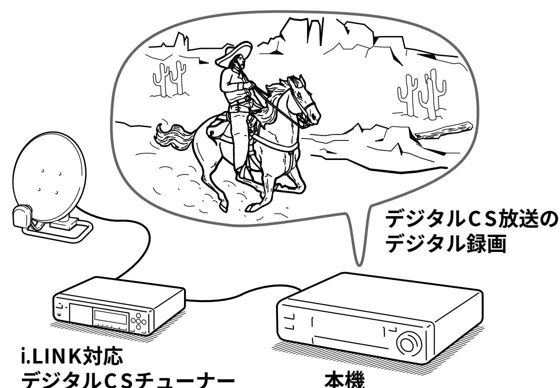
カセットを本機にかざして、番組の一覧を表示する（☛ 67ページ）



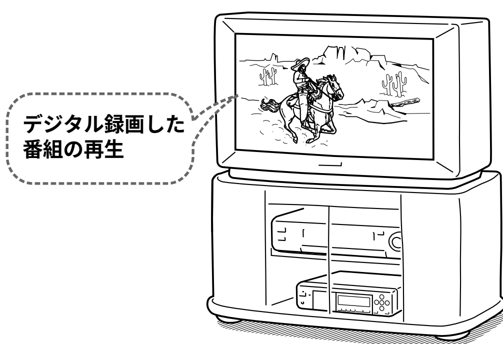
デジタル録画・再生

別売りのi.LINK対応デジタルCSチューナーをつなぐと、D-VHSテープでデジタル録画および再生をすることができます。

デジタルCS放送の番組をD-VHSテープにデジタル録画できる（☞ 82ページ）



デジタル録画した番組を見る（☞ 84ページ）



i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。i.LINKについて詳しくは、☞ 79ページをご覧ください。

D-VHSテープについて

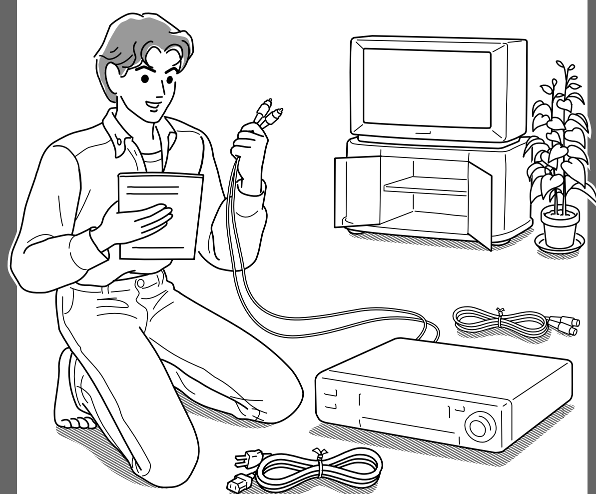
D-VHSテープでは、D-VHS方式のデジタル録画および、VHS方式のアナログ録画をすることができます。

さらにこんなことができます。

- G**コード予約**（☞ 58**ページ**）
- **ピッタリ録画**でテープ残量を判断し、自動的に録画モードを3倍に切り換え（☞ 43**ページ**）
- CM**早送り**で再生中にCMとばし（☞ 45**ページ**）
- リモコンで各社のテレビを操作（☞ 39**ページ**）
- **ジャストクロック**で時計を自動補正（☞ 25**ページ**）

接続と準備

ここでは、本機を使用するために最低限必要なアンテナやテレビなどの接続および、時計やチャンネル合わせなどの準備について説明します。
さらに、BS放送やケーブルテレビ、デジタルCS放送などをお楽しみいただける別売りの機器とのつなぎかたも説明しています。
以下の機器の接続は（　）内のページをご覧ください。
- ビデオカメラ・ビデオデッキなどのビデオ機器（☛75ページ）
- ゲーム機（☛75ページ）



接続と準備の流れ

手順**1**～**8**まで済ませれば、本機を使用できる状態になります。

手順1：付属品を確かめる　☛7ページ

手順2：リモコンを準備する　☛7ページ

手順3：アンテナとテレビにつなぐ　☛9ページ

手順4：電源コードをつなぐ　☛16ページ

手順5：接続の確認をする　☛16ページ

手順6：チャンネルとGコードの設定をする　☛18ページ

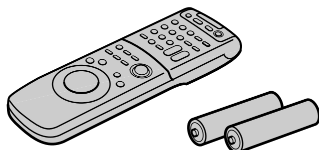
手順7：時計を合わせる　☛24ページ

手順8：チャンネルとGコードの設定の確認をする　☛26ページ

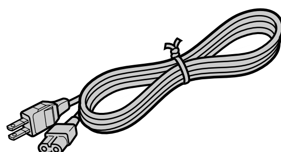
手順1:
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

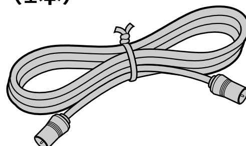
リモコン（1個）と
単3形（R6）乾電池（2個）



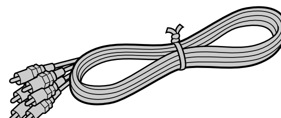
電源コード（1本）



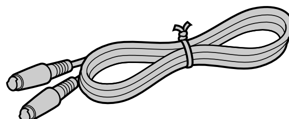
F型コネクター付き同軸ケーブル（1本）



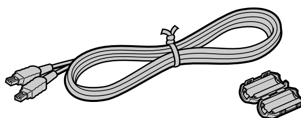
映像・音声コード（1本）



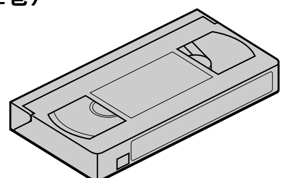
S映像コード（1本）



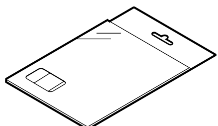
i.LINKケーブル（1本）と
ノイズ防止用コア（1個）



D-VHSカセット（録画用）（1巻）



スマートファイルラベル（5枚）

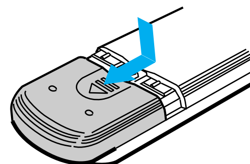


取扱説明書
安全のために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書 **（各1部）**

手順2:
リモコンを準備する

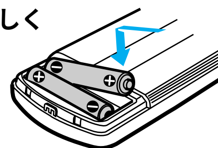
乾電池を入れ、ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認します。リモコンモードが合っていないと、リモコンで操作できません。

1 **裏面のフタを開ける。**

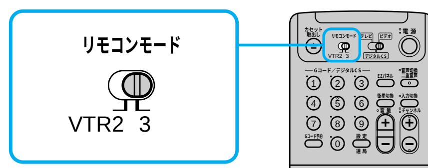


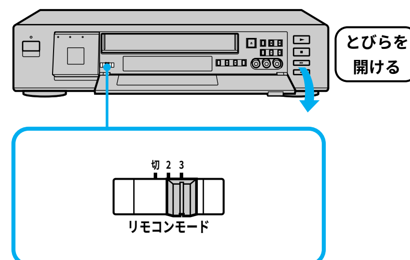
2 **単3形（R6）乾電池を2個入れる。**
必ずイラストのように⊖極側から乾電池を入れてください。

⊕と⊖の向きを正しく



3 **ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認する。**
お買い上げ時はリモコン、ビデオ本体とも「VTR3」になっています。





次のページにつづく

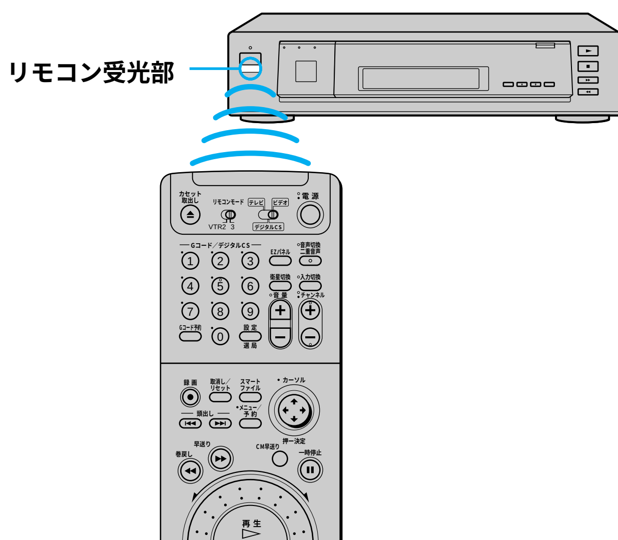
手順2：リモコンを準備する（つづき）

2台以上のソニーのビデオデッキを使うときは

操作したいビデオデッキだけが反応するように、ビデオデッキごとに別のリモコンモードを設定します。例えば、もう1台のビデオデッキが「VTR3」に設定されている場合は、本機を「VTR2」に設定します。リモコンモードスイッチのないビデオの場合は、ベータは「VTR1」、8ミリは「VTR2」、VHSは「VTR3」、DVは「VTR2」または「VTR4」に設定されています。

リモコンの使いかた

リモコンを使うときは、リモコンをビデオ本体のリモコン受光部に向けて操作します。



ちょっと一言

- ビデオ本体のリモコンモードスイッチを「切」にすると、リモコンの操作を受け付けなくなります。
- 乾電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください（☞ 39ページ）。

ご注意

- 付属のリモコンは本機専用です。他のビデオデッキには使用できません。

⚠注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください

乾電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

乾電池を長時間使用しないとき、使い切ったときは、リモコンから取り出しておいてください

乾電池を入れたままにしておくと、放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

手順3：アンテナとテレビにつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線をはずして、本機につなぎます。
テレビに映像・音声入力端子があるときと、ないときで本機とテレビのつなぎかたが異なります。

テレビだけを使っていたとき

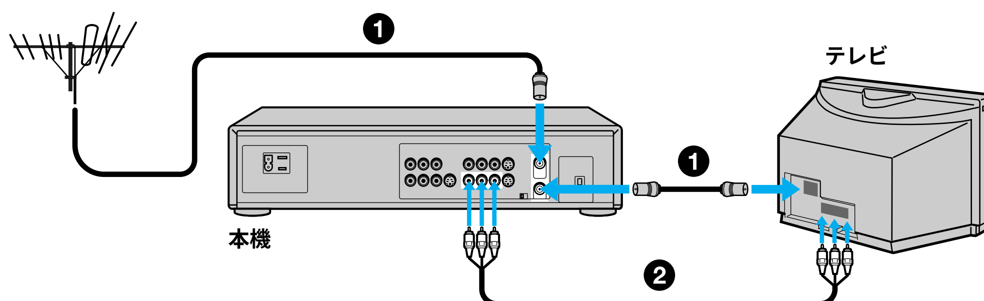




本機とテレビを使うには

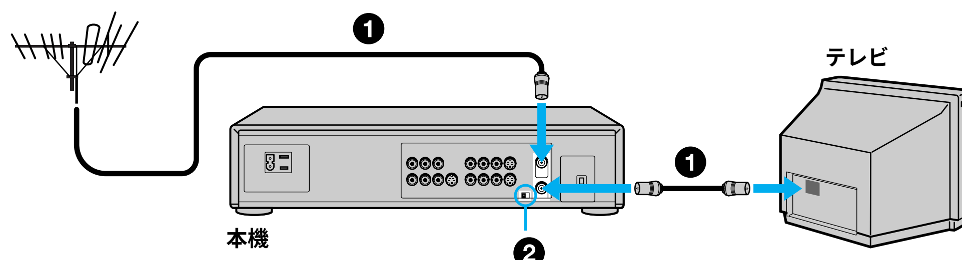
テレビに映像・音声入力端子があるとき

❶ **アンテナ線をつなぐ（☞ 10ページ）**
❷ **映像・音声コードをつなぐ（☞ 14ページ）**



テレビに映像・音声入力端子がないとき

❶ **アンテナ線をつなぐ（☞ 10ページ）**
❷ **チャンネル切換スイッチを合わせる（☞ 15ページ）**

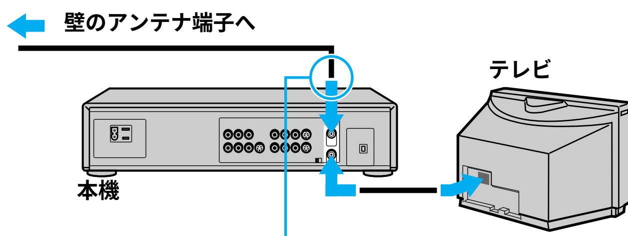


次のページにつづく

手順3：アンテナとテレビにつなぐ（つづき）

アンテナ線をつなぐ

テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線がつながっている場合は、はずして本機につなぎ直します。



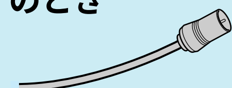
アンテナ線の形に合わせて、次のⒶ～Ⓕのつなぎかたを選んでください。

ちょっと一言

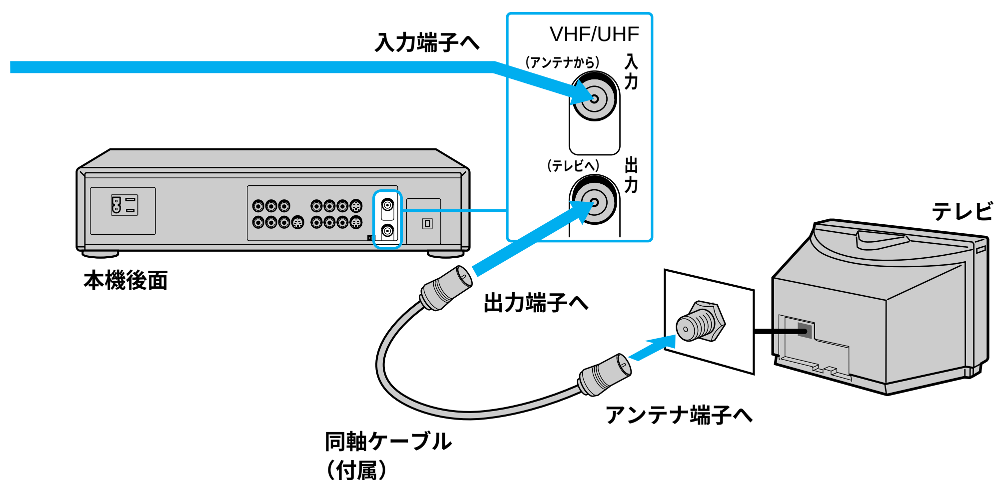
- 次のときは別売りのアンテナブースターを、本機とアンテナの間につないでください。
  - 電波が弱く画面にチラつき、斜めじまが入るとき
  - 2台以上のビデオにアンテナをつなぐとき

該当する接続がないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

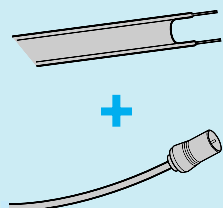
Ⓐプラグ付き同軸ケーブルのとき



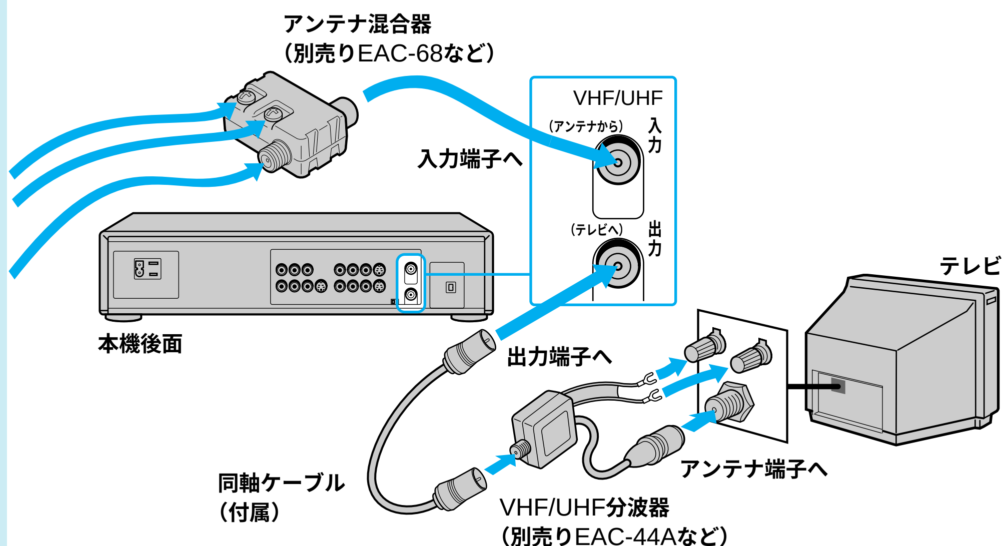
マンションなどの共同受信システムなどで、壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のときはⒻ（☞13ページ）をご覧ください。



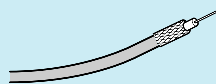
Ⓑフィーダー線＋プラグ付き同軸ケーブルのとき

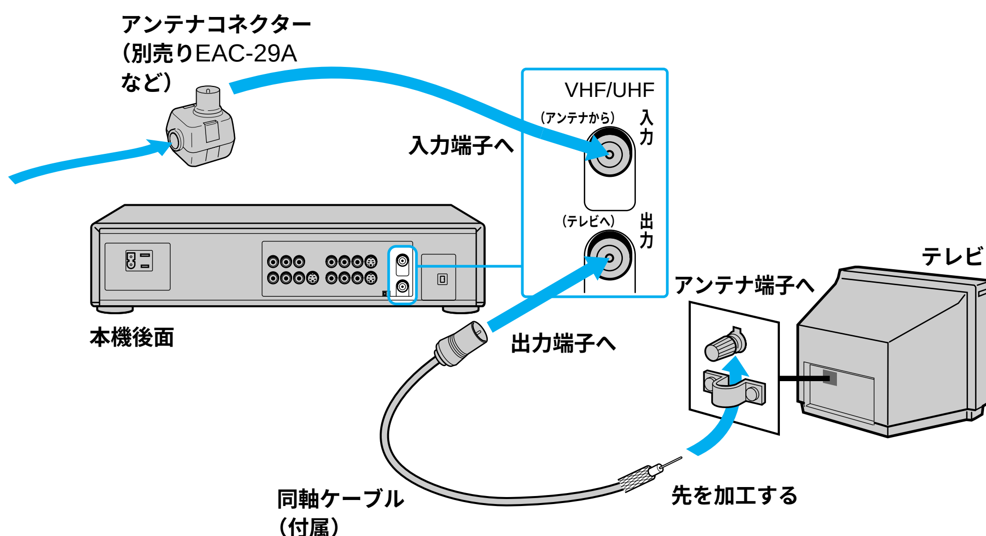


- フィーダー線をつなぐ（☞12ページ）



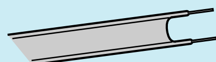
Ⓒ プラグなし同軸ケーブルのとき



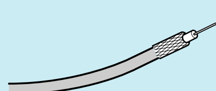


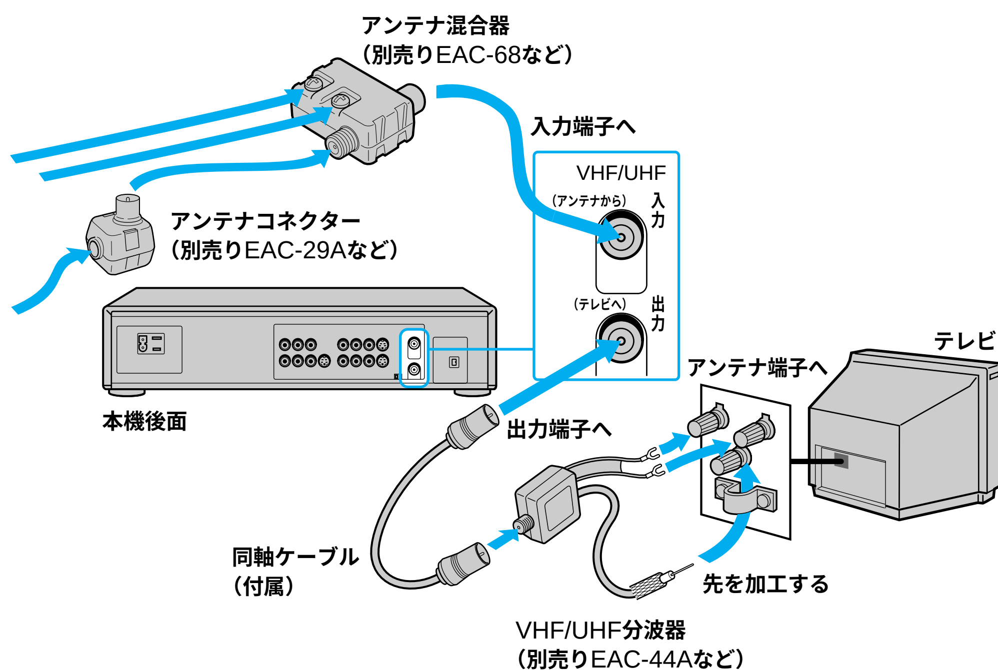
- 同軸ケーブルの先を加工する（☛ 12ページ）

Ⓓ フィーダー線＋プラグなし同軸ケーブルのとき









- 同軸ケーブルの先を加工する（☛ 12ページ）
- フィーダー線をつなぐ（☛ 12ページ）

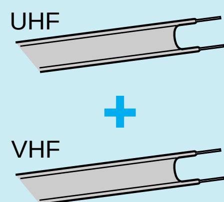
ご注意

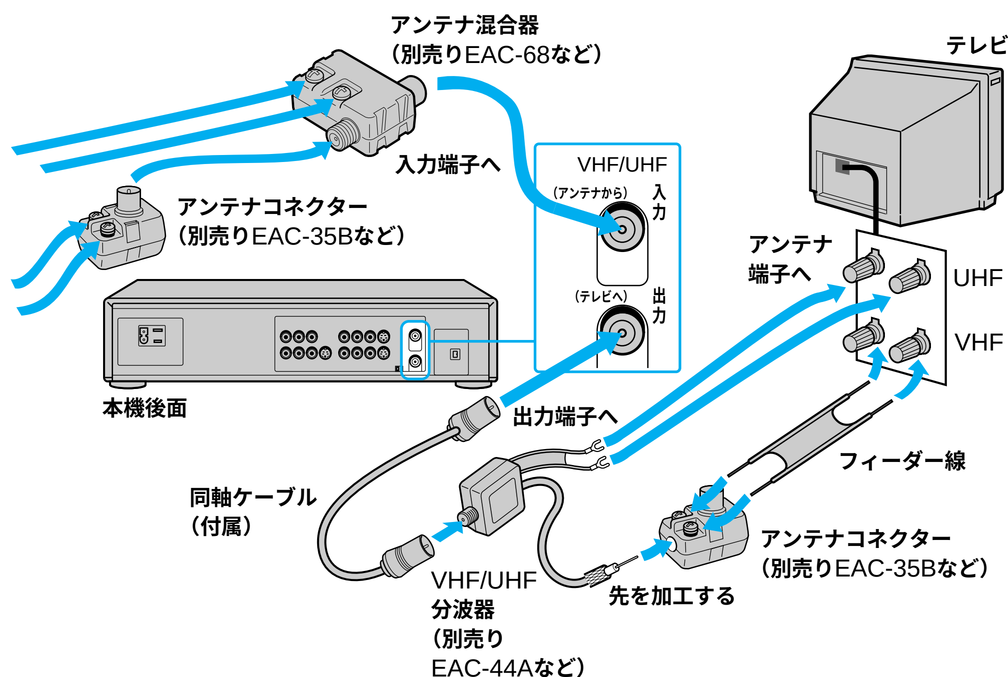
- 画像の乱れを防ぐために
  - 本機の上にテレビを直接置かないでください。
  - アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機から離してください。
- アンテナコネクターで、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子をつながないでください。

次のページにつづく

手順3：アンテナとテレビにつなぐ（つづき）

Ⓔ フィーダー線＋フィーダー線のとき

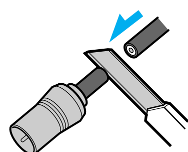




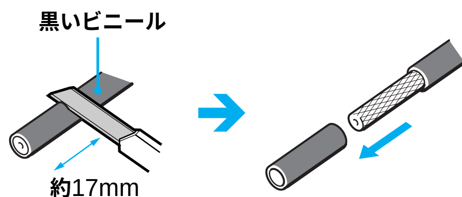
- フィーダー線をつなぐ（☞ 12ページ）

同軸ケーブルの先を加工する

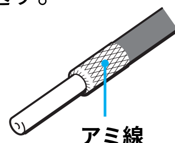
1 プラグが付いているときは、切り取る。



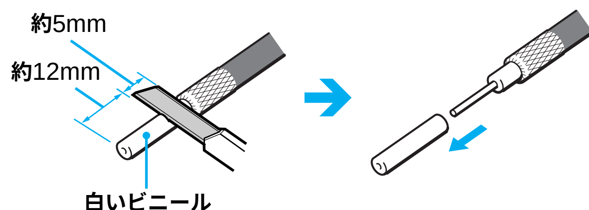
2 外側の黒いビニールだけにすじを入れて切り取る。



3 アミ線を折り返す。

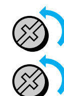


4 芯線にキズをつけないように、内側の白いビニールにすじを入れて切り取る。



フィーダー線をつなぐ

1 ネジをゆるめる。



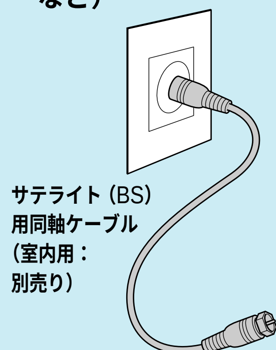
2 芯線を巻き付ける。

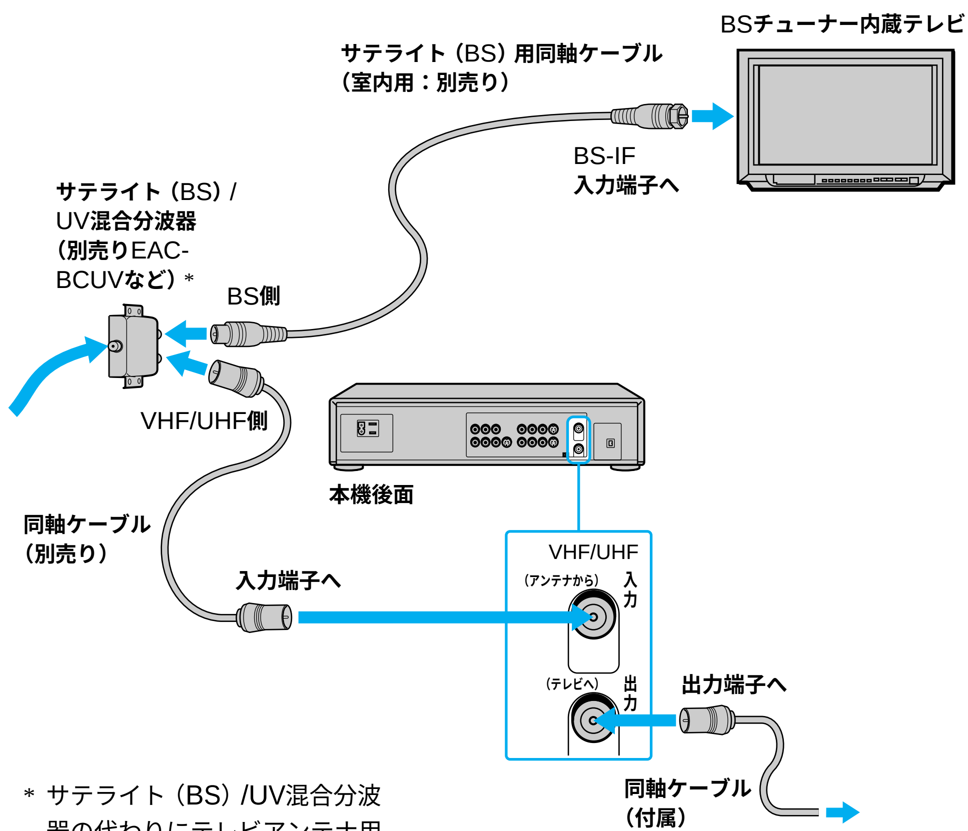


3 ネジをしめる。

F 壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のとき

（マンションなどの共同受信システムなど）





＊ サテライト（BS）/UV混合分波器の代わりにテレビアンテナ用のコネクターや分波器、分配器を使わないでください。きれいに受信できません。

次のページにつづく

手順3：アンテナとテレビにつなぐ（つづき）

映像・音声コードをつなぐ

（テレビに映像・音声入力端子があるとき）

テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力1端子または出力2端子とテレビの入力端子を付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続より、きれいな画像とステレオ音声が楽しめます。

壁のアンテナ端子へ
本機後面
（赤）（白）（黄）（黒）
右−音声−左　映像　S映像
出力2
映像・音声コード（付属）
S映像コード（付属）（S映像端子付きのテレビをつなぐとき）
音声(右)　音声(左)　映像　S映像
ビデオ入力
（赤）（白）（黄）（黒）
テレビ
アンテナ線（同軸ケーブル）

⇀：映像・音声信号の流れ

S映像入力端子付きのテレビとつなぐときは

S映像コードを使うと、よりきれいな映像が楽しめます。このとき、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

ビデオを見るときは

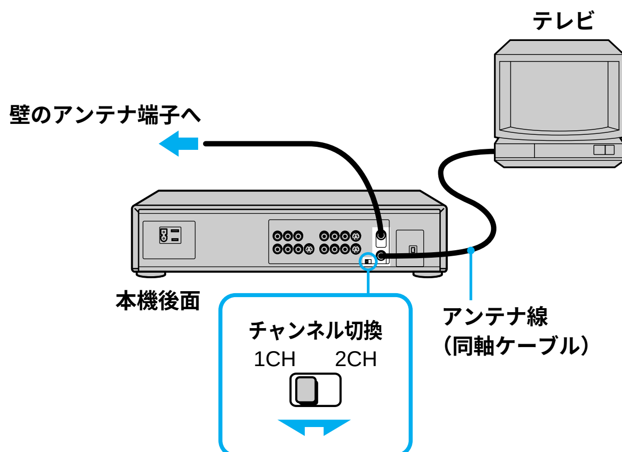
つないだテレビの端子（「ビデオ1」、「ビデオ2」など）をテレビの入力切り換えで選びます。

ちょっと一言

- メニューの「各種設定1」の「アンテナ切りかえ」は「手動」のままにしておきます（☛ 43ページ）。「自動」にすると録画中に裏番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを押す必要がありますが、「手動」ではその必要がなく便利です。
- テレビの音声入力端子が1個しかない場合は、別売りの映像・音声コードVMC-910MSなどでつないでください。

チャンネル切換スイッチを合わせる
（テレビに映像・音声入力端子がないとき）

テレビに映像・音声入力端子がなく、本機とテレビをアンテナ線（同軸ケーブル）だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル（1または2）に合わせます。
このとき、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させ、メニューの「各種設定1」で「アンテナ切りかえ」を「自動」にしてください（☞ 43ページ）。



ビデオを見るときは

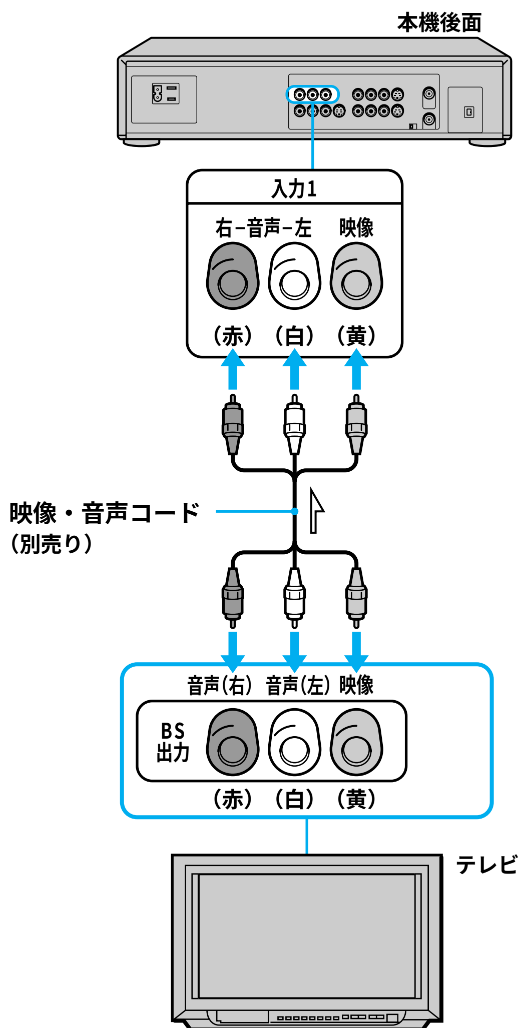
チャンネル切換スイッチで合わせたチャンネル（1または2）を、テレビのチャンネルで選びます。

ご注意

- UHF放送だけの地域でも、テレビのVHF端子と本機のVHF/UHF出力端子をつないでください（☞ 10ページ）。つながないと、ビデオを見ることができません。
- 音声は常にモノラルになります。

BSチューナー内蔵テレビなどとつなぐ

本機はBSチューナーを内蔵していませんが、BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーのBS出力端子とつなぐと、BS放送の録画や予約ができます。



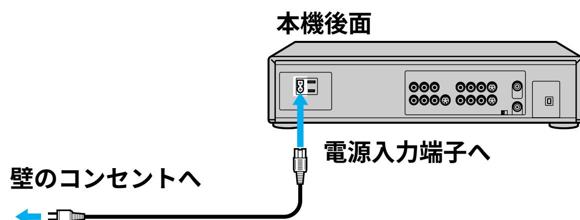
⟹：映像・音声信号の流れ

ちょっと一言

- BS出力端子のないBSチューナー内蔵テレビとつなぐときは、テレビの出力端子につなぎます。ただし、このときはBS放送の録画中にテレビの電源を切ることができません。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の入力3端子には、i.LINK対応デジタルCSチューナーをつなぎます（☞ 37ページ）。
  i.LINK対応デジタルCSチューナーをお持ちでない場合、本機の入力3端子にS映像出力端子付きのテレビを、S映像コード（別売り）でつなぐことができます。
  この場合は映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定2」で「映像入力3」を「S映像」にします（☞ 43ページ）。

手順4：電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

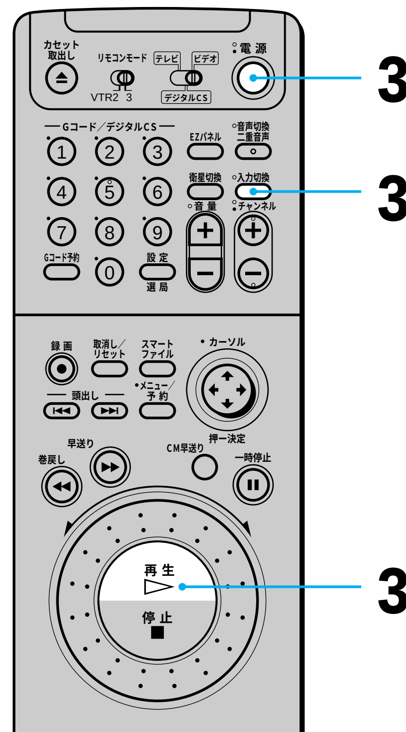


他機の電源として本機の電源コンセントを使うには

他機の電源コードを本機後面の電源コンセントにつなぎます。ただし、消費電力が300Wを超える機器はつながないでください。

手順5：接続の確認をする

ここでは、アンテナとテレビに本機が正しくつながれていることを確認します。



1 **テレビの電源を入れる。**
テレビ画面にテレビ番組が映れば、アンテナ線は正しく接続されています。

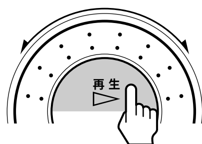
2 **テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**
本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、テレビのチャンネルを1または2に合わせます。

3

- **録画してあるVHSカセットがあるときは**

1 **VHSカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。

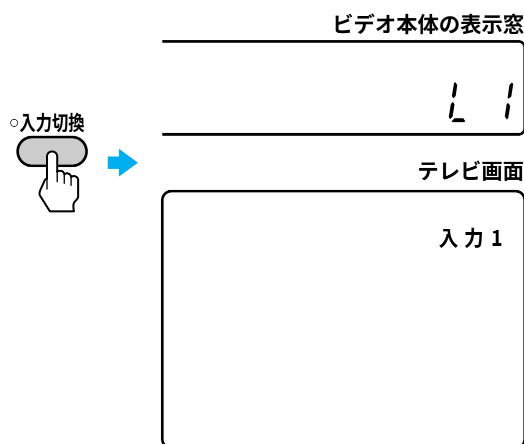
2 **再生▷ボタンを押す。**
テレビ画面にビデオの画像が映り、音声が聞こえれば、本機とテレビは正しく接続されています。



- **録画してあるカセットがないときは**

1 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

2 **入力切換ボタンを押して、チャンネルを変える。**
ビデオ本体の表示窓と、テレビ画面に同じチャンネルが表示されれば、本機とテレビは正しく接続されています。



正しく接続されているときは、続いて「手順**6**：チャンネルとGコードの設定をする」（☞18ページ）をご覧ください。

こんなときは

- **テレビ番組が映らない。**
→本機のVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線でつないでください（☞10〜13ページ）。
→本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子を、付属の同軸ケーブルでつないでください（☞10〜13ページ）。
→アンテナ線、および付属の同軸ケーブルをしっかりとつないでください。

- **本機の電源が入らない。**
→電源コードを正しくつないでください（☞16ページ）。

- **リモコンで操作できない。**
→乾電池の⊕と⊖を正しい向きで入れてください（☞7ページ）。
→リモコンモードを確認してください（☞7ページ）。

- **再生画像が映らない、または音声が聞こえない。**
→テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力1端子または出力2端子とテレビの入力端子を映像・音声コードでつないでください（☞14ページ）。
→本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル（1または2）に合わせてください（☞15ページ）。
→映像・音声コードのプラグを端子にしっかりと差し込んでください。

- **テレビ画面にチャンネルが表示されない。**
→テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力1端子または出力2端子とテレビの入力端子を映像・音声コードでつないでください（☞14ページ）。
→本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル（1または2）に合わせてください（☞15ページ）。
→映像・音声コードのプラグを端子にしっかりと差し込んでください。

手順6：チャンネルとGコードの設定をする

自動チャンネル合わせとGコードの設定をするには、お住まいの地域の地域番号を入れて、チャンネル合わせをする必要があります。
地域番号とは、同じ放送局でも地域によってチャンネルが違うため、その地域で受信できるチャンネルとGコードの設定をするための番号です。

地域番号を選ぶ

お住まいの地域の地域番号を右の「チャンネルとGコードの地域番号・放送局表」から選んでください。そのあと、「自動チャンネル合わせ・Gコード設定をする」（☞ 22ページ）にしたがって、選んだ地域番号を入れてください。

選ぶ地域番号を迷ったときは

お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選びます。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

次のようなときは、「自動チャンネル合わせ・Gコード設定をする」（☞ 22ページ）で地域番号を入れたあとに、手動で変更することができます。

- 表の中の放送局以外に映る放送局がある。
  「受信できる放送局を追加する」（☞ 31ページ）
- 表の中の表示チャンネルがテレビのチャンネルと違う。
  「チャンネルの番号とGコードの設定を変える」（☞ 27ページ）
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどをご利用の場合で、表の中の受信チャンネルが違う。
  「チャンネルの番号とGコードの設定を変える」（☞ 27ページ）

チャンネルとGコードの地域番号・放送局表

お住まいの地域の地域番号と、その地域番号で自動チャンネル合わせとGコードの設定ができる放送局を一覧表にしています。

表の中の文字の見かた

現在お住まいの地域

札幌　001

地域番号
「自動チャンネル合わせ・Gコード設定をする」の手順6（☞ 23ページ）で入れる番号

例：ビデオを3チャンネルにすると、NHK総合（識別番号80）が映る

80→03（03）NHK総合

受信チャンネル
放送局を受信したときのチャンネル（新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されている各放送局の番号です）

放送局名

ガイドチャンネル
Gコードのための放送局の識別番号

表示チャンネル
画面に映るチャンネル（一般的に「チャンネル」と呼ばれているのはこの表示チャンネルです）

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとGコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
北海道	札幌 江別	001	80→03（03）NHK総合 01→01（01）北海道放送 35→10（35）北海道テレビ 17→11（17）テレビ北海道	90→12（12）NHK教育 05→05（05）札幌テレビ 27→08（27）北海道文化放送
	小樽	002	80→11（11）NHK総合 01→09（09）北海道放送 35→04（04）北海道テレビ 17→12（24）テレビ北海道	90→02（02）NHK教育 05→07（07）札幌テレビ 27→08（26）北海道文化放送
	旭川	003	80→09（09）NHK総合 01→11（11）北海道放送 35→05（39）北海道テレビ 17→12（33）テレビ北海道	90→02（02）NHK教育 05→07（07）札幌テレビ 27→03（37）北海道文化放送
	名寄	004	80→04（04）NHK総合 01→10（10）北海道放送 35→08（24）北海道テレビ	90→12（12）NHK教育 05→06（06）札幌テレビ 27→03（26）北海道文化放送
	稚内	005	80→09（28）NHK総合 01→10（10）北海道放送 35→05（24）北海道テレビ	90→02（30）NHK教育 05→07（22）札幌テレビ 27→03（26）北海道文化放送
	室蘭	006	80→09（09）NHK総合 01→11（11）北海道放送 35→05（39）北海道テレビ 17→12（29）テレビ北海道	90→02（02）NHK教育 05→07（07）札幌テレビ 27→03（37）北海道文化放送
	苫小牧	007	80→09（51）NHK総合 01→11（55）北海道放送 35→05（61）北海道テレビ 17→12（47）テレビ北海道	90→02（49）NHK教育 05→07（57）札幌テレビ 27→03（53）北海道文化放送
	函館	008	80→04（04）NHK総合 01→06（06）北海道放送 35→08（35）北海道テレビ 17→11（21）テレビ北海道	90→10（10）NHK教育 05→12（12）札幌テレビ 27→02（27）北海道文化放送
	帯広	009	80→04（04）NHK総合 01→06（06）北海道放送 35→08（34）北海道テレビ	90→12（12）NHK教育 05→10（10）札幌テレビ 27→02（32）北海道文化放送
	釧路	010	80→09（09）NHK総合 01→11（11）北海道放送 35→05（39）北海道テレビ	90→02（02）NHK教育 05→07（07）札幌テレビ 27→03（41）北海道文化放送
	網走	011	80→03（03）NHK総合 01→01（01）北海道放送 35→10（35）北海道テレビ	90→12（12）NHK教育 05→05（05）札幌テレビ 27→08（27）北海道文化放送
	北見	012	80→09（09）NHK総合 01→11（53）北海道放送 35→05（61）北海道テレビ	90→02（02）NHK教育 05→07（07）札幌テレビ 27→03（59）北海道文化放送
青森	青森 弘前	013	80→03（03）NHK総合 01→01（01）青森放送 34→04（34）青森朝日放送	90→05（05）NHK教育 38→12（38）青森テレビ
	八戸	014	80→09（09）NHK総合 01→11（11）青森放送 34→04（31）青森朝日放送	90→07（07）NHK教育 38→12（33）青森テレビ 33→02（29）岩手めんこいテレビ
	むつ	015	80→04（04）NHK総合 01→10（10）青森放送 34→06（56）青森朝日放送	90→12（12）NHK教育 38→08（58）青森テレビ

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとGコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
岩手	盛岡	016	80→04（04）NHK総合　90→08（08）NHK教育 06→06（06）岩手放送　35→10（35）テレビ岩手 33→12（33）岩手めんこいテレビ　20→09（31）岩手朝日テレビ
	釜石	017	80→02（02）NHK総合　90→12（12）NHK教育 06→10（10）岩手放送　35→06（58）テレビ岩手 33→08（60）岩手めんこいテレビ　20→09（62）岩手朝日テレビ
	二戸	018	80→05（05）NHK総合　90→12（12）NHK教育 06→02（02）岩手放送　35→10（37）テレビ岩手 33→08（29）岩手めんこいテレビ　20→09（61）岩手朝日テレビ
宮城	仙台	019	80→03（03）NHK総合　90→05（05）NHK教育 01→01（01）東北放送　12→12（12）仙台放送 34→09（34）宮城テレビ　32→07（32）東日本放送
	石巻	020	80→03（51）NHK総合　90→05（49）NHK教育 01→01（59）東北放送　12→12（57）仙台放送 34→09（55）宮城テレビ　32→07（61）東日本放送
	気仙沼	021	80→02（02）NHK総合　90→10（10）NHK教育 01→04（04）東北放送　12→06（06）仙台放送 34→09（37）宮城テレビ　32→07（43）東日本放送
秋田	秋田	022	80→09（09）NHK総合　90→02（02）NHK教育 11→11（11）秋田放送　37→12（37）秋田テレビ 31→05（31）秋田朝日放送
	大館	023	80→04（04）NHK総合　90→08（08）NHK教育 11→06（06）秋田放送　37→12（57）秋田テレビ 31→05（59）秋田朝日放送
	大曲	024	80→09（45）NHK総合　90→02（43）NHK教育 11→11（47）秋田放送　37→12（51）秋田テレビ 31→05（41）秋田朝日放送
山形	山形	025	80→08（08）NHK総合　90→04（04）NHK教育 10→10（10）山形放送　38→12（38）山形テレビ 36→06（36）テレビュー山形　30→02（30）さくらんぼテレビ
	鶴岡 酒田	026	80→03（03）NHK総合　90→06（06）NHK教育 10→01（01）山形放送　38→12（39）山形テレビ 36→08（22）テレビュー山形　30→02（24）さくらんぼテレビ
	米沢	027	80→08（52）NHK総合　90→04（50）NHK教育 10→10（54）山形放送　38→12（58）山形テレビ 36→06（56）テレビュー山形　30→02（60）さくらんぼテレビ
福島	福島 群山	028	80→09（09）NHK総合　90→02（02）NHK教育 11→11（11）福島テレビ　33→06（33）福島中央テレビ 35→10（35）福島放送　31→04（31）テレビュー福島
	いわき	029	80→04（04）NHK総合　90→10（10）NHK教育 11→08（08）福島テレビ　33→06（58）福島中央テレビ 35→12（60）福島放送　31→02（62）テレビュー福島
	会津若松	030	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 11→06（06）福島テレビ　33→08（37）福島中央テレビ 35→10（41）福島放送　31→04（47）テレビュー福島
茨城	水戸 勝田	031	80→01（44）NHK総合　90→03（46）NHK教育 04→04（42）日本テレビ　06→06（40）TBSテレビ 08→08（38）フジテレビ　10→10（36）テレビ朝日 12→12（32）テレビ東京
	日立	032	80→01（52）NHK総合　90→03（50）NHK教育 04→04（54）日本テレビ　06→06（56）TBSテレビ 08→08（58）フジテレビ　10→10（60）テレビ朝日 12→12（62）テレビ東京
栃木	宇都宮	033	80→01（29）NHK総合　90→03（27）NHK教育 04→04（25）日本テレビ　06→06（23）TBSテレビ 08→08（21）フジテレビ　10→10（19）テレビ朝日 23→11（31）とちぎテレビ　12→12（17）テレビ東京
	矢板	034	80→01（51）NHK総合　90→03（49）NHK教育 04→04（53）日本テレビ　06→06（55）TBSテレビ 08→08（57）フジテレビ　10→10（59）テレビ朝日 23→11（31）とちぎテレビ　12→12（61）テレビ東京
群馬	前橋 伊勢崎 高崎	035	80→01（52）NHK総合　90→03（50）NHK教育 04→04（54）日本テレビ　48→05（48）群馬テレビ 06→06（56）TBSテレビ　08→08（58）フジテレビ 10→10（60）テレビ朝日　12→12（62）テレビ東京 16→07（40）放送大学
	桐生	036	80→01（43）NHK総合　90→03（45）NHK教育 04→04（39）日本テレビ　48→05（41）群馬テレビ 06→06（37）TBSテレビ　08→08（35）フジテレビ 10→10（33）テレビ朝日　12→12（31）テレビ東京 16→07（40）放送大学
埼玉	浦和	037	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 04→04（04）日本テレビ　06→06（06）TBSテレビ 08→08（08）フジテレビ　10→10（10）テレビ朝日 12→12（12）テレビ東京　38→11（38）テレビ埼玉 14→02（14）メトロポリタンテレビ　16→05（16）放送大学
	熊谷	038	80→01（33）NHK総合　90→03（35）NHK教育 04→04（25）日本テレビ　06→06（23）TBSテレビ 08→08（21）フジテレビ　10→10（19）テレビ朝日 12→12（17）テレビ東京　38→11（28）テレビ埼玉
	秩父	039	80→01（51）NHK総合　90→03（49）NHK教育 04→04（53）日本テレビ　06→06（55）TBSテレビ 08→08（57）フジテレビ　10→10（59）テレビ朝日 12→12（61）テレビ東京　38→11（47）テレビ埼玉

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとGコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
千葉	千葉	040	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 04→04（04）日本テレビ　06→06（06）TBSテレビ 08→08（08）フジテレビ　10→10（10）テレビ朝日 12→12（12）テレビ東京　46→11（46）千葉テレビ 14→02（14）メトロポリタンテレビ　16→05（16）放送大学
	銚子	041	80→01（51）NHK総合　90→03（49）NHK教育 04→04（53）日本テレビ　06→06（55）TBSテレビ 08→08（57）フジテレビ　10→10（59）テレビ朝日 12→12（61）テレビ東京　46→11（39）千葉テレビ
東京	東京	042	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 04→04（04）日本テレビ　06→06（06）TBSテレビ 08→08（08）フジテレビ　10→10（10）テレビ朝日 12→12（12）テレビ東京　46→11（46）千葉テレビ 42→09（42）テレビ神奈川　38→07（38）テレビ埼玉 14→02（14）メトロポリタンテレビ　16→05（16）放送大学
	八王子	043	80→01（51）NHK総合　90→03（49）NHK教育 04→04（53）日本テレビ　06→06（55）TBSテレビ 08→08（57）フジテレビ　10→10（59）テレビ朝日 12→12（61）テレビ東京　14→02（47）メトロポリタンテレビ
	多摩	044	80→01（30）NHK総合　90→03（32）NHK教育 04→04（26）日本テレビ　06→06（24）TBSテレビ 08→08（22）フジテレビ　10→10（20）テレビ朝日 12→12（18）テレビ東京　14→02（28）メトロポリタンテレビ
神奈川	一部の 横浜*	045	80→01（52）NHK総合　90→03（50）NHK教育 04→04（54）日本テレビ　06→06（56）TBSテレビ 08→08（58）フジテレビ　10→10（60）テレビ朝日 12→12（62）テレビ東京　42→11（48）テレビ神奈川
	横浜*	046	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 04→04（04）日本テレビ　06→06（06）TBSテレビ 08→08（08）フジテレビ　10→10（10）テレビ朝日 12→12（12）テレビ東京　42→11（42）テレビ神奈川 14→02（14）メトロポリタンテレビ　16→05（16）放送大学
	平塚 茅ケ崎	047	80→01（33）NHK総合　90→03（29）NHK教育 04→04（35）日本テレビ　06→06（37）TBSテレビ 08→08（39）フジテレビ　10→10（41）テレビ朝日 12→12（43）テレビ東京　42→11（31）テレビ神奈川
	秦野	048	80→01（47）NHK総合　90→03（49）NHK教育 04→04（51）日本テレビ　06→06（53）TBSテレビ 08→08（55）フジテレビ　10→10（57）テレビ朝日 12→12（59）テレビ東京　42→11（61）テレビ神奈川
	小田原	049	80→01（52）NHK総合　90→03（50）NHK教育 04→04（54）日本テレビ　06→06（56）TBSテレビ 08→08（58）フジテレビ　10→10（60）テレビ朝日 12→12（62）テレビ東京　42→11（46）テレビ神奈川
山梨	甲府	050	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 05→05（05）山梨放送　37→07（37）テレビ山梨
長野	長野1	051	80→02（44）NHK総合　90→09（46）NHK教育 11→11（48）信越放送　38→07（42）長野放送 30→05（40）テレビ信州　20→03（50）長野朝日放送
	長野2	052	80→02（02）NHK総合　90→09（09）NHK教育 11→11（11）信越放送　38→07（38）長野放送 30→05（30）テレビ信州　20→03（20）長野朝日放送
	松本	053	80→02（44）NHK総合　90→09（46）NHK教育 30→05（48）テレビ信州　11→11（40）信越放送 38→07（42）長野放送　20→03（50）長野朝日放送
	飯田	054	80→04（04）NHK総合　90→03（03）NHK教育 11→06（06）信越放送　38→08（40）長野放送 30→05（42）テレビ信州　20→10（44）長野朝日放送
	岡谷 諏訪	055	80→04（04）NHK総合　90→08（08）NHK教育 11→06（06）信越放送　38→09（47）長野放送 30→05（59）テレビ信州　20→10（61）長野朝日放送
新潟	新潟 長岡	056	80→08（08）NHK総合　90→12（12）NHK教育 05→05（05）新潟放送　35→10（35）新潟総合テレビ 29→04（29）テレビ新潟　21→03（21）新潟テレビ21
	上越	057	80→03（03）NHK総合　90→01（01）NHK教育 05→10（10）新潟放送　35→08（33）新潟総合テレビ 29→04（27）テレビ新潟　21→06（37）新潟テレビ21
富山	富山	058	80→03（03）NHK総合　90→10（10）NHK教育 01→01（01）北日本放送　34→08（34）富山テレビ 32→12（32）チューリップテレビ
	高岡	059	80→03（48）NHK総合　90→10（46）NHK教育 01→01（50）北日本放送　34→08（44）富山テレビ 32→12（42）チューリップテレビ
石川	金沢 小松	060	80→04（04）NHK総合　90→08（08）NHK教育 06→06（06）北陸放送　37→02（37）石川テレビ 33→10（33）テレビ金沢　25→12（25）北陸朝日放送
	七尾	061	80→09（09）NHK総合　90→05（05）NHK教育 06→11（11）北陸放送　37→07（55）石川テレビ 33→01（57）テレビ金沢　25→03（59）北陸朝日放送

＊ 横浜市にお住まいのかたは、通常「横浜」を設定してください。受信できないときは、「一部の横浜」を設定してください。

次のページにつづく

手順6：チャンネルとGコードの設定をする（つづき）

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとＧコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
福井	福井	062	80→09（09）NHK総合　90→03（03）NHK教育 11→11（11）福井放送　39→12（39）福井テレビ 06→06（06）北陸放送
	敦賀	063	80→06（06）NHK総合　90→12（12）NHK教育 11→08（08）福井放送　39→10（38）福井テレビ
岐阜	岐阜 大垣	064	80→03（39）NHK総合　90→09（09）NHK教育 05→05（05）中部日本放送　01→01（01）東海テレビ 11→11（11）名古屋テレビ放送　35→07（35）中京テレビ 37→10（37）岐阜放送　25→12（25）テレビ愛知
	高山	065	80→04（04）NHK総合　90→02（02）NHK教育 05→06（06）中部日本放送　01→08（08）東海テレビ 11→12（12）名古屋テレビ放送　35→07（26）中京テレビ 37→10（38）岐阜放送
	中津川	066	80→04（04）NHK総合　90→12（12）NHK教育 05→08（08）中部日本放送　01→10（10）東海テレビ 11→06（06）名古屋テレビ放送　35→07（26）中京テレビ 37→11（28）岐阜放送
静岡	静岡 清水 焼津	067	80→09（09）NHK総合　90→02（02）NHK教育 11→11（11）静岡放送　35→07（35）テレビ静岡 33→05（33）静岡朝日テレビ　31→03（31）静岡第一テレビ
	浜松	068	80→04（04）NHK総合　90→08（08）NHK教育 11→06（06）静岡放送　35→12（34）テレビ静岡 33→10（28）静岡朝日テレビ　31→02（30）静岡第一テレビ
	富士宮	069	80→09（52）NHK総合　90→02（54）NHK教育 11→11（41）静岡放送　35→07（39）テレビ静岡 33→05（29）静岡朝日テレビ　31→03（27）静岡第一テレビ
	三島 沼津	070	80→09（53）NHK総合　90→02（51）NHK教育 11→11（55）静岡放送　35→07（59）テレビ静岡 33→05（57）静岡朝日テレビ　31→03（61）静岡第一テレビ
	島田	071	80→01（01）NHK総合　90→03（03）NHK教育 11→05（05）静岡放送　35→12（58）テレビ静岡 33→10（50）静岡朝日テレビ　31→07（48）静岡第一テレビ
	藤枝	072	80→01（42）NHK総合　90→03（44）NHK教育 11→05（40）静岡放送　35→12（38）テレビ静岡 33→10（26）静岡朝日テレビ　31→07（24）静岡第一テレビ
愛知	名古屋	073	80→03（03）NHK総合　90→09（09）NHK教育 05→05（05）中部日本放送　01→01（01）東海テレビ 11→11（11）名古屋テレビ放送　35→07（35）中京テレビ 25→12（25）テレビ愛知　33→08（33）三重テレビ 37→06（37）岐阜放送
	豊橋 豊川	074	80→03（54）NHK総合　90→09（50）NHK教育 05→05（62）中部日本放送　01→01（56）東海テレビ 11→11（60）名古屋テレビ放送　35→07（58）中京テレビ 25→12（52）テレビ愛知
	豊田	075	80→03（53）NHK総合　90→09（51）NHK教育 05→05（55）中部日本放送　01→01（57）東海テレビ 11→11（61）名古屋テレビ放送　35→07（59）中京テレビ 25→12（49）テレビ愛知
三重	津	076	80→03（31）NHK総合　90→09（09）NHK教育 05→05（05）中部日本放送　01→01（01）東海テレビ 11→11（11）名古屋テレビ放送　35→07（35）中京テレビ 33→10（33）三重テレビ　25→12（25）テレビ愛知
	伊勢	077	80→03（53）NHK総合　90→09（49）NHK教育 05→05（55）中部日本放送　01→01（57）東海テレビ 11→11（61）名古屋テレビ放送　35→07（47）中京テレビ 33→10（59）三重テレビ
	名張	078	80→03（52）NHK総合　90→09（50）NHK教育 05→05（60）中部日本放送　01→01（62）東海テレビ 11→11（56）名古屋テレビ放送　35→07（54）中京テレビ 33→10（58）三重テレビ
滋賀	大津	079	80→02（28）NHK総合　90→12（46）NHK教育 04→04（36）毎日放送　06→06（38）朝日放送 08→08（40）関西テレビ　10→10（42）読売テレビ 30→11（30）びわ湖放送　34→07（34）KBS京都
	彦根	080	80→02（52）NHK総合　90→12（50）NHK教育 04→04（54）毎日放送　06→06（58）朝日放送 08→08（60）関西テレビ　10→10（62）読売テレビ 30→11（56）びわ湖放送

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとＧコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
京都	京都 宇治	081	80→02（02）NHK総合　90→12（12）NHK教育 04→04（04）毎日放送　06→06（06）朝日放送 08→08（08）関西テレビ　10→10（10）読売テレビ 34→03（34）KBS京都　19→05（19）テレビ大阪
	舞鶴	082	80→02（51）NHK総合　90→12（49）NHK教育 04→04（53）毎日放送　06→06（55）朝日放送 08→08（59）関西テレビ　10→10（61）読売テレビ 34→05（57）KBS京都
	福知山	083	80→02（50）NHK総合　90→12（52）NHK教育 04→04（54）毎日放送　06→06（58）朝日放送 08→08（60）関西テレビ　10→10（62）読売テレビ 34→05（56）KBS京都
大阪	大阪	084	80→02（02）NHK総合　90→12（12）NHK教育 04→04（04）毎日放送　06→06（06）朝日放送 08→08（08）関西テレビ　10→10（10）読売テレビ 19→09（19）テレビ大阪　36→03（36）サンテレビ
兵庫	神戸	085	80→02（28）NHK総合　90→12（26）NHK教育 04→04（18）毎日放送　06→06（20）朝日放送 08→08（22）関西テレビ　10→10（24）読売テレビ 36→03（36）サンテレビ　19→11（19）テレビ大阪
	神戸灘	086	80→02（52）NHK総合　90→12（50）NHK教育 04→04（54）毎日放送　06→06（56）朝日放送 08→08（58）関西テレビ　10→10（60）読売テレビ 36→03（62）サンテレビ　19→11（19）テレビ大阪
	川西	087	80→02（29）NHK総合　90→12（31）NHK教育 04→04（35）毎日放送　06→06（37）朝日放送 08→08（39）関西テレビ　10→10（41）読売テレビ 36→03（33）サンテレビ
	三木	088	80→02（44）NHK総合　90→12（46）NHK教育 04→04（34）毎日放送　06→06（38）朝日放送 08→08（40）関西テレビ　10→10（42）読売テレビ 36→03（36）サンテレビ
	姫路	089	80→02（50）NHK総合　90→12（52）NHK教育 04→04（54）毎日放送　06→06（58）朝日放送 08→08（60）関西テレビ　10→10（62）読売テレビ 36→03（56）サンテレビ
	明石 加古川	090	80→02（51）NHK総合　90→12（49）NHK教育 04→04（53）毎日放送　06→06（57）朝日放送 08→08（59）関西テレビ　10→10（61）読売テレビ 36→03（55）サンテレビ　19→11（19）テレビ大阪
奈良	奈良 橿原	091	80→02（02）NHK総合　90→12（12）NHK教育 19→03（19）テレビ大阪　04→04（04）毎日放送 06→06（06）朝日放送　34→07（34）KBS京都 08→08（08）関西テレビ　36→09（36）サンテレビ 10→10（10）読売テレビ　55→11（55）奈良テレビ
	五條	092	80→02（43）NHK総合　90→12（45）NHK教育 04→04（33）毎日放送　06→06（35）朝日放送 08→08（37）関西テレビ　10→10（39）読売テレビ 55→03（41）奈良テレビ
和歌山	和歌山	093	80→02（32）NHK総合　90→12（26）NHK教育 04→04（42）毎日放送　06→06（44）朝日放送 08→08（46）関西テレビ　10→10（48）読売テレビ 30→03（30）テレビ和歌山
	海南 田辺	094	80→02（50）NHK総合　90→12（52）NHK教育 04→04（54）毎日放送　06→06（58）朝日放送 08→08（60）関西テレビ　10→10（62）読売テレビ 30→03（56）テレビ和歌山
鳥取	鳥取	095	80→03（03）NHK総合　90→04（04）NHK教育 01→01（01）日本海テレビ　10→10（22）山陰放送 34→08（24）山陰中央テレビ
島根	松江	096	80→06（06）NHK総合　90→12（12）NHK教育 10→10（10）山陰放送　34→08（34）山陰中央テレビ 01→01（30）日本海テレビ
	浜田	097	80→02（02）NHK総合　90→09（09）NHK教育 10→05（05）山陰放送　34→08（58）山陰中央テレビ 01→03（54）日本海テレビ
岡山	岡山 倉敷	098	80→05（05）NHK総合　90→03（03）NHK教育 11→11（11）山陽放送　35→07（35）岡山放送 23→01（23）テレビせとうち　09→09（09）西日本放送 33→06（25）瀬戸内海放送
	津山	099	80→02（02）NHK総合　90→12（12）NHK教育 11→07（07）山陽放送　35→11（60）岡山放送 23→04（56）テレビせとうち　09→09（58）西日本放送 33→06（62）瀬戸内海放送
	笠岡	100	80→02（02）NHK総合　90→04（04）NHK教育 11→06（06）山陽放送　35→11（60）岡山放送 23→05（19）テレビせとうち　09→09（17）西日本放送 33→10（21）瀬戸内海放送

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとGコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
広島	広島	101	80→03（03）NHK総合 04→04（04）中国放送 35→09（35）広島ホームテレビ	90→07（07）NHK教育 12→12（12）広島テレビ 31→01（31）テレビ新広島
	福山	102	80→05（05）NHK総合 04→07（07）中国放送 35→09（57）広島ホームテレビ	90→03（03）NHK教育 12→11（11）広島テレビ 31→01（54）テレビ新広島
	尾道	103	80→01（01）NHK総合 04→10（10）中国放送 35→04（24）広島ホームテレビ	90→07（07）NHK教育 12→12（12）広島テレビ 31→08（26）テレビ新広島
	呉	104	80→11（11）NHK総合 04→09（09）中国放送 35→04（24）広島ホームテレビ	90→01（01）NHK教育 12→05（05）広島テレビ 31→08（26）テレビ新広島
山口	山口 徳山 防府	105	80→09（09）NHK総合 11→11（11）山口放送 28→05（28）山口朝日放送	90→01（01）NHK教育 38→07（38）テレビ山口
	下関	106	80→09（39）NHK総合 11→04（04）山口放送 28→05（21）山口朝日放送 19→03（23）TXN九州	90→01（41）NHK教育 38→07（33）テレビ山口 09→10（10）テレビ西日本
	宇部	107	80→09（16）NHK総合 11→11（18）山口放送 28→05（31）山口朝日放送	90→01（14）NHK教育 38→07（20）テレビ山口 09→10（10）テレビ西日本
	岩国	108	80→09（09）NHK総合 11→11（11）山口放送 28→05（28）山口朝日放送	90→01（01）NHK教育 38→07（22）テレビ山口
徳島	徳島	109	80→03（03）NHK総合 01→01（01）四国テレビ 06→06（06）朝日放送 10→10（10）読売テレビ	90→12（38）NHK教育 04→04（04）毎日放送 08→08（08）関西テレビ
香川	高松	110	80→05（37）NHK総合 33→06（33）瀬戸内海放送 11→11（29）山陽放送 23→01（19）テレビせとうち	90→03（39）NHK教育 09→09（41）西日本放送 35→07（31）岡山放送
	丸亀	111	80→05（44）NHK総合 33→06（42）瀬戸内海放送 11→11（18）山陽放送 23→01（16）テレビせとうち	90→03（40）NHK教育 09→09（20）西日本放送 35→07（22）岡山放送
愛媛	松山	112	80→06（06）NHK総合 10→10（10）南海放送 29→04（29）伊予テレビ 25→09（25）愛媛朝日テレビ	90→02（02）NHK教育 37→08（37）愛媛放送 35→12（35）広島ホームテレビ 31→11（31）テレビ新広島
	新居浜	113	80→02（02）NHK総合 10→06（06）南海放送 29→11（27）伊予テレビ	90→04（04）NHK教育 37→08（36）愛媛放送 25→09（14）愛媛朝日テレビ
	今治	114	80→06（32）NHK総合 10→10（34）南海放送 29→04（27）伊予テレビ	90→02（30）NHK教育 37→08（36）愛媛放送 25→09（17）愛媛朝日テレビ
	宇和島	115	80→06（06）NHK総合 10→10（10）南海放送 29→04（34）伊予テレビ	90→01（01）NHK教育 37→08（32）愛媛放送 25→09（16）愛媛朝日テレビ
高知	高知	116	80→04（04）NHK総合 08→08（08）高知放送 40→12（40）高知さんさんテレビ	90→06（06）NHK教育 38→10（38）テレビ高知
福岡	福岡	117	80→03（03）NHK総合 04→04（04）RKB毎日放送 09→09（09）テレビ西日本 19→11（19）TXN九州	90→06（06）NHK教育 01→01（01）九州朝日放送 37→12（37）福岡放送
	久留米	118	80→03（46）NHK総合 04→04（48）RKB毎日放送 09→09（60）テレビ西日本 19→11（14）TXN九州	90→06（54）NHK教育 01→01（57）九州朝日放送 37→12（52）福岡放送
	大牟田	119	80→03（53）NHK総合 04→04（61）RKB毎日放送 09→09（55）テレビ西日本 19→11（19）TXN九州	90→06（50）NHK教育 01→01（58）九州朝日放送 37→12（43）福岡放送
	北九州	120	80→06（06）NHK総合 04→08（08）RKB毎日放送 09→10（10）テレビ西日本 19→03（23）TXN九州	90→12（12）NHK教育 01→02（02）九州朝日放送 37→04（35）福岡放送
	行橋	121	80→06（49）NHK総合 04→08（60）RKB毎日放送 09→10（54）テレビ西日本 19→03（19）TXN九州	90→12（46）NHK教育 01→02（57）九州朝日放送 37→04（43）福岡放送
佐賀	佐賀	122	80→09（38）NHK総合 36→07（36）サガテレビ 09→08（60）テレビ西日本 19→05（14）TXN九州 01→03（57）九州朝日放送	90→02（40）NHK教育 11→11（11）熊本放送 37→12（52）福岡放送 04→04（48）RKB毎日放送
長崎	長崎	123	80→03（03）NHK総合 05→05（05）長崎放送 27→09（27）長崎文化放送	90→01（01）NHK教育 37→11（37）テレビ長崎 25→07（25）長崎国際テレビ
	佐世保	124	80→08（08）NHK総合 05→10（10）長崎放送 27→06（31）長崎文化放送	90→02（02）NHK教育 37→12（35）テレビ長崎 25→04（17）長崎国際テレビ
	諫早	125	80→03（47）NHK総合 05→05（49）長崎放送 27→09（24）長崎文化放送	90→01（45）NHK教育 37→11（42）テレビ長崎 25→07（20）長崎国際テレビ

都道府県	地域名	地域番号	自動チャンネル合わせとGコードの設定ができる放送局のガイドチャンネル・表示チャンネル・受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
熊本	熊本	126	80→09（09）NHK総合 11→11（11）熊本放送 22→05（22）熊本県民テレビ	90→02（02）NHK教育 34→07（34）テレビ熊本 16→03（16）熊本朝日放送
大分	大分 別府	127	80→03（03）NHK総合 05→05（05）大分放送 24→09（24）大分朝日放送	90→12（12）NHK教育 36→07（36）テレビ大分
	中津	128	80→03（48）NHK総合 05→05（51）大分放送 24→09（17）大分朝日放送	90→12（45）NHK教育 36→07（37）テレビ大分
宮崎	宮崎 都城	129	80→08（08）NHK総合 10→10（10）宮崎放送	90→12（12）NHK教育 35→06（35）テレビ宮崎
	延岡	130	80→04（04）NHK総合 10→06（06）宮崎放送	90→02（02）NHK教育 35→08（39）テレビ宮崎
鹿児島	鹿児島	131	80→03（03）NHK総合 01→01（01）南日本放送 32→07（32）鹿児島放送	90→05（05）NHK教育 38→09（38）鹿児島テレビ 30→11（30）鹿児島読売テレビ
	阿久根	132	80→08（08）NHK総合 01→10（10）南日本放送 32→04（23）鹿児島放送	90→12（12）NHK教育 38→06（35）鹿児島テレビ 30→02（17）鹿児島読売テレビ
	鹿屋	133	80→04（04）NHK総合 01→06（06）南日本放送 32→08（31）鹿児島放送	90→02（02）NHK教育 38→10（33）鹿児島テレビ 30→12（25）鹿児島読売テレビ
沖縄	那覇	134	80→02（02）NHK総合 10→10（10）琉球放送 28→05（28）琉球朝日放送	90→12（12）NHK教育 08→08（08）沖縄テレビ

BS放送およびCATVのガイドチャンネル表

次の場合には、BS放送やCATVをGコード予約できます。

- 本機の入力端子にBSチューナー内蔵テレビなどをつないだ場合
  「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」（☞ 34ページ）にしたがって、ガイドチャンネルと表示チャンネルを設定してください。
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどで、BS放送を本機でご覧になれる場合
  「受信できる放送局を追加する」（☞ 31ページ）にしたがって、受信チャンネルと表示チャンネル、ガイドチャンネルを設定してください。

ガイドチャンネル

以下の表にしたがって入れます。

放送の種類	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネル	
BS	74　NHK衛星第1 76　NHK衛星第2	75　ハイビジョン 73　WOWOW
ケーブルネットワーク	40　NNN24 50　チャンネルNECO	49　CSN1ムービーチャンネル 51　ゴルフネットワーク

ご注意

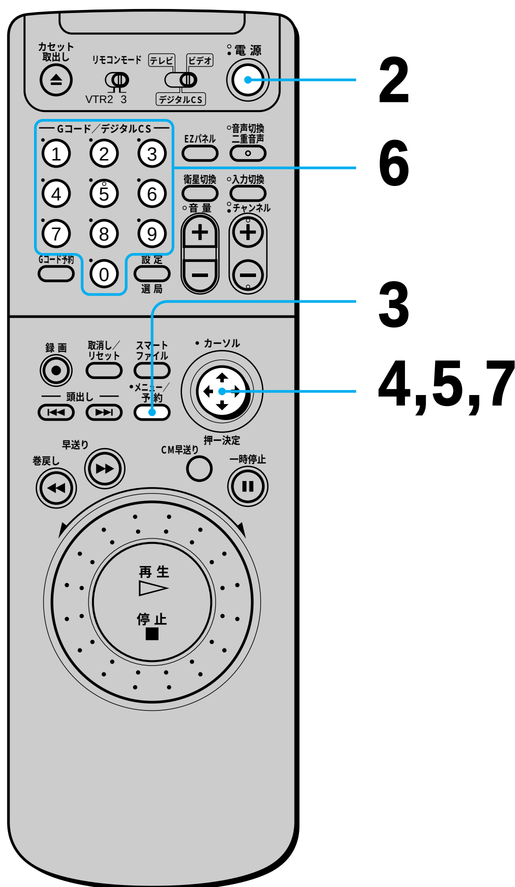
- デジタルCS放送（スカイパーフェクTV!など）はGコード予約できません。

次のページにつづく

手順6：チャンネルとGコードの設定をする（つづき）

自動チャンネル合わせ・Gコード設定をする

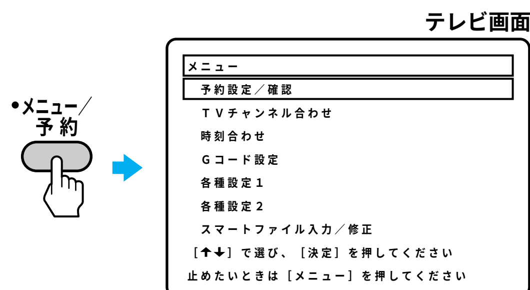
「チャンネルとGコードの地域番号・放送局表」
（☛ 18ページ）の中から選んだ地域番号を入れます。



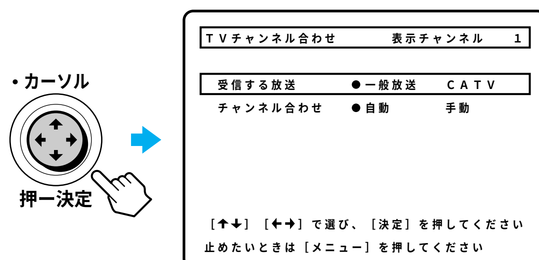
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

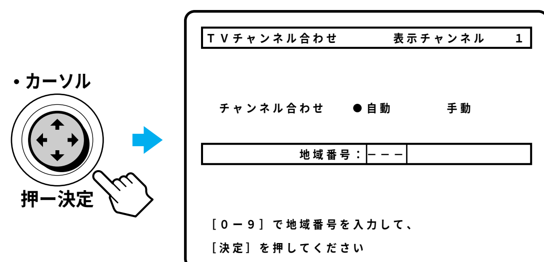
3 メニュー/予約ボタンを押す。



4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「TVチャンネル合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。

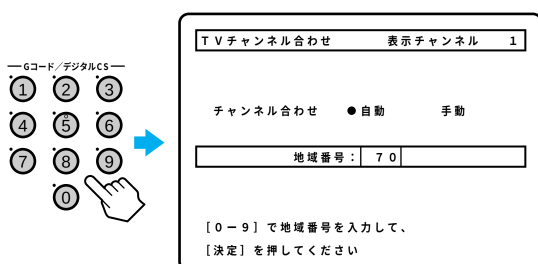


5 カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネル合わせ」を選び、←/→に動かして「自動」にし、カーソルスティック（決定）を押す。



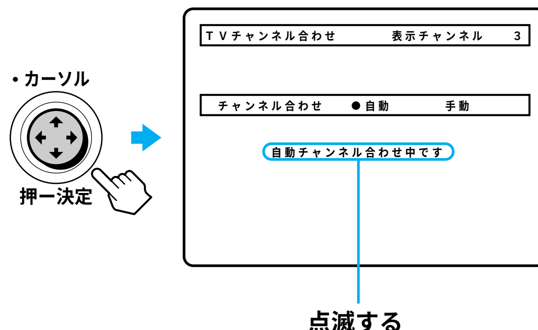
6 「チャンネルとGコードの地域番号・放送局表」（☞18ページ）から選んだ地域番号を、Gコード/デジタルCS数字ボタンで入れる。

1桁や2桁の番号（001や011など）は0も押します。この場合、0は表示されません。
間違えたときは正しい番号を続けて入れます。



7 カーソルスティック（決定）を押す。

自動的にチャンネル合わせとGコード設定を始めます。終わると、一番小さいチャンネル番号が画面に表示されます。

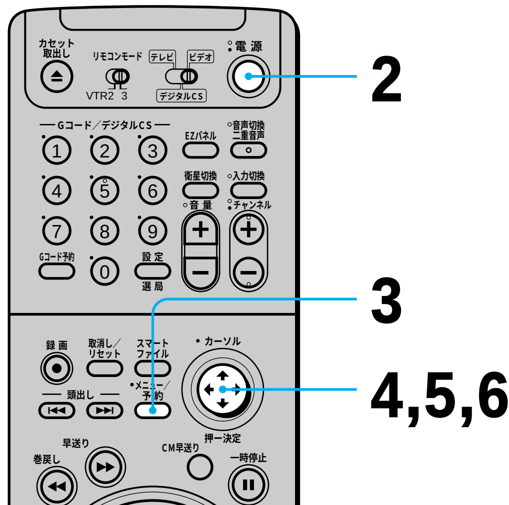


メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

手順7：時計を合わせる

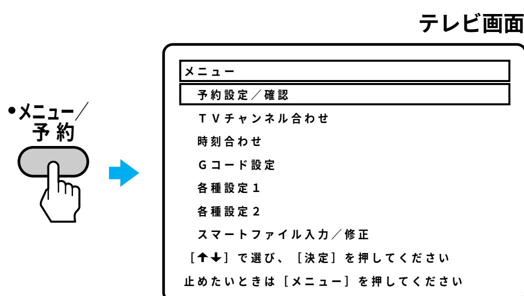
予約するには、時計を正しく合わせておく必要があります。時計は自動補正することができます（☞ 25ページ）。



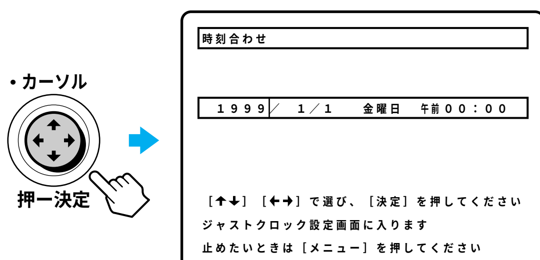
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

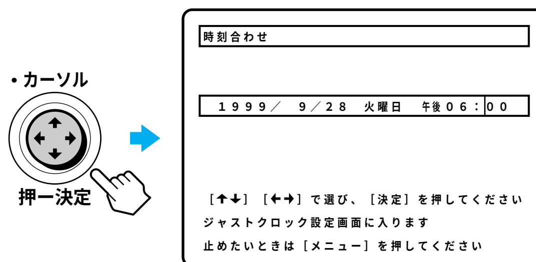


4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「時刻合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



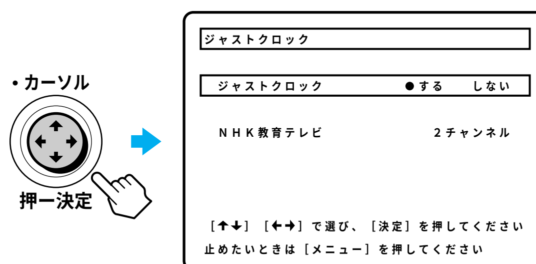
5 **カーソルスティックを←/→に動かして項目を選び、↑/↓に動かして合わせる。**

年、月、日、時、分を順に合わせていきます。



6 **時報と同時にカーソルスティック（決定）を押す。**

「時計を自動補正する」（☞ 25ページ）の手順**1**の画面が出ます。



- **自動補正するときは**
  「時計を自動補正する」（☞ 25ページ）の手順**1**から**3**にしたがって設定します。
- **自動補正しないときは**
  ←/→で「ジャストクロック」の「しない」を選び、カーソルスティック（決定）を押します。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

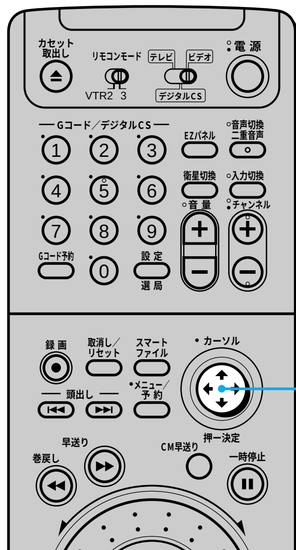
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

ご注意

- 年、月、日、時、分が間違っていると、希望の日時に予約録画されません。

時計を自動補正する（ジャストクロック）

NHK教育テレビの時報を7、12、19時に読みとり、本機の時計を補正します（ただし、これらの時刻に時報が送信されない場合は、自動補正されません）。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。

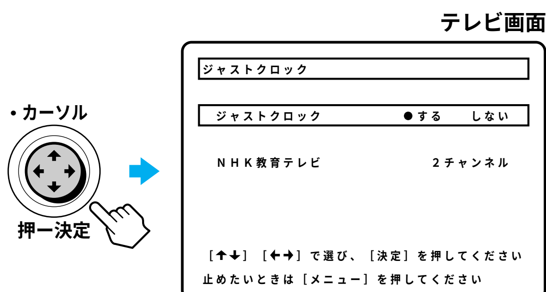


1,2,3

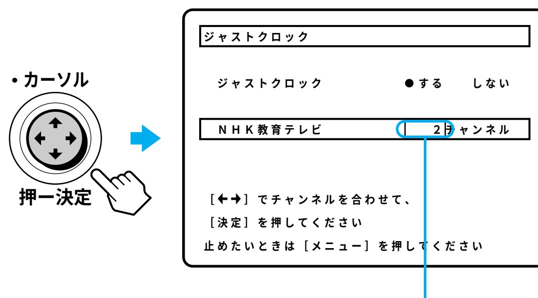
「時計を合わせる」（24ページ）の手順**6**のあと、下の手順**1**の画面が出ます。「時計を合わせる」の手順をとばして下の画面を出したいときは、メニューで「時刻合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を2回押します。

1 **カーソルスティックを←/→に動かして「ジャストクロック」の「する」を選ぶ。**

テレビ画面



2 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「NHK教育テレビ」を選び、←/→に動かしてNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせる。**



例：「NHK教育テレビ」の表示チャンネルが2チャンネルのときは、ここを「2」にする

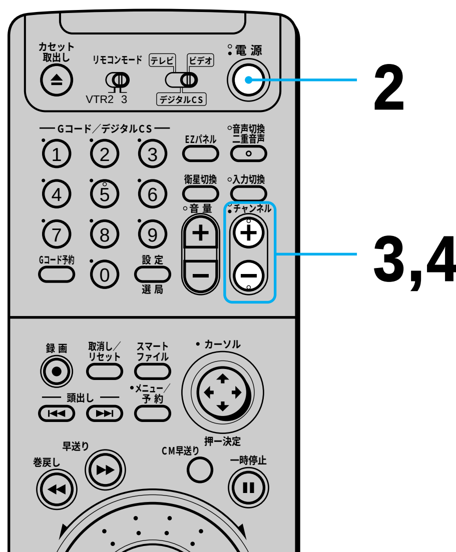
3 **カーソルスティック（決定）を押す。**
メニューが消えます。

ご注意

- 時報を読みとるとき（7、12、19時）、本機の電源が入っていると自動補正できません。予約待機中も自動補正できません。
- 録画中にジャストクロックの設定はできません。

手順8：チャンネルとGコードの設定の確認をする

ここでは、録画や予約に必要な、チャンネル合わせとGコードの設定の確認をします。

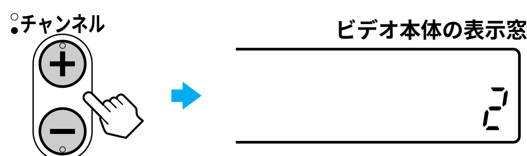


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **テレビに番組が映るまで、チャンネル＋/－ボタンを押す。**

ビデオ本体の表示窓にチャンネル表示が出ます。



4 **チャンネル＋/－ボタンを押して、テレビに映る放送局を確認する。**

受信できる放送局がすべて映れば、確認は終了です。
正しく設定されています。

こんなときは

- **手順3でテレビに番組が映らない。**

  →「自動チャンネル合わせ・Gコード設定をする」（☞ 23ページ）の手順**6**で選んだ地域番号が間違っていることが考えられます。「チャンネルとGコードの地域番号・放送局表」（☞ 18ページ）をご覧になり、別の地域番号を選んで設定をやり直してください。

- **ビデオのチャンネルの番号が、テレビのチャンネルと違う。**

  例：テレビではNHK総合テレビが1チャンネルなのに、ビデオでは9チャンネルになった

  →「チャンネルの番号とGコードの設定を変える」（☞ 27ページ）にしたがって、テレビのチャンネルに合わせてください。

- **設定された放送局以外にも、受信したい放送局がある。**

  →「受信できる放送局を追加する」（☞ 31ページ）にしたがって、受信できる放送局を追加してください。

- **不要なチャンネルが映る。**

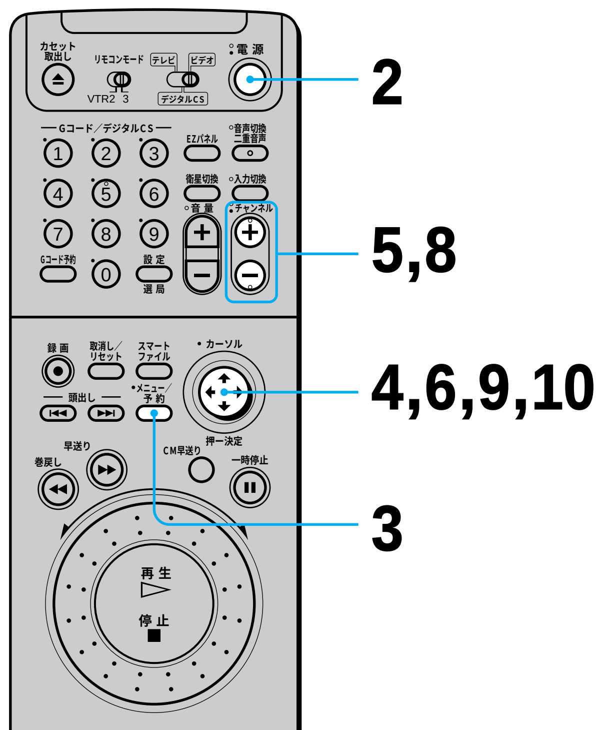
  →「放送のないチャンネルをとばす」（☞ 35ページ）にしたがって削除してください。

チャンネルの番号とGコードの設定を変える

「手順**6**：チャンネルとGコードの設定をする」（☞18ページ）でチャンネルを合わせれば、お住まいの地域で受信できるチャンネルはご覧になれます。
ただしチャンネルを自動で合わせたときには、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。
例：テレビではNHK総合テレビが1チャンネルなのに、ビデオでは9チャンネルになった
このようなときは、手動でテレビと同じチャンネルに変えることができます。

チャンネルの番号を変えるには、次の2つの手順を行います。**チャンネルとGコードの設定を同じ番号に合わせないと、Gコード予約で正しく録画されません。**
手順①：チャンネルの番号を変える（☞27ページ）
手順②：Gコードの設定を変える（☞29ページ）

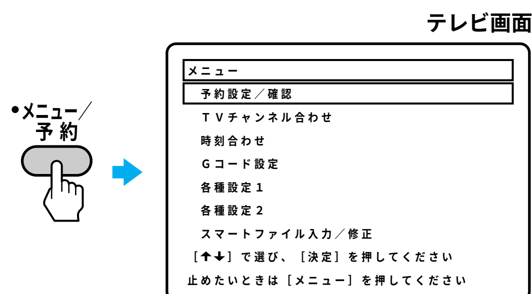
手順①：チャンネルの番号を変える



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

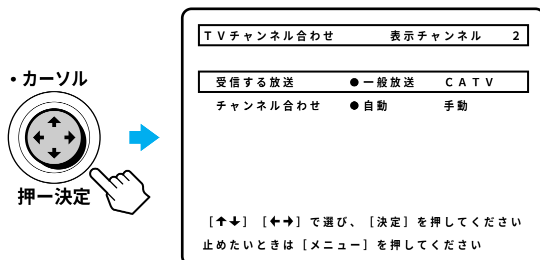
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



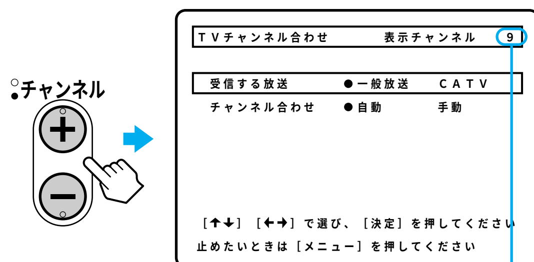
次のページにつづく

チャンネルの番号とGコードの設定を変える（つづき）

4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「TVチャンネル合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**

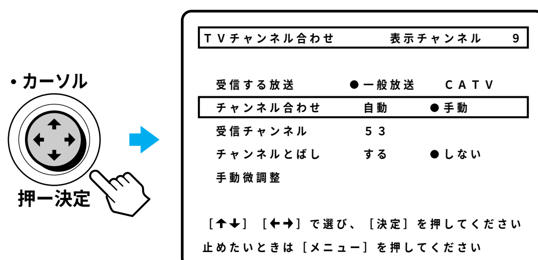


5 **チャンネル＋/－ボタンで、変えたい「表示チャンネル」を選ぶ。**

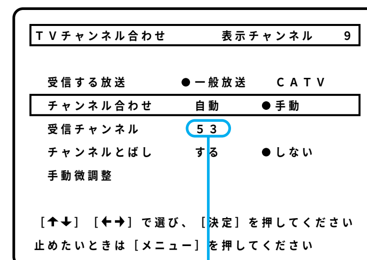


例：9チャンネルを1チャンネルに変えたいときは、ここを「9」にする

6 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネル合わせ」を選び、←/→に動かして「手動」にする。**

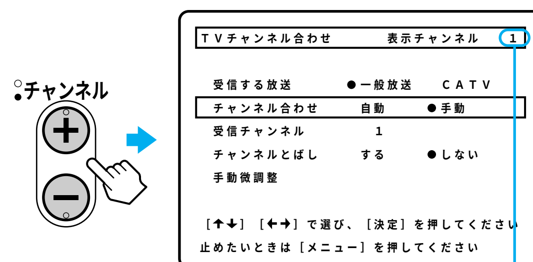


7 **受信チャンネルを紙に書き出す。**
この数字は、手順9で使います。



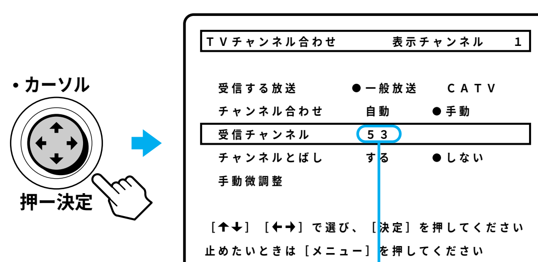
例：「53」を書き出す

8 **チャンネル＋/－ボタンで「表示チャンネル」を変える。**



例：9チャンネルを1チャンネルに変えたいときは、ここを「1」にする

9 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「受信チャンネル」を選び、←/→に動かして手順7で書き出した受信チャンネルに変える。**



例：表示チャンネル9の受信チャンネル「53」にする

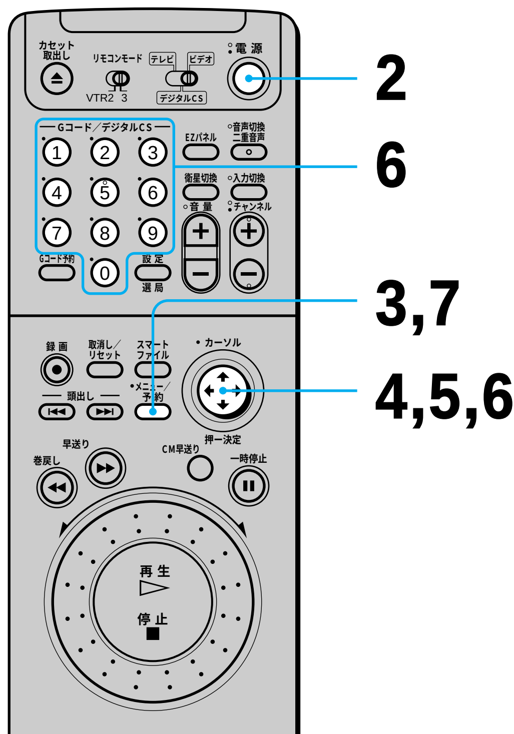
10 **カーソルスティック（決定）を押す。**

メニューが消えます。
ただし、このままでは元のチャンネルも映ります。
例：NHK総合テレビが1チャンネルと9チャンネルの両方で映る
9チャンネルで映らないようにするには、次の「手順②：Gコードの設定を変える」を行ったあと、「放送のないチャンネルをとばす」（☞35ページ）をご覧ください。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

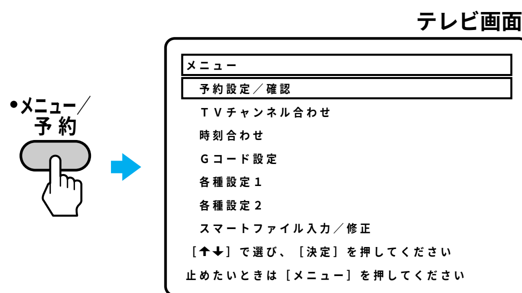
手順②：Gコードの設定を変える



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

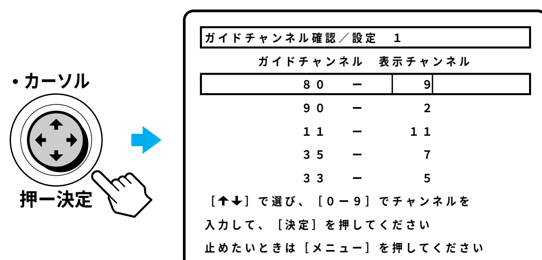
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



次のページにつづく

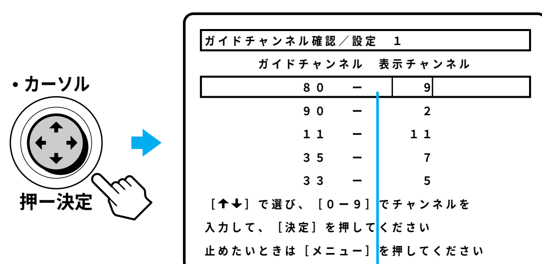
チャンネルの番号とGコードの設定を変える（つづき）

4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「Gコード設定」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



5 **カーソルスティックを↓に繰り返し動かして、合わせるチャンネルの行を選ぶ。**

行きすぎたときは、カーソルスティックを↑に動かします。



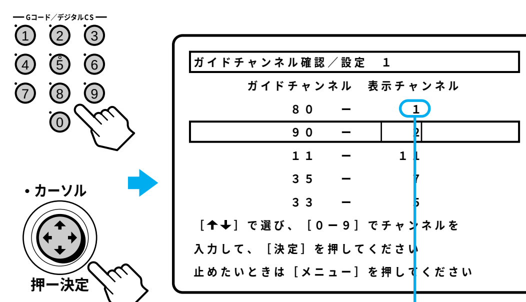
例：9チャンネルを1チャンネルに変えたときは、この行を選ぶ

6 **Gコード/デジタルCS数字ボタンで変えたチャンネルを入れて、カーソルスティック（決定）を押す。**

チャンネルは2桁で入れます。

1桁のチャンネルは、まず0を押します（01など）。

間違えたときは正しいチャンネルを続けて入れます。変える前のチャンネルに戻すには、カーソルスティック（決定）を押さずに、↑/↓に動かします。



例：9チャンネルを1チャンネルに変えたときは、ここを「1」にする

7 **終わったらメニュー/予約ボタンを押す。**

メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

受信できる放送局を追加する

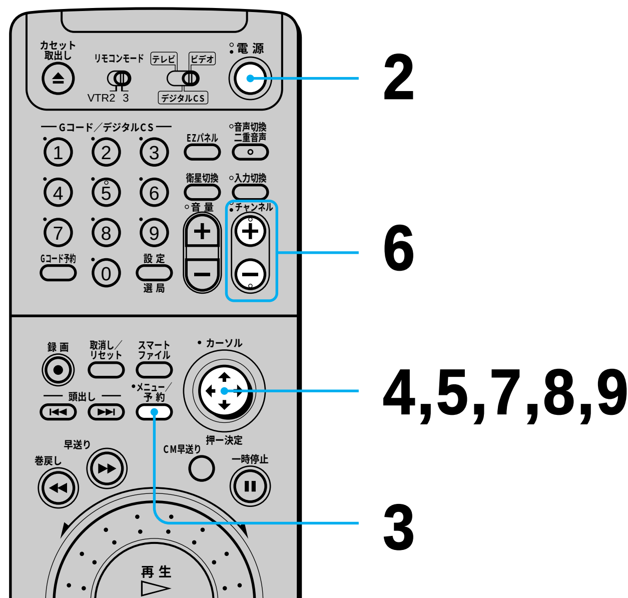
「手順**6**：チャンネルとGコードの設定をする」（☞18ページ）で設定した地域番号に含まれる放送局の他にご覧になれる放送局があるときは、追加します。放送局を追加するには、次の2つの手順を行います。**追加した放送局のGコードの設定をしないと、Gコード予約ができません。**

手順①：放送局を追加する（☞31ページ）
手順②：追加した放送局にGコードの設定をする（☞33ページ）

手順①：放送局を追加する

放送局を追加するには、受信チャンネルを使います。あらかじめ、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号（受信チャンネル）を調べておいてください。同じ放送局でも、地域により受信チャンネルが異なることがありますのでご注意ください。

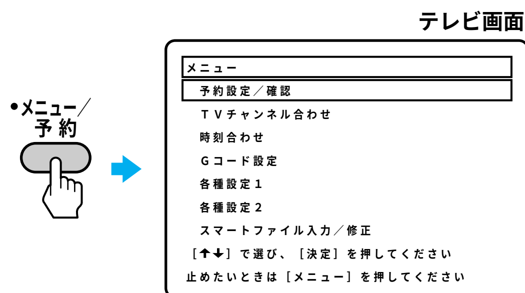
例：三島にお住まいの方が、中京テレビ（受信チャンネル58）を12チャンネルに追加する



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

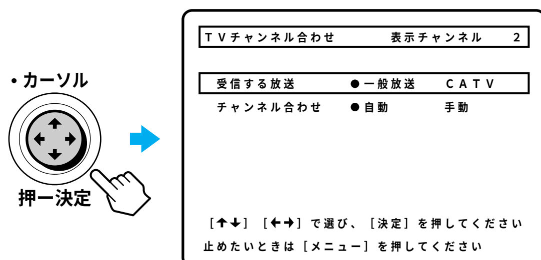
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



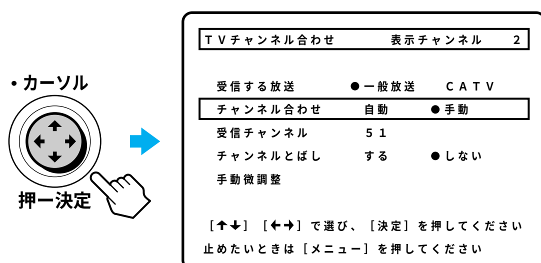
次のページにつづく

受信できる放送局を追加する（つづき）

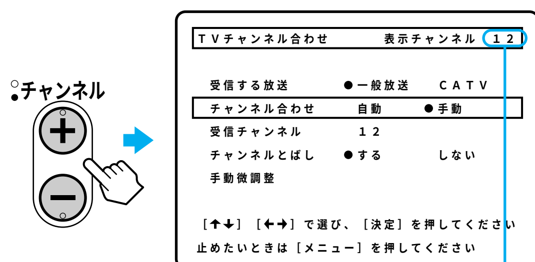
4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「TVチャンネル合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



5 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネル合わせ」を選び、←/→に動かして「手動」にする。**

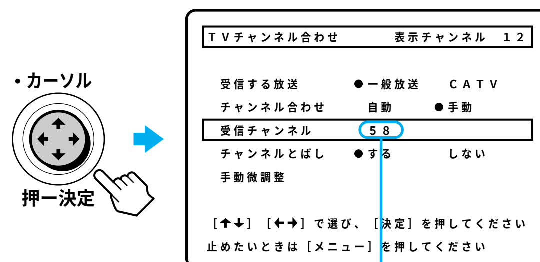


6 **チャンネル＋/－ボタンで、「表示チャンネル」を追加したいチャンネルにする。**



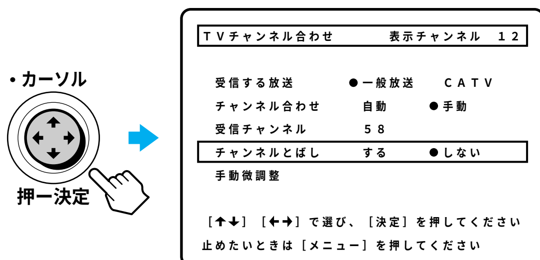
例：12チャンネルを追加したいときは、ここを「12」にする

7 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「受信チャンネル」を選び、←/→に動かして追加したい放送局の受信チャンネルを入れる。**



例：三島にお住まいの方が、中京テレビ（受信チャンネル58）を追加したいときは、ここを「58」にする

8 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネルとばし」を選び、←/→に動かして「しない」にする。**



9 **カーソルスティック（決定）を押す。**

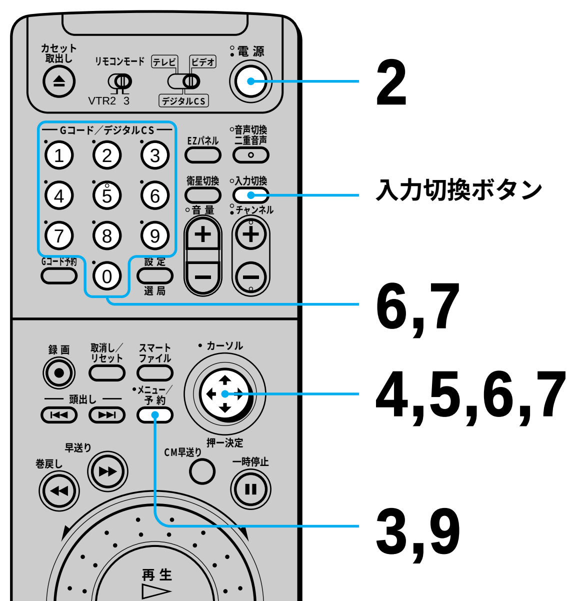
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

手順②：追加した放送局にGコードの設定をする

Gコードの設定をするには、放送局のガイドチャンネルが必要です。
追加する放送局のガイドチャンネルは「チャンネルとGコードの地域番号・放送局表」（☛ 18ページ）でご確認ください。
例：三島にお住まいの方が、12チャンネルに追加した中京テレビ（ガイドチャンネル35）のGコードの設定をする

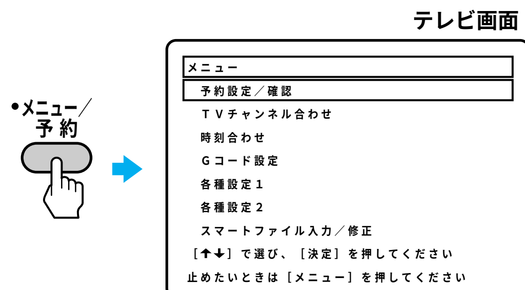


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

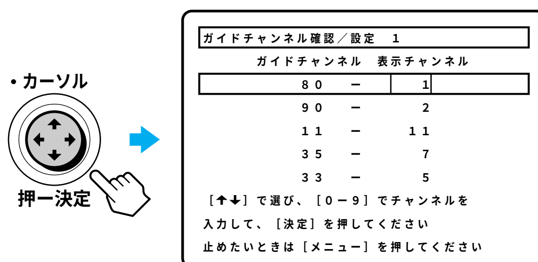
2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 メニュー/予約ボタンを押す。

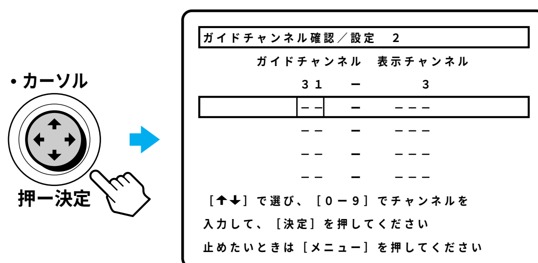
テレビ画面



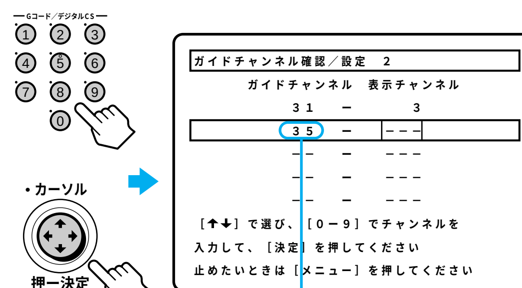
4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「Gコード設定」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。



5 カーソルスティックを↓に繰り返し動かして、ガイドチャンネルが「--」になっている行を選ぶ。



6 Gコード/デジタルCS数字ボタンで追加する放送局のガイドチャンネルを入れ、カーソルスティック（決定）を押す。

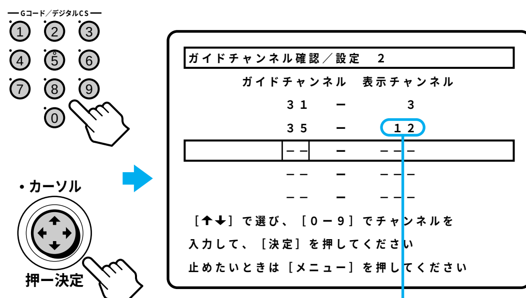


例：三島にお住まいの方が、中京テレビ（ガイドチャンネル：35、表示チャンネル：12）を追加するときは、ここに「35」を入れる

次のページにつづく

受信できる放送局を追加する（つづき）

7 **Gコード/デジタルCS数字ボタンで追加する放送局の表示チャンネルを入れ、カーソルスティック（決定）を押す。**



例：三島にお住まいの方が、中京テレビ（ガイドチャンネル：35、表示チャンネル：12）を追加するときは、ここに「12」を入れる

8 **他の放送局も追加するときは、手順5から7を繰り返す。**

9 **終わったらメニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

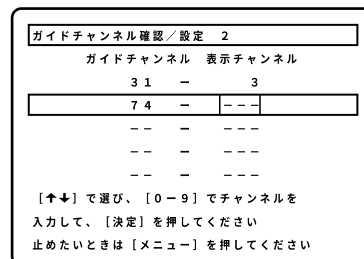
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

追加した放送局を変えるには

追加した放送局の代わりに、別の放送局を入れます。
また、すべて消して最初からやり直すこともできます。「手順**6**：チャンネルとGコードの設定をする」（☞18ページ）にしたがって、もう一度現在設定している地域番号を入れます。これで放送局を追加する前の状態に戻ります。

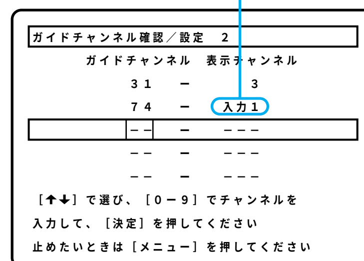
本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

1 手順**6**でGコード予約したい放送のガイドチャンネルを「BS放送およびCATVのガイドチャンネル表」（☞21ページ）から選んで入れ、カーソルスティック（決定）を押す。



2 手順**7**で入力切換ボタンを押して、「入力1」または「入力2」、「入力3」を表示チャンネルに出し、カーソルスティック（決定）を押す。
「入力1」または「入力2」、「入力3」を入れた放送局は、本機の入力端子につないだ機器から録画されます。

「入力1」または「入力2」、「入力3」にする

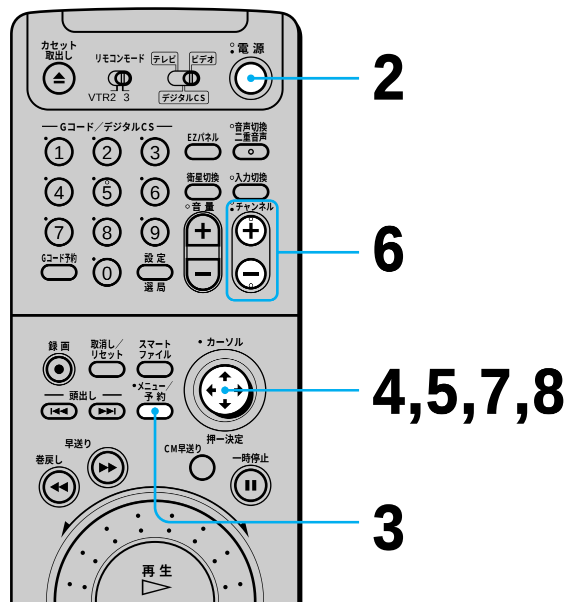


ご注意

- あらかじめ設定されているガイドチャンネルを変えたり、消すことはできません。
- すでに本機に設定されているガイドチャンネルは、追加できません。

放送のないチャンネルをとばす

不要なチャンネルを映らないようにします。チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選ぶときに、映るチャンネルだけ見ることができます。

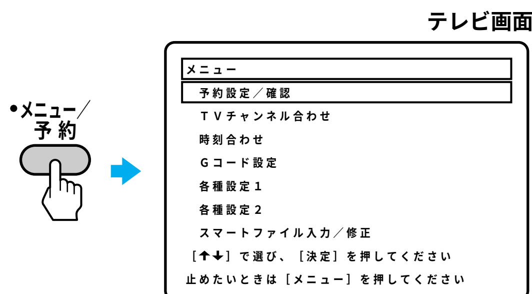


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

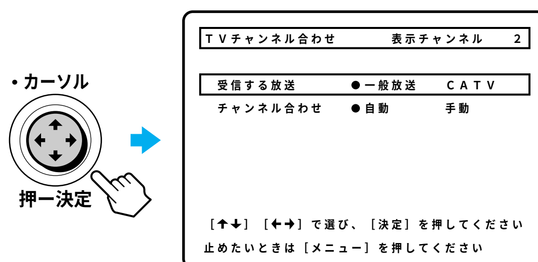
2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

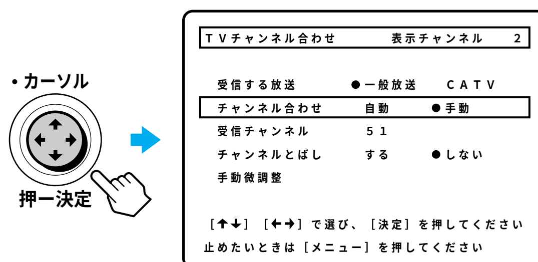
テレビ画面



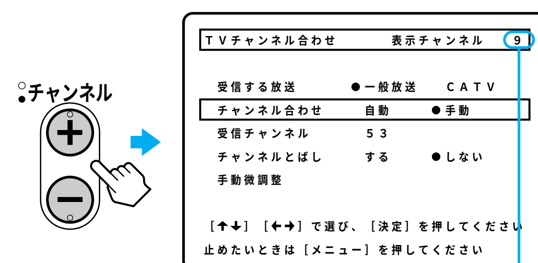
4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「TVチャンネル合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



5 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネル合わせ」を選び、←/→に動かして「手動」にする。**



6 **チャンネル+/−ボタンで「表示チャンネル」をとばしたいチャンネルにする。**

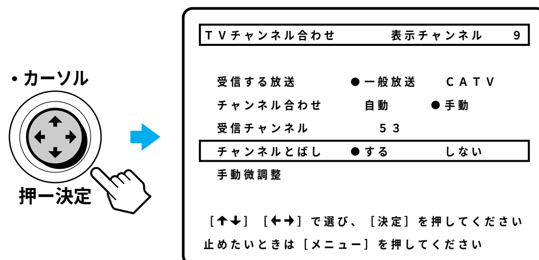


例：9チャンネルをとばしたいときは、ここを「9」にする。

次のページにつづく

放送のないチャンネルをとばす（つづき）

7 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネルとばし」を選び、←/→に動かして「する」にする。**



8 **カーソルスティック（決定）を押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順3からやり直してください。

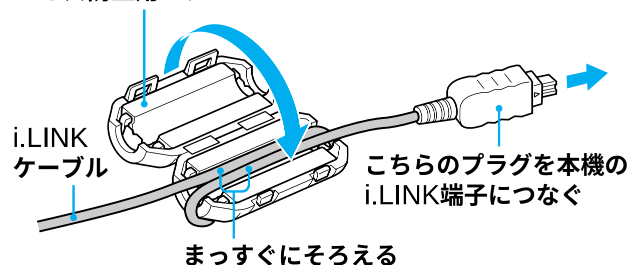
i.LINK対応デジタルCSチューナーをつなぐ

i.LINK対応デジタルCSチューナーをつなぐと、デジタルCS放送をD-VHSテープにデジタル録画することができます。また、デジタル録画した番組を見ることができます。

i.LINKケーブルの準備をする

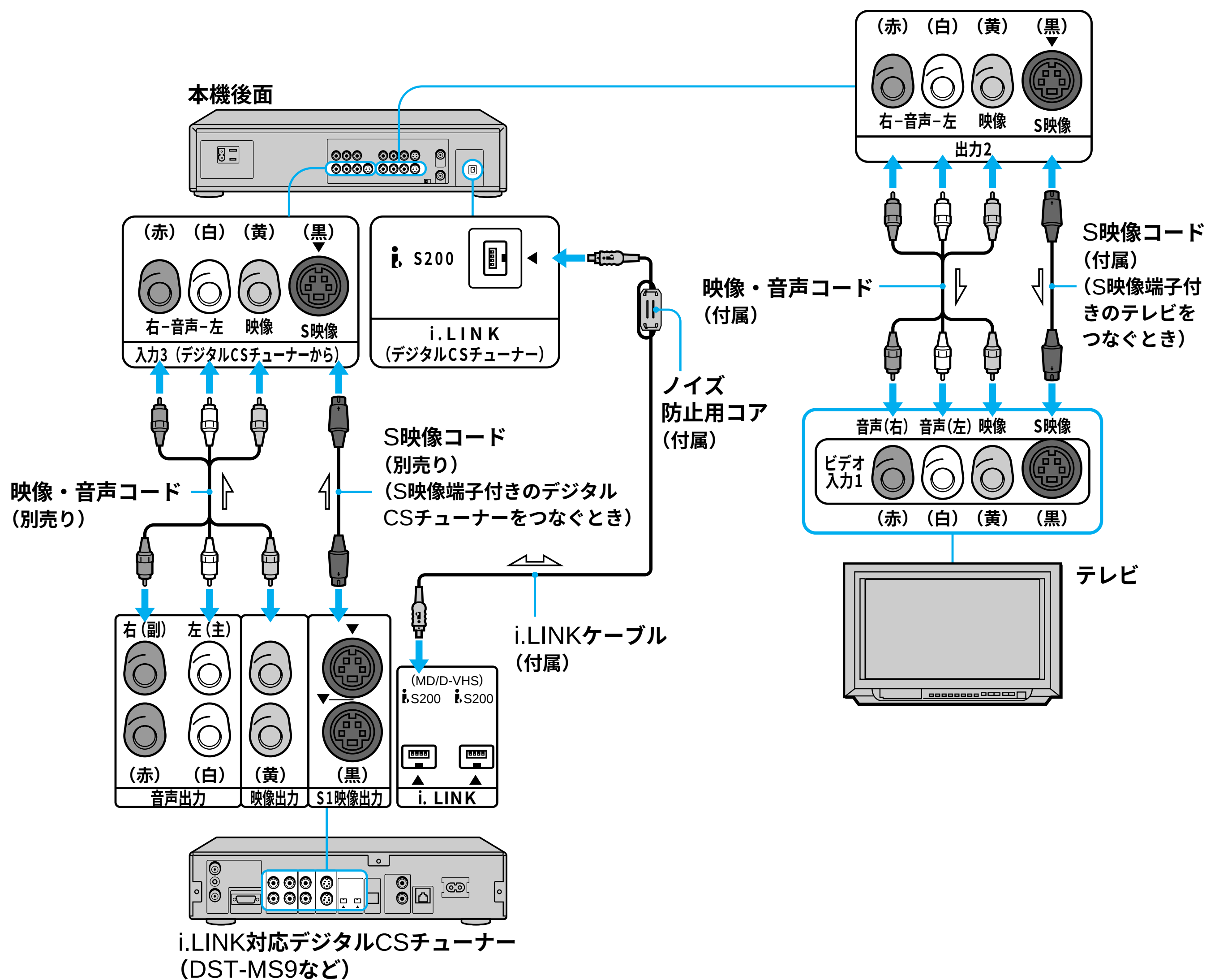
本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーをつなぐ前に、i.LINKケーブルに付属のノイズ防止用コアを取り付けてください。ノイズ防止用コアを取り付けないと、テレビ放送にノイズが入ることがあります。

ノイズ防止用コアは、プラグに近いところに取り付けます。ノイズ防止用コアがついているほうのプラグを、本機のi.LINK 端子につないでください。



i.LINK対応のデジタルCSチューナーは、必ず本機の入力3端子につないでください。
i.LINK対応機器の接続には、付属のi.LINKケーブルまたはソニーのi.LINKケーブルVMC-IL4415（1.5m）、VMC-IL4435（3.5m）をお使いください。

i.LINKについて詳しくは、☞ 79ページをご覧ください。
この接続のほかに、アンテナ線をつないでください（☞ 10ページ）。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



S映像入力端子付きの機器とつなぐときは

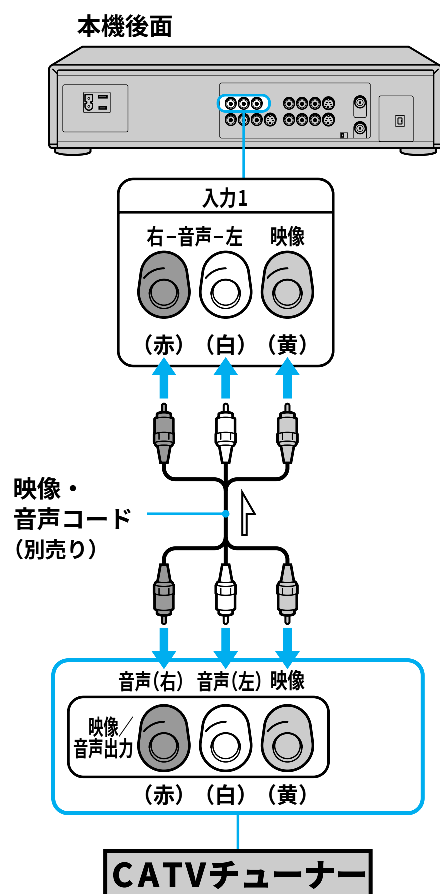
S映像コードをつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。このとき、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

ちょっと一言

• 本機の入力3端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定2」で「映像入力3」を「S映像」にします（☞ 43ページ）。

ケーブルテレビ（CATV）をつなぐ

CATV局と受信契約すると送られてくるCATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。なお、CATVは受信できない地域もあります。くわしくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。
CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機とCATVチューナーの接続のしかたがわからないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。



：映像・音声信号の流れ

CATVを受信するには

1 CATVチューナーで、受信したいチャンネルを選ぶ。
2 本機のチャンネル＋/−ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」または「L2」、「L3」を出す。
CATVチューナーを入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を、入力3端子につないでいるときは「L3」を出します。

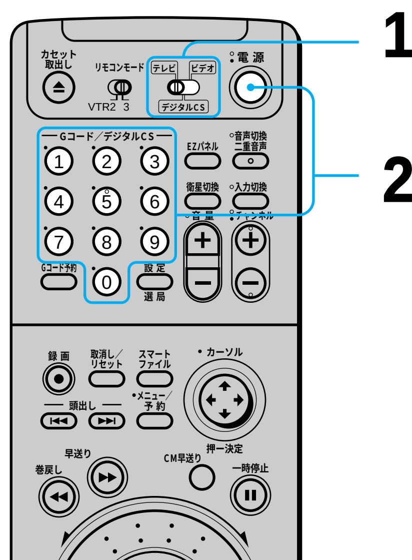
CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

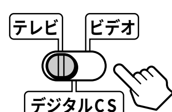
1 F型コネクター付き同軸ケーブル（別売り）で、本機のVHF/UHF入力端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ。
2 メニュー/予約ボタンを押して、カーソルスティックを ↑/↓に動かして「TVチャンネル合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。
3 カーソルスティックを ↑/↓に動かして「受信する放送」を選び、 ←/→に動かして「CATV」を選ぶ。
4 カーソルスティックを ↑/↓に動かして「チャンネル合わせ」を選び、 ←/→に動かして「手動」にする。
5 チャンネル＋/−ボタンを押して「表示チャンネル」を、放送のないチャンネルの番号（例：20）にする。
6 カーソルスティックを ↑/↓に動かして「受信チャンネル」を選び、 ←/→に動かして受信したいチャンネルの番号（例：C30）を入れる。
7 カーソルスティックを ↑/↓に動かして「チャンネルとばし」を選び、 ←/→に動かして「しない」にする。
8 手順**5**から**7**を繰り返して、チャンネルを合わせていく。
9 カーソルスティック（決定）を押す。

リモコンで各社のテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーの🅁マーク付きテレビを操作できるよう設定されています。

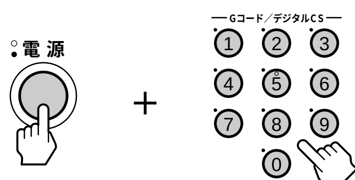


1 テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを、「テレビ」にする。



2 電源スイッチを押したままGコード/デジタルCS数字ボタンを押して、テレビのメーカー番号（2桁）を入れる。

テレビのメーカー番号は次の表の通りです。



例：メーカー番号を03に合わせるときは、「0」「3」と押す。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー（🅁マーク付き）	01（お買い上げ時の設定）
松下電器1*1	02
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機1*1	07
シャープ1*1	08
NEC	09
パイオニア *2	10
富士通ゼネラル	11
ソニー（🅁マーク無し）*2	12
松下電器2 *1	13
フナイ（PRECIOUS）	14
三洋電機2 *1	15
シャープ2 *1	16
アイワ	17
三星（SAMSUNG）	18

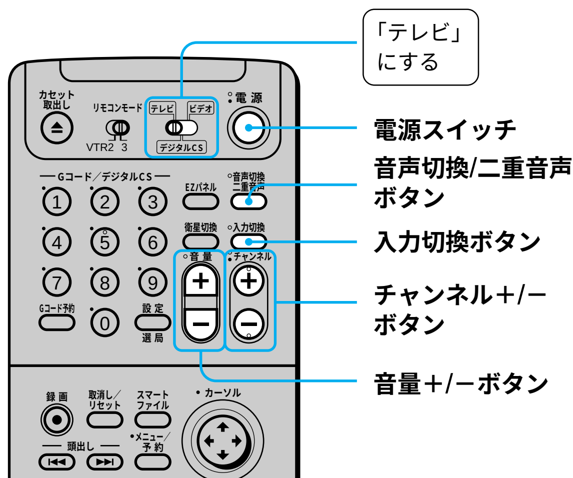
*1 メーカー番号「02」「07」「08」で操作できないときは同じメーカーのもう1つの番号（「13」「15」「16」）にしてください。
*2 入力切換ボタンは使えません。

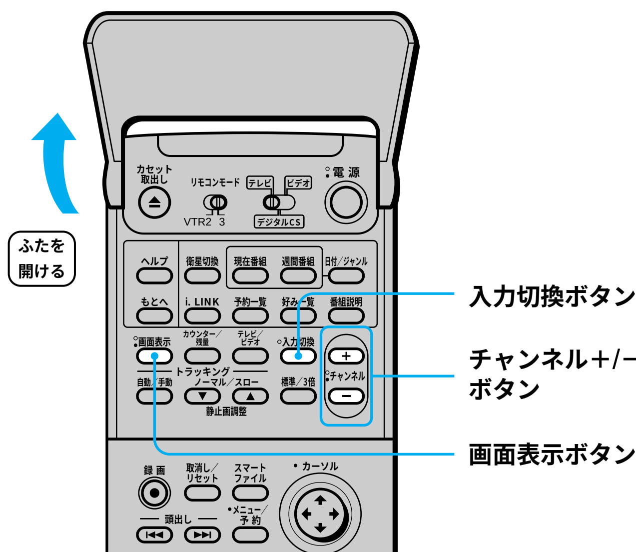
次のページにつづく

リモコンで各社のテレビを操作する（つづき）

各社のテレビに使えるボタン

テレビを操作するときは、テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを「テレビ」にします。



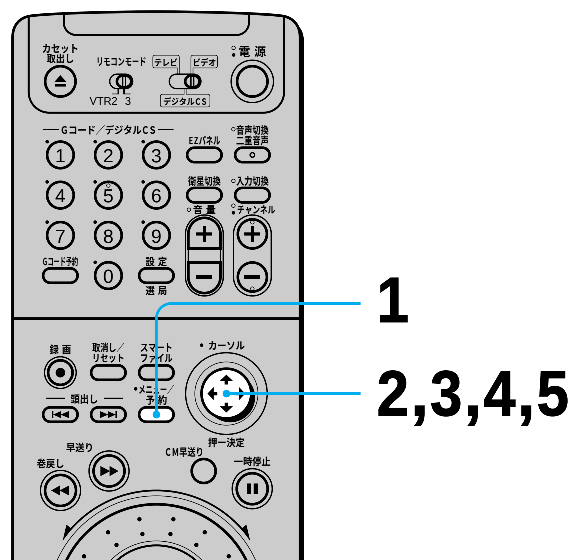


ご注意

- テレビによっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください。

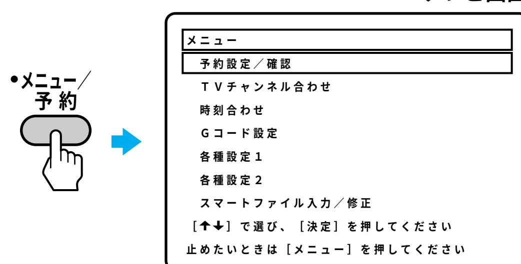
受信状態を調整する

本機ではテレビ放送の受信状態を自動的に調整するので、何もしなくてもきれいな画像をお楽しみいただけます。それでも映りが悪いときは、手動で調整してください。

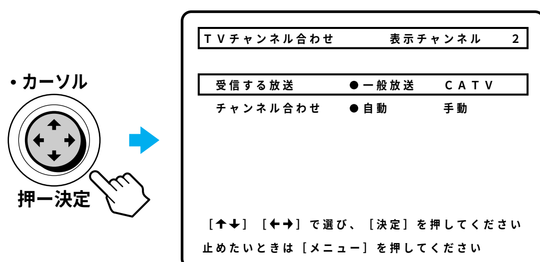


1 **映りの悪いチャンネルを見ているときに、メニュー/予約ボタンを押す。**

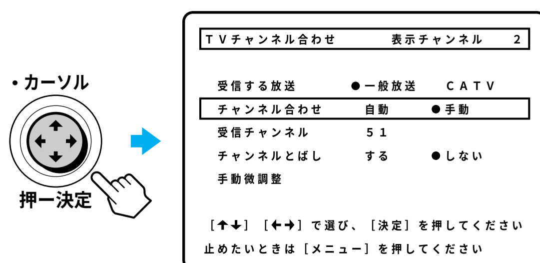
テレビ画面



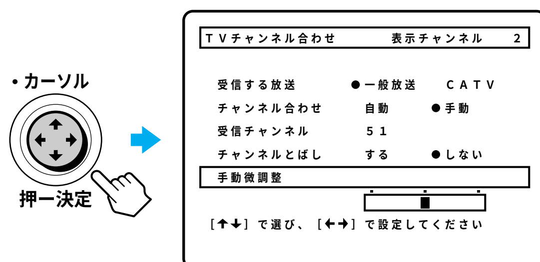
2 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「TVチャンネル合わせ」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



3 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「チャンネル合わせ」を選び、←/→に動かして「手動」にする。**



4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「手動微調整」を選び、←/→に動かして画面を見ながらきれいに映るように調整する。**



5 **終わったらカーソルスティック（決定）を押す。**

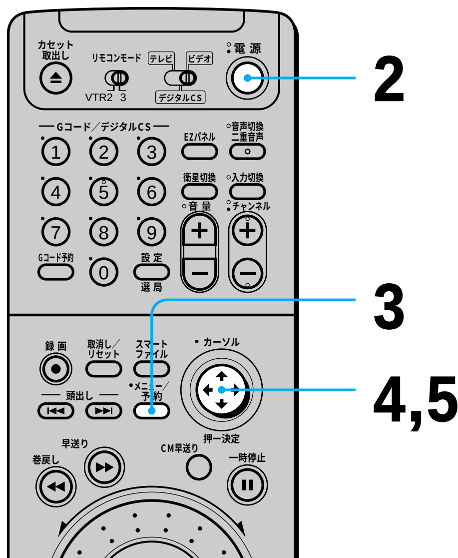
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**1**からやり直してください。

お買い上げ時の設定を変える

画面表示やアンテナ切り換えなどの設定を変えることができます。通常はお買い上げ時の設定で使えます。編集するときや、アンテナ線だけでテレビとつないだときなど、必要に応じて変えてください。



2

3

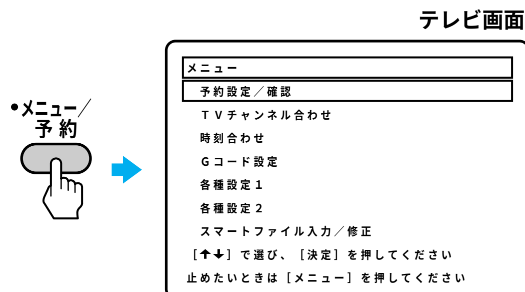
4,5

1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

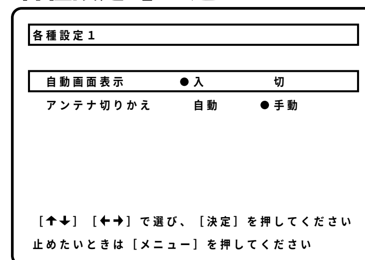
3 メニュー/予約ボタンを押す。

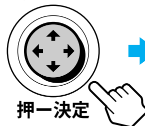
テレビ画面



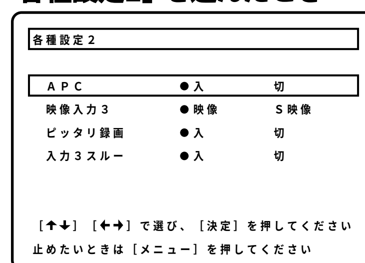
4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「各種設定1」または「各種設定2」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。

「各種設定1」を選んだとき





「各種設定2」を選んだとき



5 カーソルスティックを↑/↓に動かして設定したい項目を選び、←/→に動かして設定する。設定が終わったら、カーソルスティック（決定）を押す。

メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

各設定の内容（●：お買い上げ時の設定）

「各種設定1」

自動画面表示

●入	再生や早送り再生などの走行表示やお知らせガイドが出る（約3秒間出て消える）。
切	走行表示やお知らせガイドが出ない（他機での録画時に走行表示を入れたくないときにこの位置にする）。

アンテナ切りかえ

自動	映像・音声端子のないテレビとつないだときにこの位置にする。
●手動	映像・音声コードでテレビとつないだときにこの位置にする。

「各種設定2」

APC*1

●入	テープとヘッドの状態を自動判別し、最適な画質で再生、録画する（通常はこの位置にする）。
切	APCは働かない。

映像入力3

●映像	入力3端子に映像・音声コードだけつないだときにこの位置にする。
S映像	入力3端子にS映像コードをつないだときにこの位置にする。

ピッタリ録画

●入	録画モードを標準で録画中の1件の予約について、テープ残量が足りなくなると、録画モードが自動的に3倍になる。ただし、録画モードを3倍にしてもテープ残量が足りないときは、テープの終わりで録画が止まる。
切	常に選んだ録画モードで録画する。

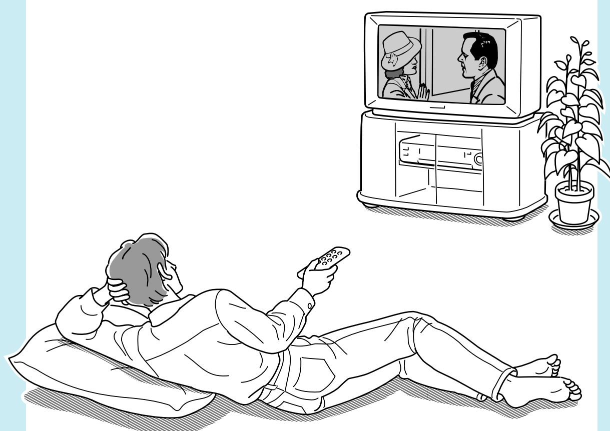
入力3スルー

●入	入力切換ボタンで「デジタルCS」を選んだとき、本機の入力3端子に入力された信号を、本機の出力端子から出力する（通常はこの位置にする）。
切	本機の入力3端子に入力された信号は、本機の出力端子から出力しない。

*1 Adaptive Picture Control（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）の略です。

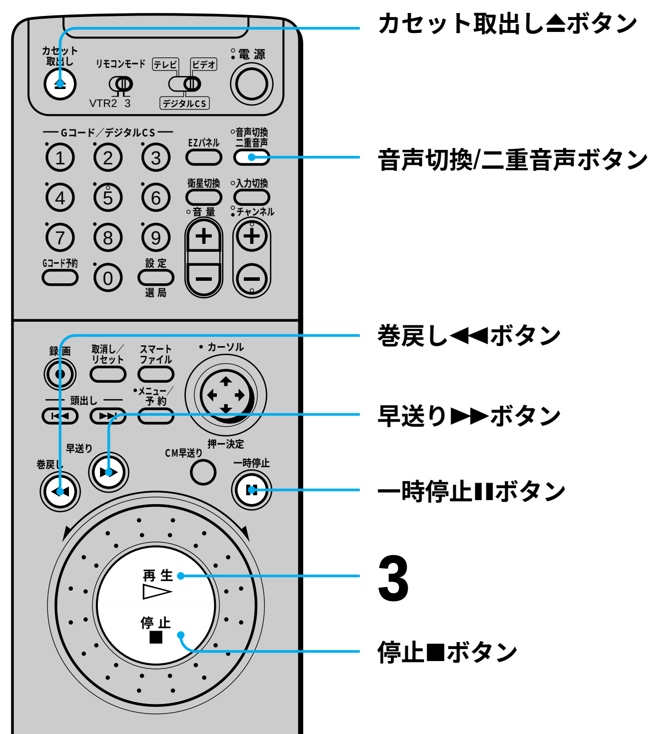
再生

ここでは、再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・2倍速などの変速再生ができるほか、録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りしたり、1本のテープに録画した各番組を頭出ししたりできます。
また、二か国語放送などの主音声・副音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整など、再生に役立つ機能もあります。
デジタル録画した番組の再生については、「デジタル録画した番組を見る」（☛ 84ページ）をご覧ください。



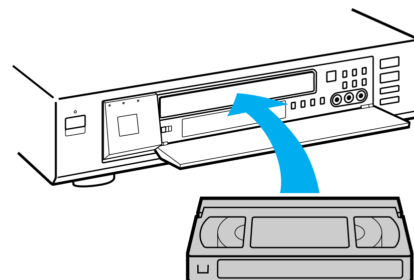
ビデオを見る

S-VHSまたはVHSのビデオテープを再生して見ることができます。また、D-VHSのビデオテープにアナログ録画した番組もこの方法で再生して見ることができます。
D-VHSテープにデジタル録画した番組を再生するには、「デジタル録画した番組を見る」（☛ 84ページ）をご覧ください。



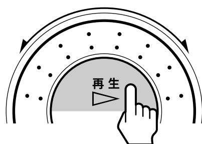
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。



⚠注意
小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがをすることがあります。

3 **再生▷ボタンを押す。**



再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。
もう1度押すか5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。

カセットを取り出すには

カセット取出し⏏ボタンを押します。

ちょっと一言

- ツメの折れたカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- 二か国語放送などの音声を切り換えるには、音声切換/二重音声ボタンを押します（☞ 47ページ）。

ご注意

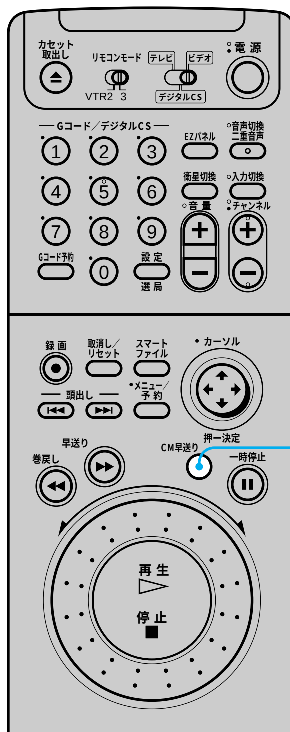
- カセット挿入口にVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません（簡易再生）。

こんなときは

- リモコンで操作できない。
  →リモコンモードを確認してください（☞ 7ページ）。

CMをとばす

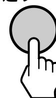
録画したテープを見ているときに、CMなど、とばしたい部分を早送りすることができます。



CM早送りボタン

再生中にとばしたい部分で、CM早送りボタンを押す。

テープの30秒ぶんを早送り再生したあと、自動的に再生に戻ります。早送り中は、音声は出ません。



続けて1分以上早送りするには

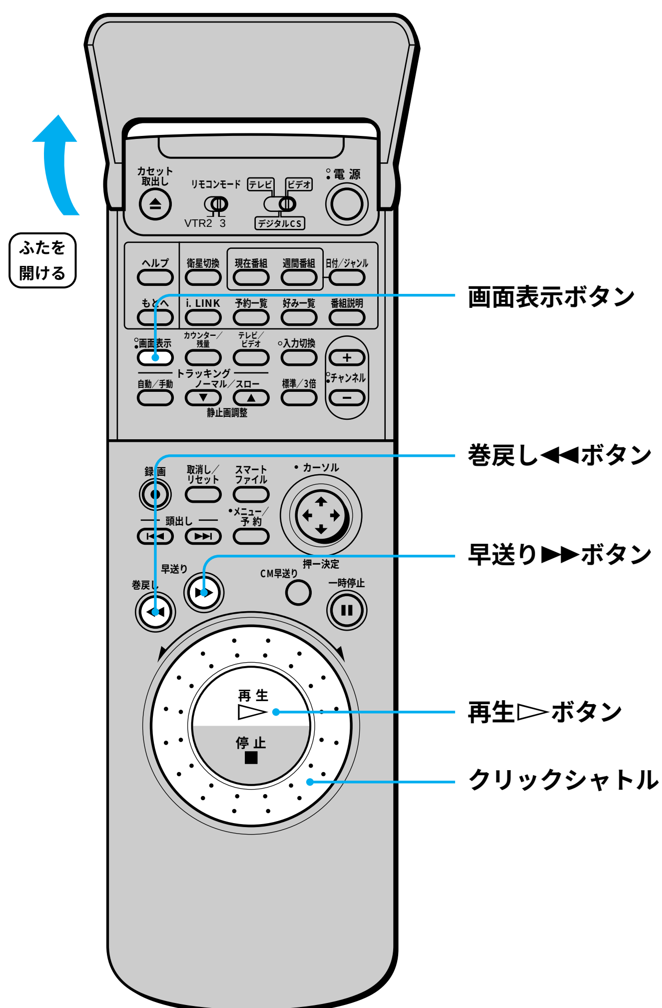
CM早送りボタンを2回以上押します。
押すたびに30秒ずつ、最長2分間（4回押したぶん）まで早送りします。

ご注意

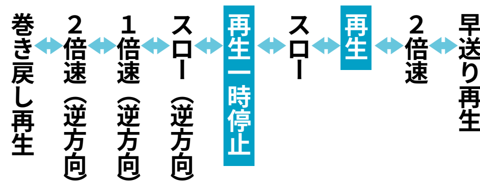
- 録画中は、CM早送りボタンは働きません。

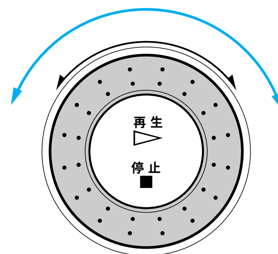
速さを変えて見る

いろいろな速さで画像を見ることができます。再生の速さを変えると、音声は出ません。



再生中または再生一時停止中にクリックシャトルを回す。





画面表示ボタンを押すと、下の表示が出ます。

画像の速さ	画面表示
早送り再生	早送り再生
2倍速	2倍速
再生	再生
スロー	スロー
再生一時停止	再生　一時停止
スロー（逆方向）	逆スロー
1倍速（逆方向）	－1倍速
2倍速（逆方向）	－2倍速
巻き戻し再生	巻戻し再生

ふつうの再生に戻すには

クリックシャトルを回して再生の位置に戻すか、再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

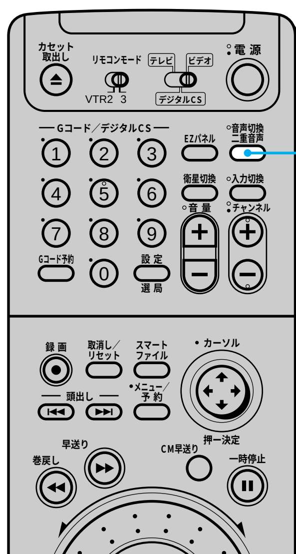
- 再生中に早送り▶▶ボタンや巻戻し◀◀ボタンを押すと、押している間早送り再生や巻き戻し再生になります。
- スローで見ているときに5分以上たつと、自動的にふつうの再生になります。

ご注意

- 停止中または録画中、録画一時停止中は、クリックシャトルで画像の速さを変えることはできません。
- 本体にクリックシャトルがないソニーのビデオデッキを、本機のリモコンのクリックシャトルで操作しても、動きません。
- 再生の速さを変えると、画像が乱れます。
- D-VHSにデジタル録画した番組は、速さを変えて見ることはできません。

二か国語放送などの音声を切り換える

二か国語放送などを録画したテープを再生すると、主音声と副音声が同時に聞こえます。聞きたい音声に切り換えてください。ステレオ放送を録画したテープは、自動的にステレオで聞こえます。



再生中に音声切換/二重音声ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、画面に出る表示と聞こえる音声が次のように切り換わります。



画面に出る表示	聞こえる音声	
	二か国語放送	ステレオ放送
ステレオ*	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左*	主音声	左チャンネル
副/右*	副音声	右チャンネル
表示なし	主音声	モノラル

* ビデオ本体に「ステレオ/二重音声」表示が出ます。

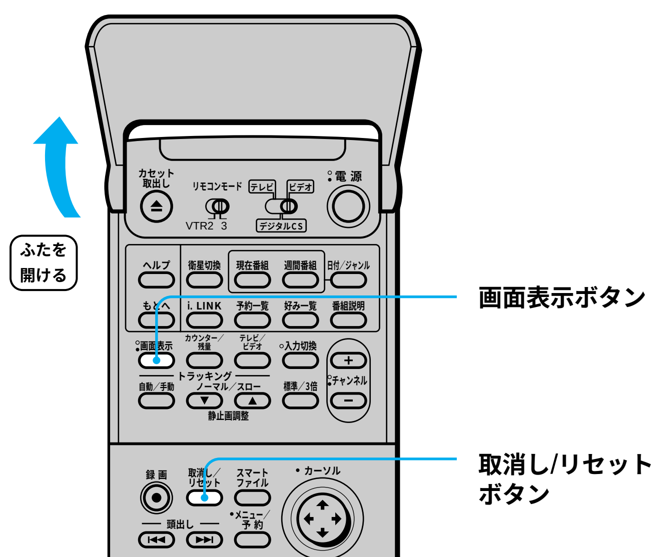
ちょっと一言
- 本機で受信している二か国語放送の音声も、音声切換/二重音声ボタンで切り換えることができます。
- 「入力1」または「入力2」、「入力3」を選んでいるときも、ビデオ本体に「ステレオ/二重音声」表示が出ます。

ご注意
- 音声切換/二重音声ボタンは、次のとき働きません。
  – モノラルビデオで録画したテープを再生したとき（常にモノラル）
  – ステレオ放送を受信しているとき
- D-VHSにデジタル録画した番組の音声を、本機で切り換えることはできません。
  音声の切り換えについては、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

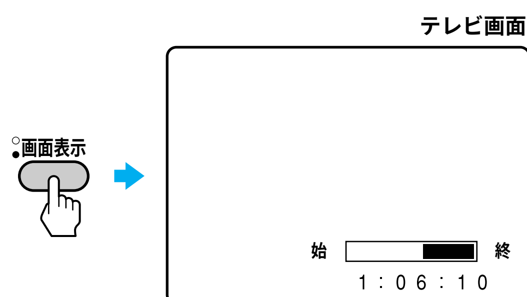
画面表示やテープ残量を見る

テープカウンターとテープ残量をテレビ画面で見たり、テープ残量を時間表示することができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。

画面表示を見る



画面表示ボタンを押す。
テープカウンターおよびテープ残量が出ます。もう一度押すと元の画面に戻ります。



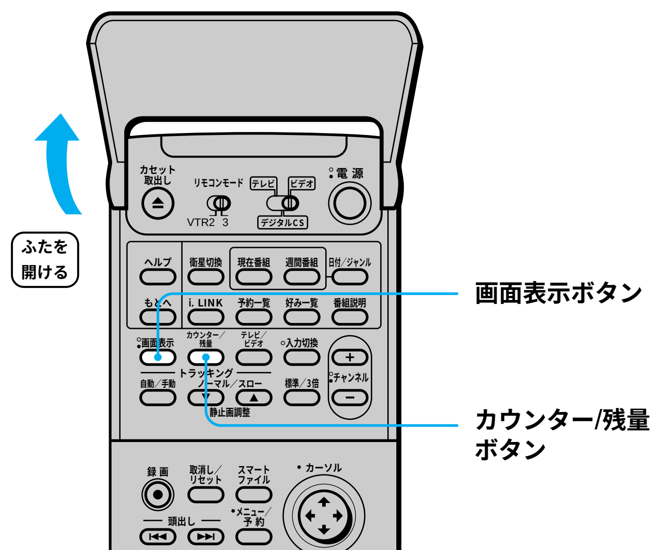
テープカウンターを「0:00:00」に戻すには

取消し/リセットボタンを押します。テープを入れ換えたときも「0:00:00」になります。ビデオ本体では「0H00M00S」表示になります。

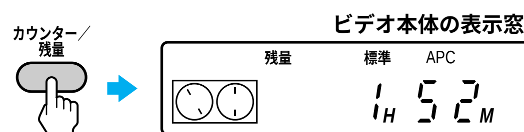
ちょっと一言

• 「再生」や「早送り」など操作時に自動的に出てくる走行表示を消したいときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「切」にしてください（☞ 43ページ）。

テープ残量を時間表示する



カウンター/残量ボタンを押す。
もう一度押すとカウンター表示に戻ります。



ちょっと一言

• テープ残量を時間表示しているとき、画面表示ボタンを押すと、テレビ画面でも表示を見ることができます。

ご注意

• VHS-Cカセットアダプターを使用した場合、残量表示は正しく表示されません。
• テープの種類によっては、残量が正しく表示されないことがあります。
• テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

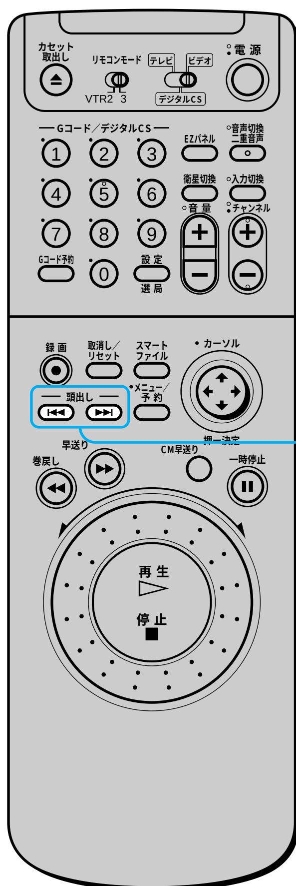
番組を頭出しする

番組の頭出しや、テープの頭まで巻き戻して自動的に再生することができます。

番組の頭から再生する

いくつかの番組を1本のテープに録画したときは、各番組の頭出しができます。
頭出し信号は次のときに自動的に付きます。

- 録画●ボタンを押したとき
- 予約録画が始まったとき



頭出し⏮/⏭ボタン

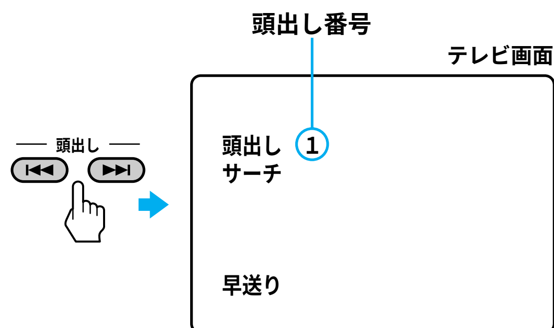
頭出し⏮/⏭ボタンを繰り返し押して、頭出ししたいところの頭出し番号を選ぶ。

頭出し番号は、－9から9（前後9番組）まで選ぶことができます。

頭出し番号

-2	-1	1	2
前の場面	今の場面	次の場面	

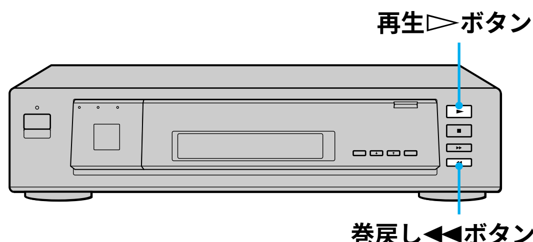
⏭で次の番組を、⏮で前の番組を頭出しして再生します。



ちょっと一言

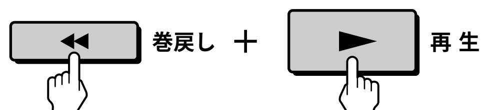
- 「頭出し」表示が画面に出ないときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「入」にしてください（☛ 43ページ）。
- 他機で録画した頭出し信号の付いたテープも、本機で番組を頭出しできます。

テープの頭から自動的に再生する
（オートプレイ）



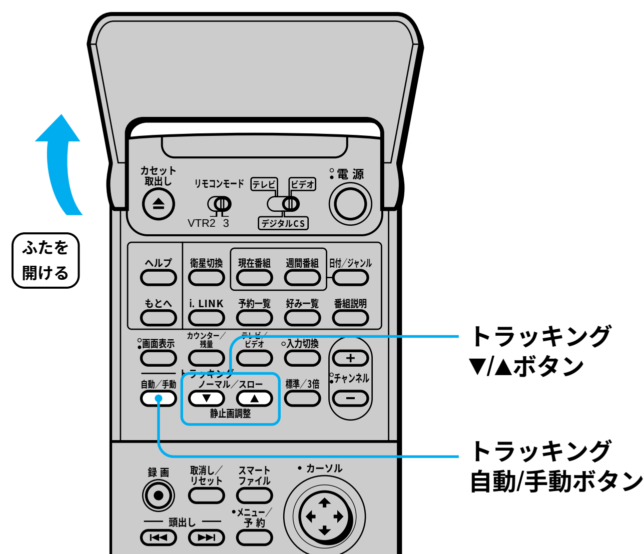
停止中にビデオ本体の巻戻し◀◀ボタンを押しながら、再生▷ボタンを押す。

テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります。



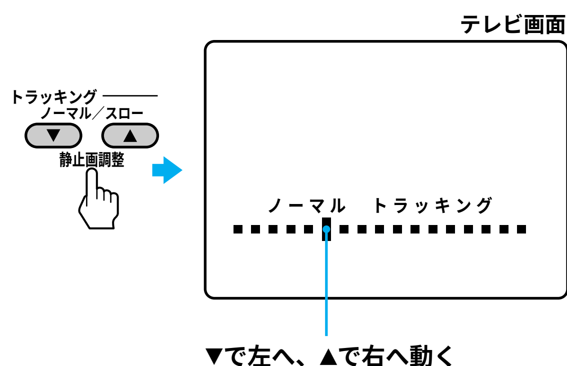
画像と音声を調整する（トラッキング）

再生画像が乱れたり雑音が出るときは、手動でトラッキングを調整してください。通常はトラッキング自動調整が働いて、きれいな画像で見ることができます。



再生中にトラッキング▼/▲ボタンを押して調整する。

ビデオ本体の表示が点灯します。



トラッキングを自動調整に戻すには

トラッキング自動/手動ボタンを押します。ビデオ本体の☒表示が点滅し、調整が終わると消えます。

ご注意

- 他のビデオで録画したカセットや録画状態の悪いカセットでは、チラつきが充分に消えないことがあります。
- ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- スローのチラつきは、スロー再生中にトラッキング▼/▲ボタンを押して調整してください。
- 再生一時停止中の縦ゆれは、再生一時停止中にトラッキング▼/▲ボタンを押して調整してください。
- 2倍速のチラつきは、2倍速再生中にトラッキング▼/▲ボタンを押して調整してください。

録画・予約

ここでは、次のような録画と予約について説明します。

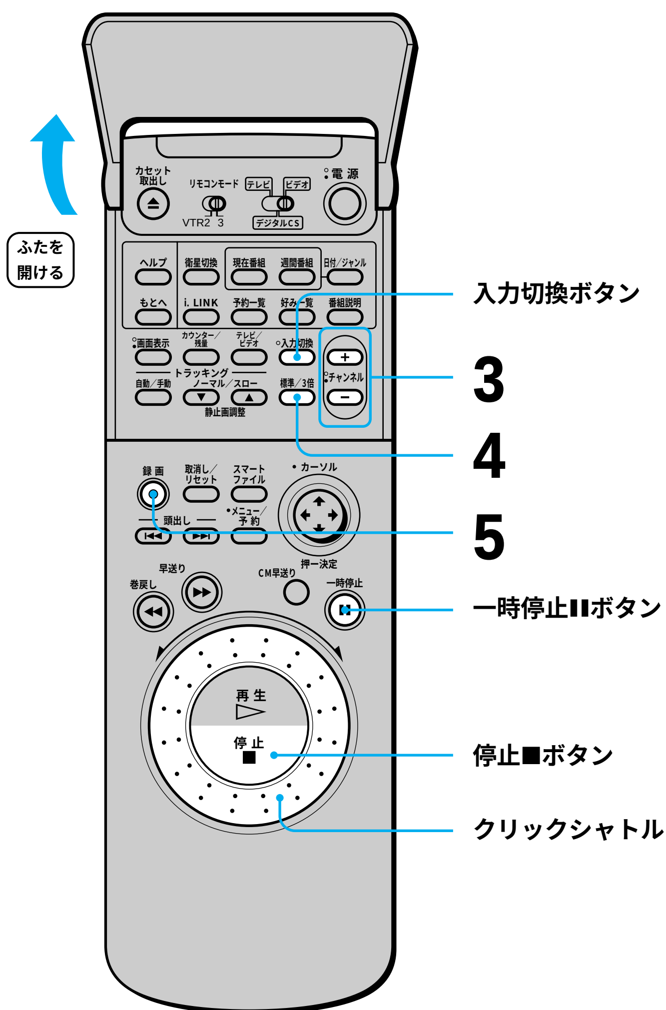
- テレビで見ている番組や裏番組の録画。
- 何時間後に録画を止めるかを決めるクイックタイマー。
- 1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組の予約。
- Gコード予約。

D-VHSテープのデジタル録画については、「デジタルCS放送をデジタル録画する」（☛ 82ページ）をご覧ください。



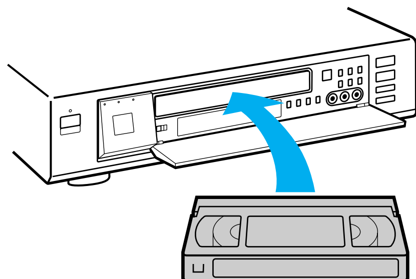
録画する

VHSのビデオテープにテレビで見ている番組を録画したり、裏番組を録画したりできます。また、D-VHSのビデオテープにアナログ録画するときは、この方法で録画します。
D-VHSテープにデジタル録画するには、「デジタルCS放送をデジタル録画する」（☛ 82ページ）をご覧ください。



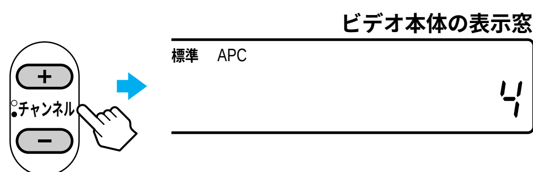
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。



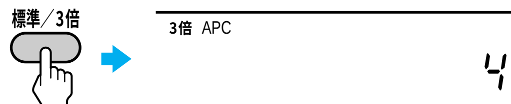
3 **チャンネル＋/－ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ。**
＋ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（1、2、…）→ 入力1（L1）→ 入力2（L2）→ 入力3（L3）→ i.LINK（デジタルCS）

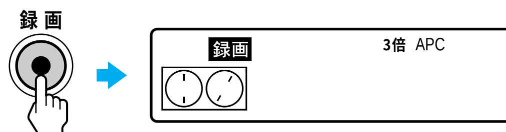


- **i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信したデジタルCS放送をアナログで録画するには**
  「L3」を選びます。その後、録画したいチャンネルをデジタルCSチューナーで選びます。
- **BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画するには**
  「L1」または「L2」、「L3」（テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子）を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

4 **標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。**
長時間録画したいときは、ビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。標準の3倍長く録画できます。画質は「標準」の方が優れています。



5 **録画●ボタンを押す。**
このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。



- **i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信したデジタルCS放送をアナログで録画しているときは**
  デジタルCSチューナーのチャンネルを変えないでください。録画されるチャンネルが変わってしまいます。また、デジタルCSチューナーの電源は入れたままにしておきます。
- **BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画しているときは**
  テレビのBSチャンネルを変えないでください。録画されるチャンネルが変わってしまいます。また、BSチューナー内蔵テレビの種類によっては、テレビの電源を切ると録画できない場合もあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

録画中に裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

次のページにつづく

録画する（つづき）

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**3**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」、「L3」を選ぶこともできます。
- 手順**3**で、クリックシャトルを回してチャンネルを選ぶこともできます。
- 本機の入力3端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定2」で「映像入力3」を「S映像」にします（☞ 43ページ）。

ご注意

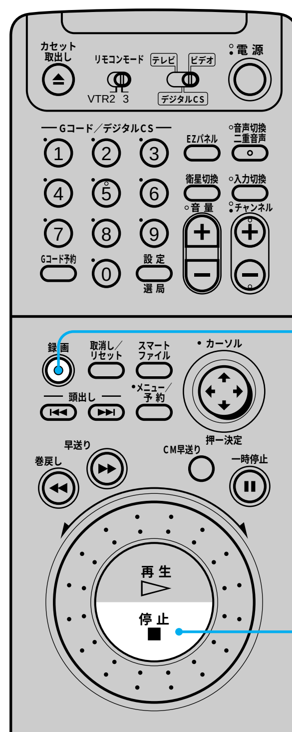
- Gコード/デジタルCS数字ボタンでビデオのチャンネルは選べません。
- i.LINK対応デジタルCSチューナーや、BSチューナー内蔵テレビから録画する場合、画面表示を出したままにしておくと、画面表示も一緒に録画されます。

こんなときは

- 録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。
  →カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください（☞ 90ページ）。
- リモコンで操作できない。
  →リモコンモードを確認してください（☞ 7ページ）。

決めた時間だけ録画する（クイックタイマー）

何時間後に録画を止めるかを決められます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。



録画●ボタン

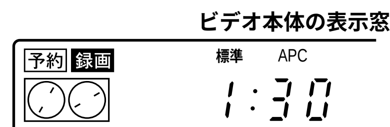
停止■ボタン

録画中に録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ。

押すたびに、30分ずつ時間が増えます。時間は30分後（0:30）から11時間後（11:00）まで選べます。



1時間30分後に録画を止めたいとき



指定した時間がたつと、自動的に録画が止まり電源が切れます。

録画を止めるまでの時間を変えるには

録画●ボタンを繰り返し押して、その時点から録画を止めるまでの時間を選びます。

クイックタイマーの途中で録画を止めるには

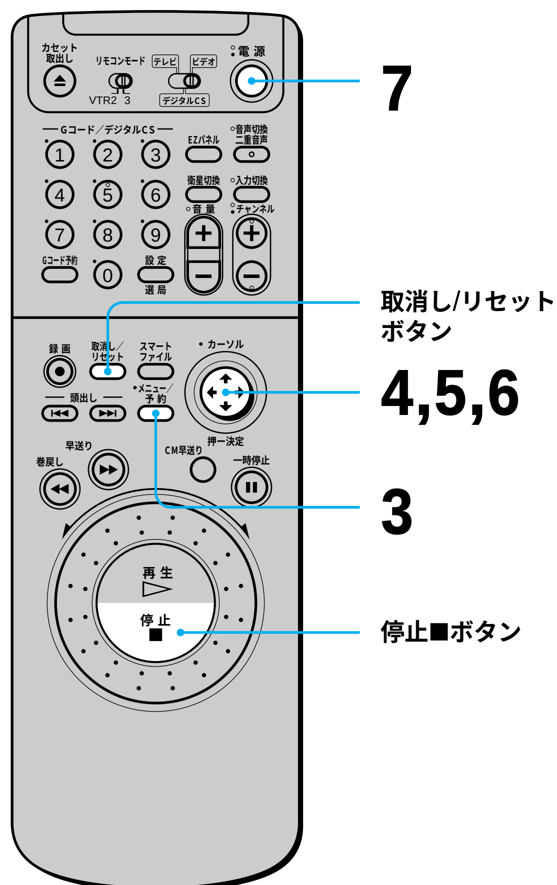
停止■ボタンを押します。

設定した時間を取り消すには

録画●ボタンを繰り返し押して、ビデオ本体の表示窓にテープカウンターを出します。

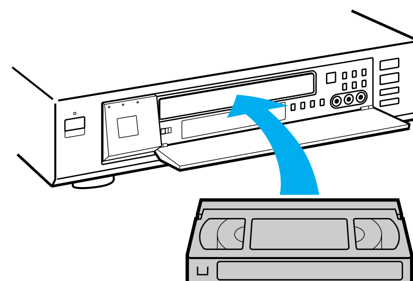
予約する

1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。それ以外に、Gコードを使った予約（☞58ページ）もできます。あわせて8番組まで予約できます。
i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信した番組の予約は、本機ではできません。予約については、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

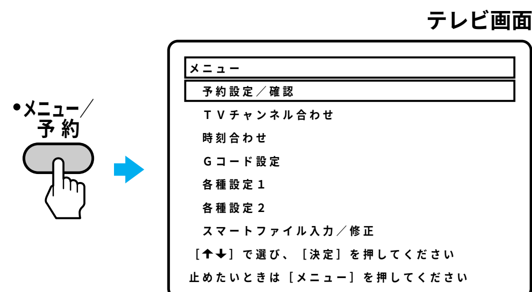


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

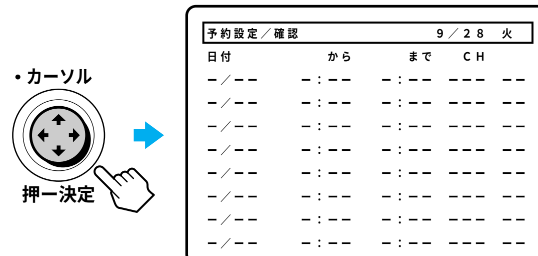
2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。



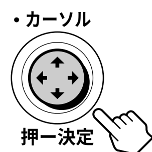
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして「予約設定/確認」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



5 カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして、日時とチャンネルを選ぶ。





1 カーソルスティックを↑/↓に動かして予約を入れる行を選び、→に動かす。

2 カーソルスティックを↑/↓に動かして日付を選び、→に動かす。
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、↓に動かして選びます。

今日（9/28）→ 毎日 → 毎週月〜土 →
毎週月〜金 → 毎週土 →……→ 毎週日 →
1か月先の日（10/27）→………→ 今日（9/28）

- **間違えたときは**
カーソルスティックを←に動かして前の項目に戻ります。

- **途中でやめるときは**
取消し/リセットボタンを押します。

3 カーソルスティックを↑/↓に動かして時刻を選び、→に動かす。

4 カーソルスティックを↑/↓に動かしてチャンネルを選び、→に動かす。
↑に動かすたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（CH1、CH2、…）→ 入力1
→ 入力2 → 入力3

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
「入力1」または「入力2」、「入力3」を選びます。

- **BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約するには**
「入力1」または「入力2」、「入力3」（テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子）を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

5 カーソルスティックを↑/↓に動かして録画モード（標準/3倍）を選ぶ。
長時間録画したいときは「3倍」にします。

6 カーソルスティックを→に動かす。
選んだ行に予約が入ります。

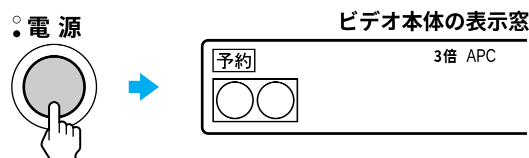
7 続けて予約するときは、手順1〜6を繰り返す。

6 カーソルスティック（決定）を押す。

メニューが消えます。

7 電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。

ビデオ本体の「予約」表示が点灯して、予約待機になります。



録画・予約

次のページにつづく

予約する（つづき）

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

予約待機中にビデオを使うには

電源スイッチを押して電源を入れます（「予約」表示が消えます）。この状態でビデオが使えます。予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、電源を切っておきます（「予約」表示が点灯）。電源が入った状態では、予約録画できません。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。

ご注意

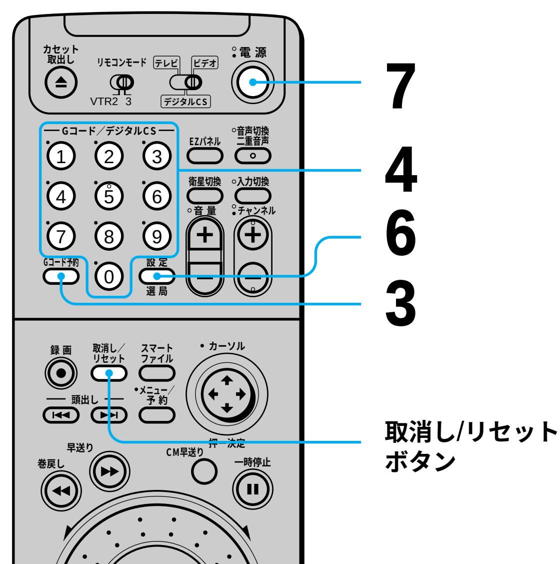
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約したあとで、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。

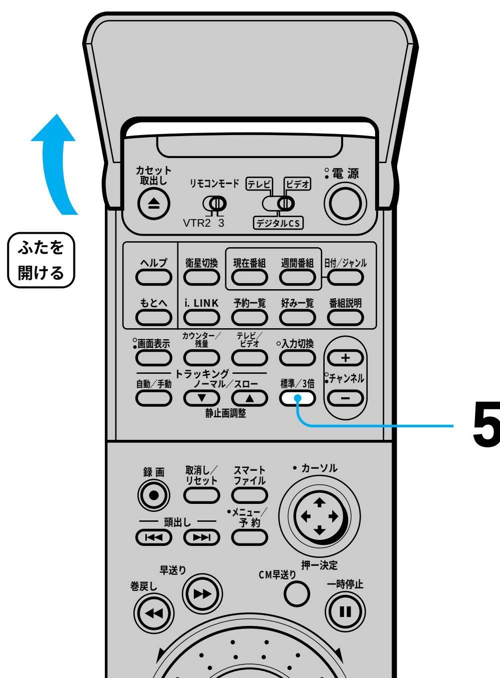
こんなときは

- 手順7でビデオの電源を切ったあと、カセットが出てくる。
  →カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください（☞ 90ページ）。
- 予約したのに録画されていない。
  →ビデオの時計で日付と時刻を正しく合わせてください（☞ 24ページ）。
- リモコンで操作できない。
  →リモコンモードを確認してください（☞ 7ページ）。

Gコードで予約する

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。他の予約と合わせて、8番組まで予約できます。



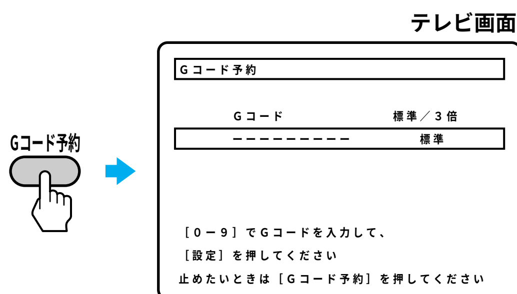


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**

ビデオの電源が自動的に入ります。

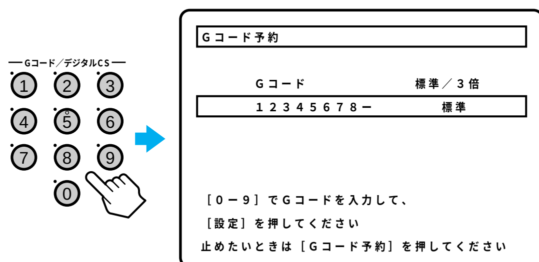
3 **Gコード予約ボタンを押す。**



4 **Gコード/デジタルCS数字ボタンを押して、Gコードの番号を入れる。**

間違えたときは、取消し/リセットボタンを押して、最初から入れ直します。

例：Gコードが「12345678」のとき

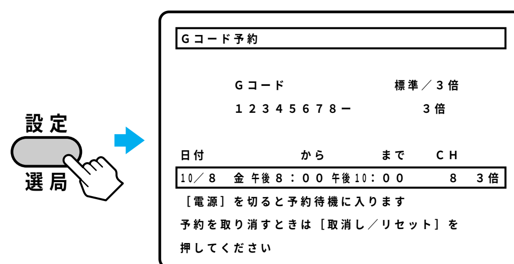


5 **標準/3倍ボタンを押して、録画モード（標準または3倍）を選ぶ。**



6 **設定ボタンを押す。**

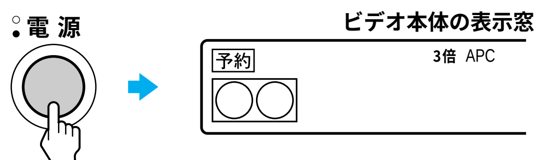
予約した番組の放送される日時とチャンネル番号が出ます。



- **取り消したいときは**
  取消し/リセットボタンを押します。
- **続けて予約するときは**
  手順**3**から繰り返します。
- **途中で止めるときは**
  Gコード予約ボタンを押します。

7 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。**

ビデオ本体の「予約」表示が点灯して、予約待機になります。



録画・予約

次のページにつづく

Gコードで予約する（つづき）

予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」（☞ 60ページ）をご覧ください。

BSチューナー内蔵テレビからBS放送をGコードで予約するには

BSチューナー内蔵テレビとつなぐと、BS放送をGコードで予約できます（「BSチューナー内蔵テレビなどとつなぐ」☞ 15ページ）。このとき「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」（☞ 34ページ）にしたがって、BS放送のGコードを設定しておきます。

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

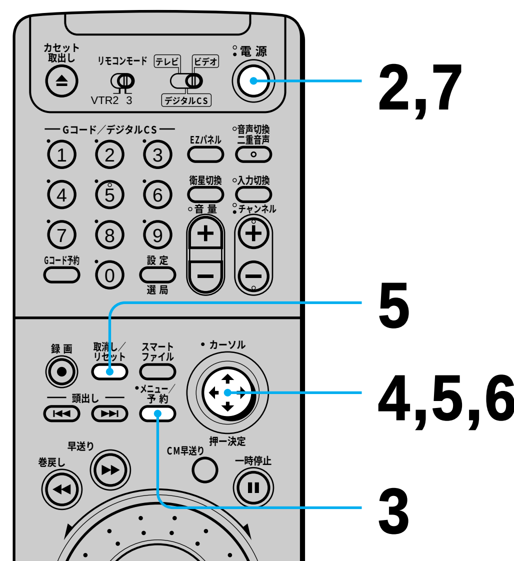
「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」（☞ 34ページ）にしたがって、つないだ機器のGコードを設定しておきます。

ご注意

- 次の場合、入力したGコードが消えます。
  - Gコードを間違えて入れたとき（手順**4**からやり直してください）
  - 時計が正しく合っていないとき（年、月、日も確認してください ☞ 24ページ）

予約を確認する・変更する・取り消す

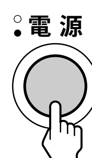
テレビ画面を使って、予約の確認、変更、取り消しができます。



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

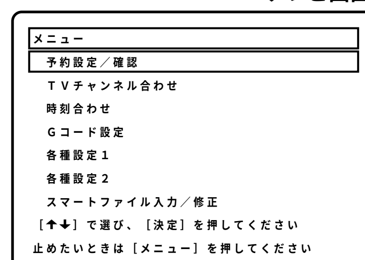
予約待機が解除されます。



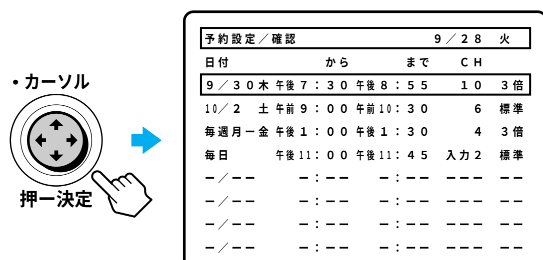
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



テレビ画面



4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「予約設定/確認」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。



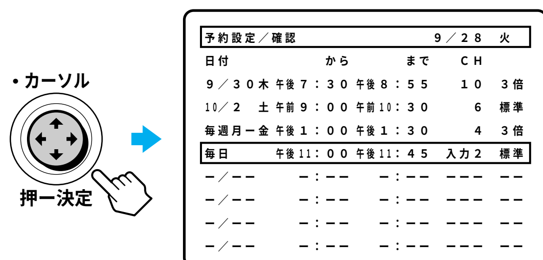
5

• 予約を確認するには

予約の内容がテレビ画面に表示されています。確認してください。

• 予約を変更するには

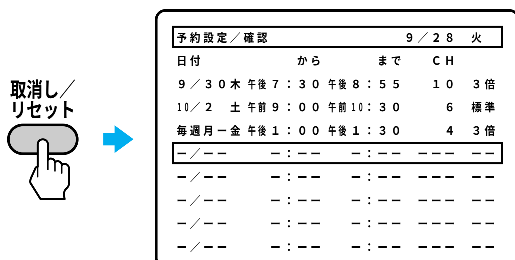
1 カーソルスティックを↑/↓に動かして変更する予約内容を選ぶ。



2 カーソルスティックを←/→に動かして変えたい項目を選び、↑/↓に動かして変更する。

• 予約を取り消すには

カーソルスティックを↑/↓に動かして取り消す内容を選び、取消し/リセットボタンを押します。



続けて別の予約を変更または取り消すときは手順**5**を繰り返します。

6 カーソルスティック（決定）を押す。

メニューが消えます。

7 電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。

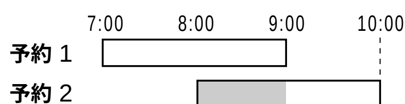
予約待機に戻ります。ただし、予約をすべて取り消した場合は予約待機になりません。

予約が重なったときは

（灰色）で示した部分は録画しません。

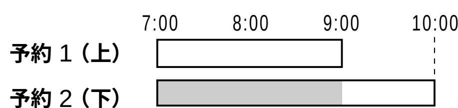
予約時間帯が重なっているとき

先に始まる予約が優先されます。



予約開始時刻が同じとき

「予約設定/確認」画面で、上に表示される予約が優先されます。



こんなときは

- リモコンで操作できない。
  →リモコンモードを確認してください（☞7ページ）。

録画・予約

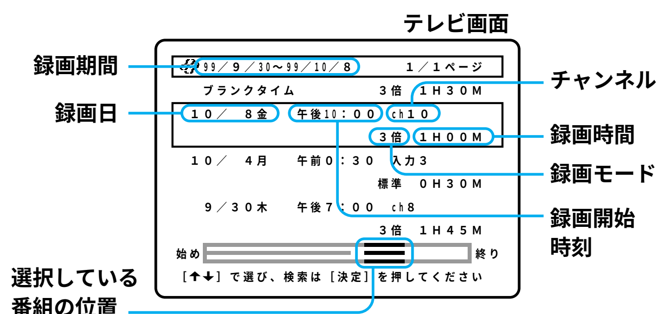
スマートファイル

ここでは、録画した番組の情報（録画開始日時や録画時間、チャンネル、録画モード）を画面に一覧表示して確認できるスマートファイル機能について説明します。スマートファイル機能は、カセットにスマートファイルラベルを貼ると使えます。スマートファイル機能を使うと、画面で番組を選んで頭出ししたり、テープの録画していない部分を選んで録画したりできます。また、番組の録画開始日時の代わりに、番組やテープに好きななまえを付けることができます。



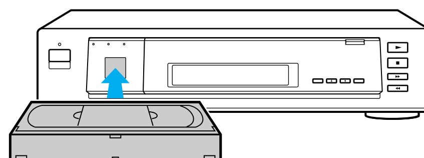
スマートファイルとは

スマートファイルラベルには、番組の情報を記録するための、ICメモリーを内蔵した精密部品がついています。スマートファイルラベルをカセットに貼って録画すると、番組の情報（録画開始日時や録画時間、チャンネル、録画モード）が自動的に記録されます。番組の情報はテレビ画面で確認することができます。

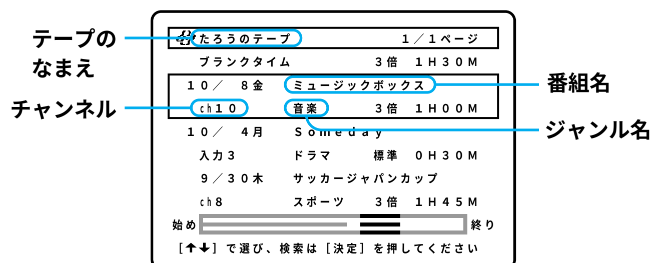


スマートファイルには、次のような使いかたがあります。

- 番組の情報を画面で確認する（☞63ページ）
- テープの録画していない部分を選んで録画する（☞64ページ）
- 番組を選んで頭出しする（☞66ページ）
- カセットをかざして番組の一覧を表示する（☞67ページ）



- 番組やテープになまえを付ける（☞68ページ）



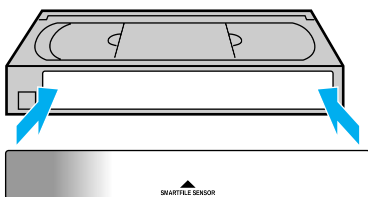
- 番組の情報を消去する（☞74ページ）

スマートファイルラベルを貼る

スマートファイルラベルを貼ったカセットをスマートファイルカセットと呼びます。スマートファイル機能を使うには、このスマートファイルカセットを使います。

1 **カセットの背についている汚れやほこりを取りのぞく。**

2 **スマートファイルラベルが折れ曲がらないように両端を持ち、カセットの背のくぼみに合わせて貼る。**



ご注意

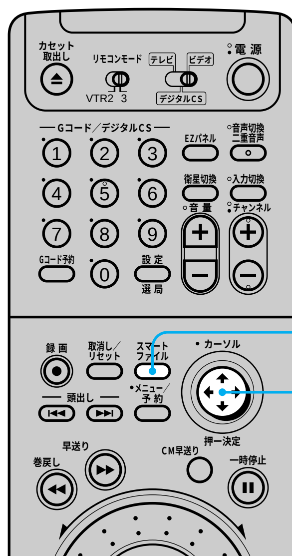
- スマートファイルラベルにはICメモリーを内蔵した精密部品がついています。ICメモリーに正しく記録できなくなることがあるため、次のような使いかたはしないでください。
  - 折る・曲げる
  - 一度貼ったスマートファイルラベルをはがしたり、貼り直したりする
  - スマートファイルラベルを重ねて貼る
  - 金属を含んだシールなどをスマートファイルラベルに重ねて貼る
  - ボールペンなどの尖ったもので強く書く
  - 分解する、改造する
- スマートファイルラベルを保管するときは、次のような場所は避けてください。
  - ほこりの多いところ
  - 直射日光があたるところ
  - 湿気の多いところ
  - 強い磁気が発生するものの近く
  - 暖房機具の近く
- 30分以下のVHSテープおよび60分以下のD-VHSテープでは、スマートファイル機能が正しく使えません。

スマートファイルを使って録画する

スマートファイルカセットに録画すると、番組の情報（録画開始日時や録画時間、チャンネル、録画モード）を自動的にスマートファイルラベルに記録し、画面に表示することができます。番組の情報は、最も新しい番組から12番組まで記録できます。テープの録画内容を確認するのに、テープを送って再生する必要がありません。また、画面でテープの録画していない部分を選んで録画することもできます。

番組の情報を画面で確認する

スマートファイルカセットに録画したあと、番組の情報をスマートファイル検索画面で確認することができます。



3
カーソルスティック

1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

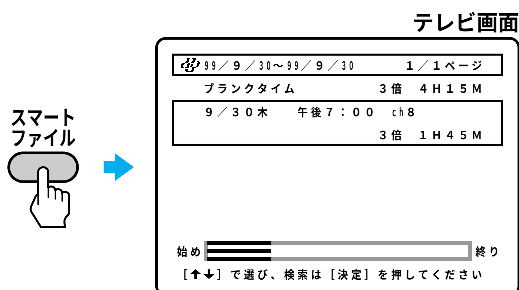
2 **スマートファイルカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

次のページにつづく

スマートファイルを使って録画する（つづき）

3 **スマートファイルボタンを押す。**

スマートファイル検索画面が表示されます。
カーソルスティックを↓に繰り返し動かすと、次のページを表示できます。



i.LINK対応デジタルCSチューナーDST-MS9とつないだときは

デジタルCS放送の番組をD-VHSテープにデジタル録画すると、番組名が自動的にスマートファイルラベルに記録されます。
本機で表示できる文字は、JISコード第1水準に対応しています。文字によっては、表示できないものや、別の文字に変換して表示されるものがあります。

ちょっと一言

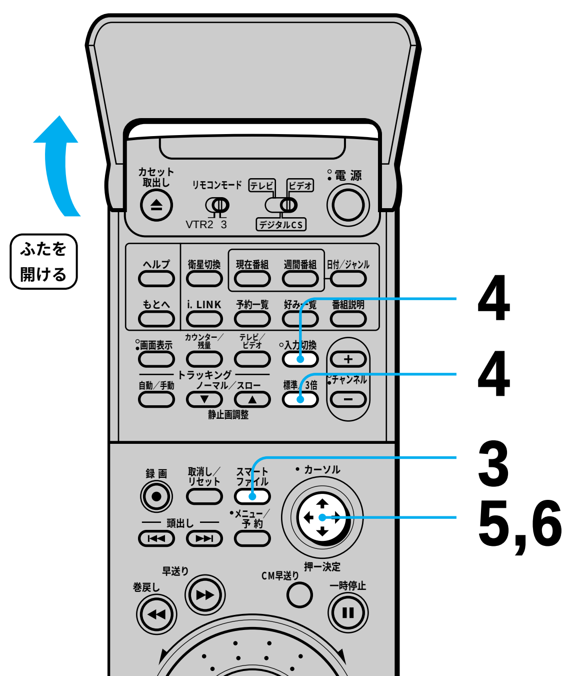
- 録画の方法（予約録画やGコード録画など）に関係なく、番組の情報を記録します。
- 録画中に一時停止・一時停止解除をしても、番組の情報は正しく記録されます。
- 番組に好きななまえを付けたり、ジャンル名を選んで付けることができます。また、テープにもなまえを付けることができます（☞ 68ページ）。
- ピッタリ録画（☞ 43ページ）を使って録画した番組は、録画中に3倍モードに切り換わっても、スマートファイル画面では「標準」が表示されます。

ご注意

- 番組の録画時間が短いとき（標準モードで10分未満、3倍モードで30分未満、D-VHSモードで20分未満のとき）は、番組の情報は記録されません。
- 1本のテープに12番組分の情報が記録されているとき、新しく録画すると、スマートファイル画面から最も古い番組の情報が消え、新しい番組の情報が記録されます。スマートファイル画面から番組の情報が消えても、録画した番組は消えません。
- 時計が設定されていないと、録画開始日時は正しく記録されません。
- スマートファイル画面の録画時間やブランクタイムは、実際のテープの時間と多少異なることがあります。

テープの録画していない部分を選んで録画する

録画していない部分のうち、もっとも長い部分の時間を「ブランクタイム」といいます。スマートファイル検索画面で「ブランクタイム」を選ぶと、録画していない部分の頭出しをすることができます。



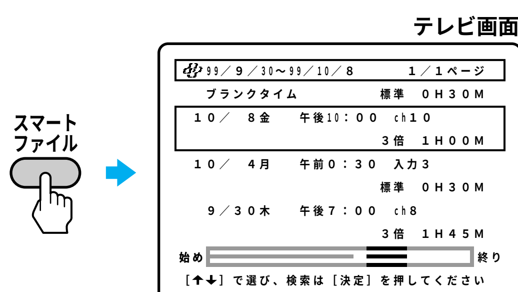
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **スマートファイルカセットを入れる。**

ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

3 **スマートファイルボタンを押す。**

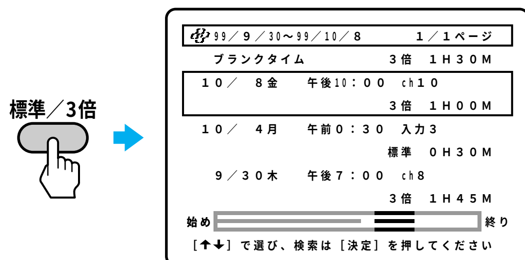
スマートファイル検索画面が表示されます。



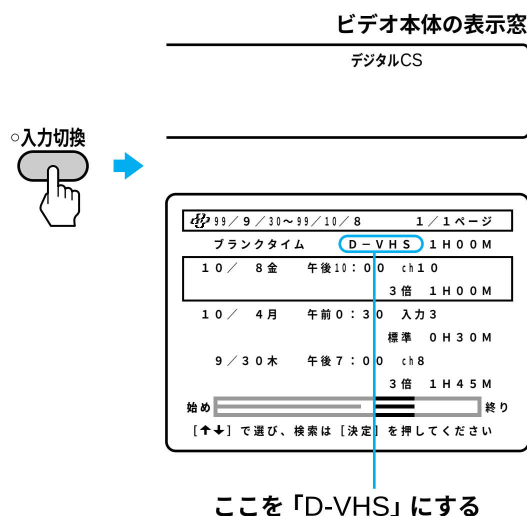
4 録画モードを選ぶ。

選んだ録画モードでブランクタイムを表示します。

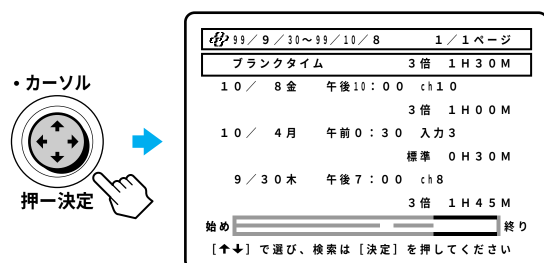
- **VHSテープまたはD-VHSテープにアナログ録画するときは**
  標準/3倍ボタンを押して「標準」または「3倍」を選びます。



- **D-VHSテープにデジタル録画するときは**
  入力切換ボタンを押して「デジタルCS」を選びます。このとき、テレビ画面では「D-VHS」と表示されます。



5 カーソルスティックを↑に動かして「ブランクタイム」を選ぶ。



6 カーソルスティック（決定）を押す。

録画されていない部分を頭出しして、停止します。

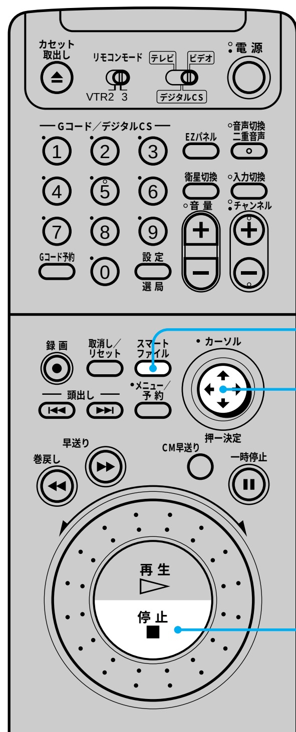
7 録画する。

ご注意

- スマートファイルラベルを貼る前に録画した番組や、本機以外のビデオデッキで録画した番組は、録画していない部分として表示されます。

番組を選んで頭出しする

スマートファイル検索画面で見たい番組を選ぶと、頭出し再生することができます。



3

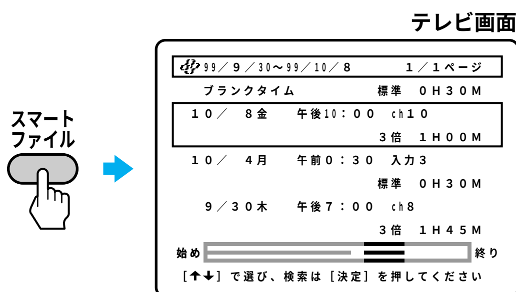
4,5

停止■ ボタン

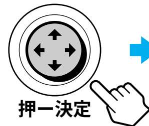
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

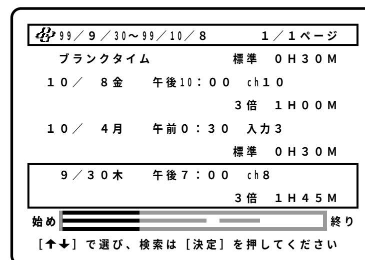
2 **スマートファイルカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

3 **スマートファイルボタンを押す。**
スマートファイル検索画面が表示されます。



4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして見たい番組を選ぶ。**
カーソルスティックを↓に繰り返し動かすと、次のページを表示できます。





5 **カーソルスティック（決定）を押す。**
選んだ番組を頭出しして、再生します。

頭出しを途中で止めるには

停止■ボタンを押します。

録画した番組に他の番組を重ねて録画したときは

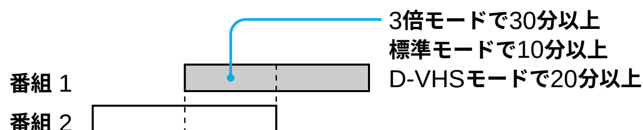
次のように、録画した番組に他の番組を重ねて録画すると、スマートファイル画面の番組の情報は消えます。

　　で示した部分が消えます。時間は目安です。

テープによっては、重ねて録画した時間にかかわらず、先に録画した番組の内容が消えることがあります。

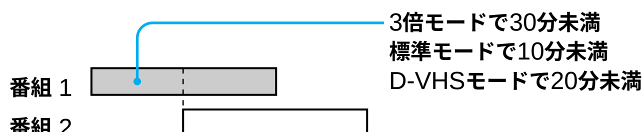
番組の頭に重ねて録画したとき

先に録画した番組の頭から、3倍モードで30分、標準モードで10分、D-VHSモードで20分以上重ねて録画すると、先に録画した番組の情報は消えます。



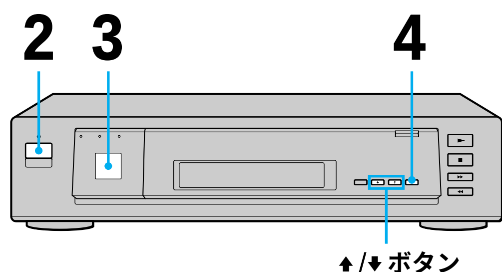
番組の終わりに重ねて録画したとき

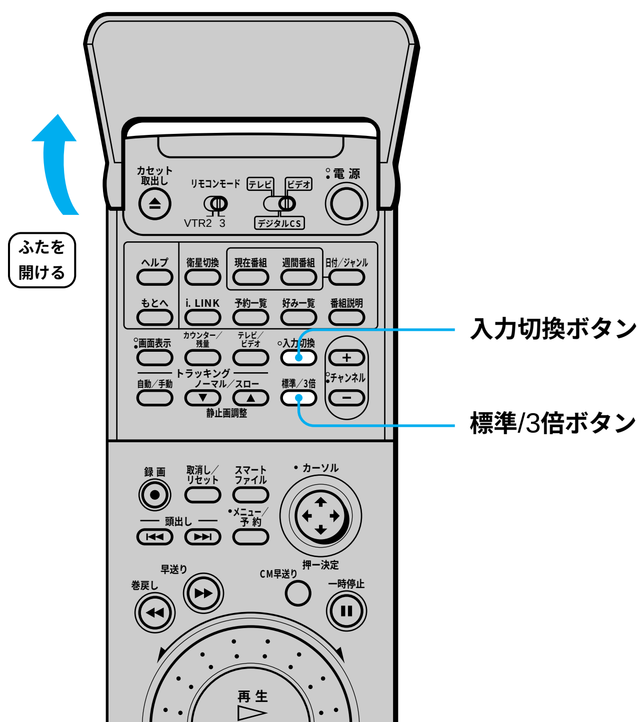
先に録画した番組の頭が、3倍モードで30分、標準モードで10分、D-VHSモードで20分未満の位置から重ねて録画すると、先に録画した番組の情報は消えます。



カセットをかざして番組の一覧を表示する

カセットに貼ったスマートファイルラベルをビデオ本体にかざすと、自動的にスマートファイル一覧画面が表示されます。カセットを入れずに番組の情報を確認できます。





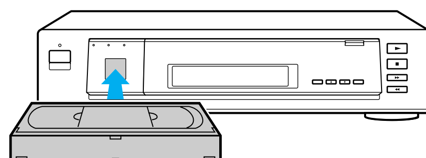
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **カセットに貼ったスマートファイルラベルの中央をスマートファイルセンサーにかざす。**

ラベルの中央とスマートファイルセンサーが3cm以下になるまで、ゆっくり近づけます。「ピッ」と鳴って、スマートファイル一覧画面が表示されます。

↓ボタンを押すと次のページを表示することができます。↑ボタンを押すと前のページに戻ります。



テレビ画面

99／9／30～99／10／12　　1／2ページ
ブランクタイム　　3倍　0H30M

10／12火	午前5：05	ch12
10／10日	午後0：45	ch4
10／ 8金	午後10：00	ch10
10／ 4月	午前0：30	入力3
9／30木	午後7：00	ch8

［↑↓］でページ切替
止めたいときは［決定］を押してください

4 **決定ボタンを押して、スマートファイル一覧画面を消す。**



次のページにつづく

カセットをかざして番組の一覧を表示する（つづき）

ちょっと一言

- 標準/3倍ボタンを押すと、選んだ録画モードでブランクタイムが表示できます。
- D-VHSモードでブランクタイムを表示させたいときは、手順**3**の前に入力切換ボタンを押して「デジタルCS」を選びます。
- 標準/3倍ボタン、および↑/↓ボタン以外のボタンを押すと、スマートファイル一覧画面は消えます。
- ボタンを押さずに3分間たつと、スマートファイル一覧画面は自動的に消えます。

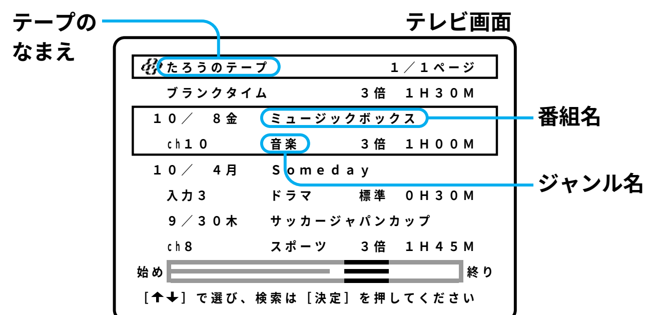
ご注意

- スマートファイル一覧画面は、次のとき表示できません。
  – 本体に入れた、別のスマートファイルカセットのスマートファイル画面を表示しているとき
  – メニューや予約設定/確認などの画面を表示しているとき
- スマートファイル一覧画面が表示されないときは、カセットをスマートファイルセンサーから5cm以上離してから、手順**3**をやり直してください。

番組やテープになまえを付ける

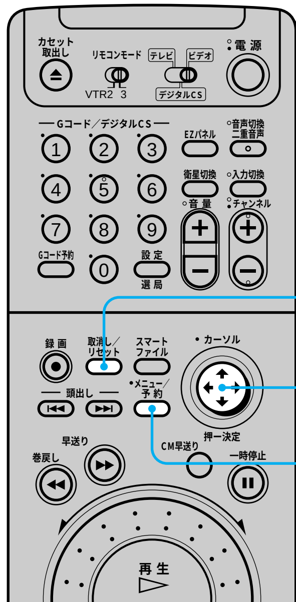
録画した番組に好きななまえやジャンル名を付けることができます。また、テープになまえを付けることもできます。

なまえを付けると、スマートファイル検索画面には次のように表示されます。



番組になまえを付ける

番組のなまえは、ひらがなやカタカナ、アルファベットなどを使って、最大14文字で付けることができます。



取消し/リセットボタン

4,5,6,7,8,9

3,11

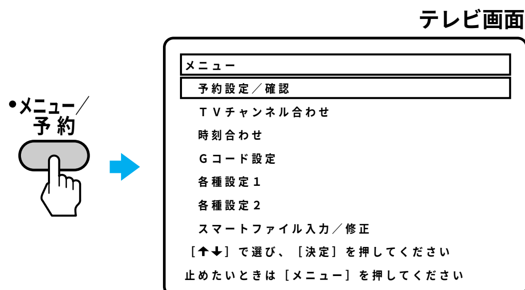
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 スマートファイルカセットを入れる。

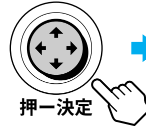
ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

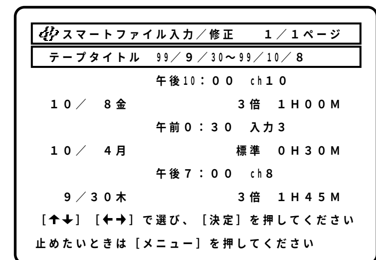
3 メニュー/予約ボタンを押す。

テレビ画面

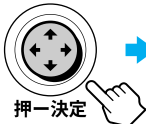


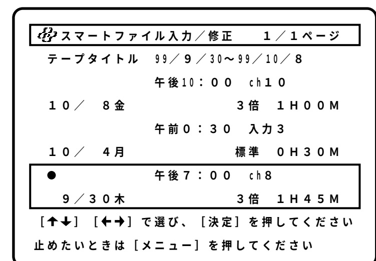
4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「スマートファイル入力/修正」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。





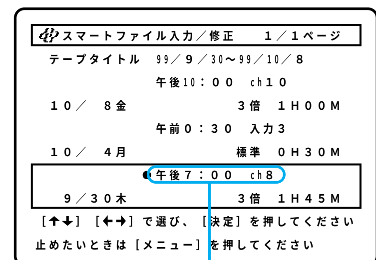
5 カーソルスティックを↑/↓に動かしてなまえを付けたい番組を選び、カーソルスティック（決定）を押す。





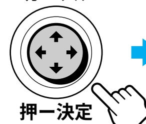
6 カーソルスティックを←/→に動かして、●を番組名の位置に合わせる。

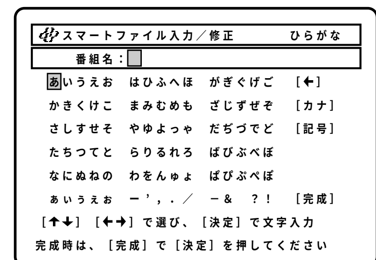




番組名の位置

7 カーソルスティック（決定）を押す。



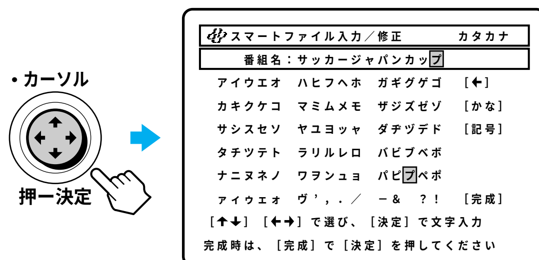


次のページにつづく

番組やテープになまえを付ける（つづき）

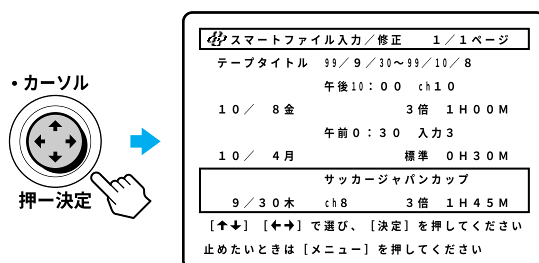
8 **カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして文字を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**

［かな］、［カナ］、［記号］を選んで、カーソルスティック（決定）を押すと、入力する文字の種類を変更することができます。アルファベットは［記号］を選ぶと入力できます。



- **間違えたときは**
  カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして［←］を選び、カーソルスティック（決定）を押します。または、取消し/リセットボタンを押します。
  うしろから一文字ずつ消えます。

9 **カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして［完成］を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



10 **続けて番組になまえを付けるときは、手順5から9を繰り返す。**

11 **メニュー/予約ボタンを押す。**

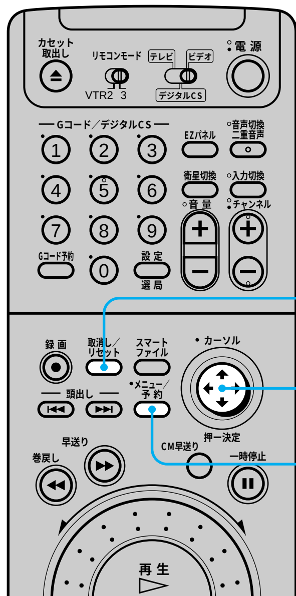
スマートファイル入力/修正画面が消えます。

番組のなまえを消去するには

手順**6**のあと、取消し/リセットボタンを押します。番組のなまえが消え、録画開始時刻とチャンネルに戻ります。

番組にジャンル名を付ける

16種類のジャンル名から好きなジャンル名を選んで付けることができます。



取消し/リセットボタン

4,5,6,7,8,9

3,11

1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

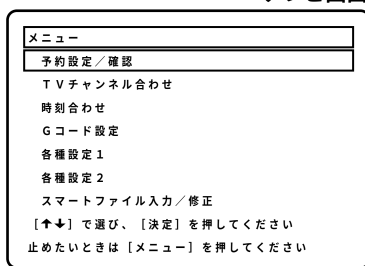
2 スマートファイルカセットを入れる。

ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

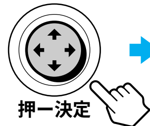
3 メニュー/予約ボタンを押す。

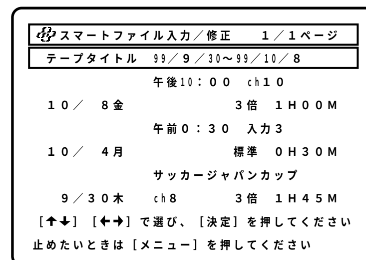


テレビ画面

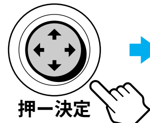


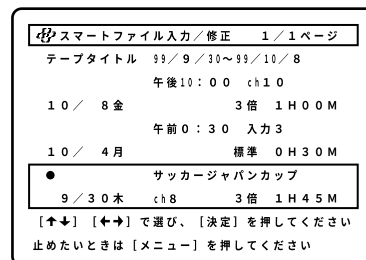
4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「スマートファイル入力/修正」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。





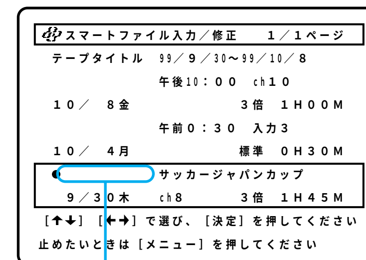
5 カーソルスティックを↑/↓に動かしてジャンル名を付けたい番組を選び、カーソルスティック（決定）を押す。





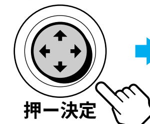
6 カーソルスティックを←/→に動かして、●をジャンル名の位置に合わせる。

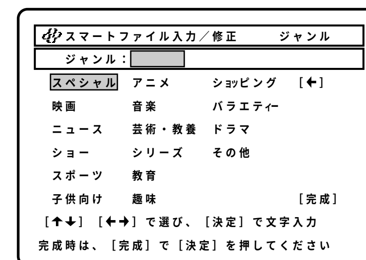




ジャンル名の位置

7 カーソルスティック（決定）を押す。



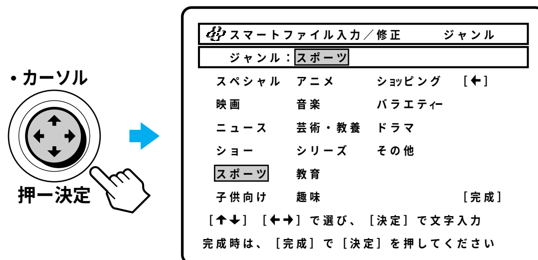


スマートファイル

次のページにつづく

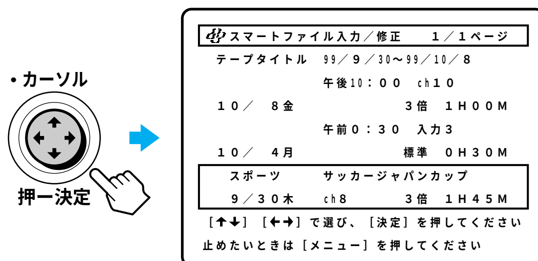
番組やテープになまえを付ける（つづき）

8 **カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かしてジャンル名を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



- **間違えたときは**
  カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして[←] を選び、カーソルスティック（決定）を押します。または、取消し/リセットボタンを押します。

9 **カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして[完成] を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**



10 **続けて番組にジャンル名を付けるときは、手順5から9を繰り返す。**

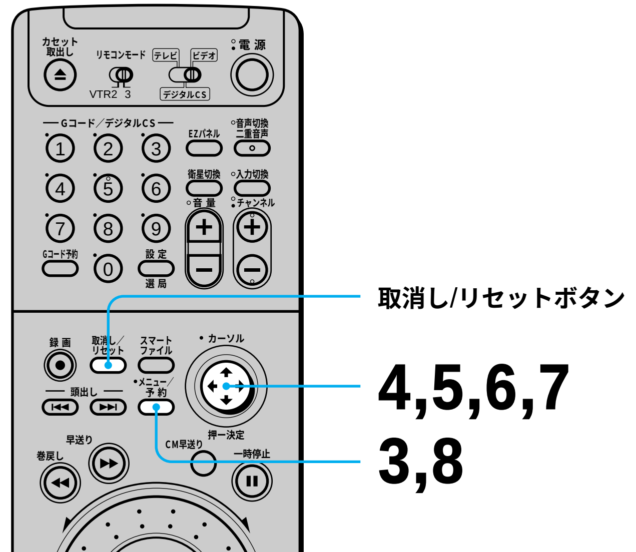
11 **メニュー/予約ボタンを押す。**
スマートファイル入力/修正画面が消えます。

番組のジャンル名を消去するには

手順**6**のあと、取消し/リセットボタンを押します。

テープになまえを付ける

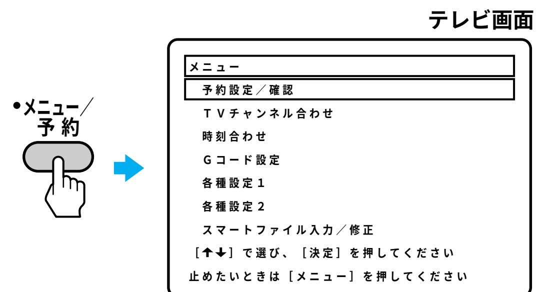
テープのなまえは、ひらがなやカタカナ、アルファベットなどを使って、最大14文字で付けることができます。



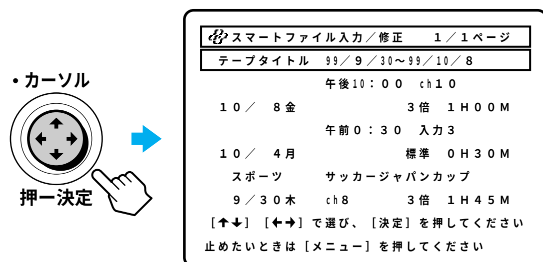
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **スマートファイルカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

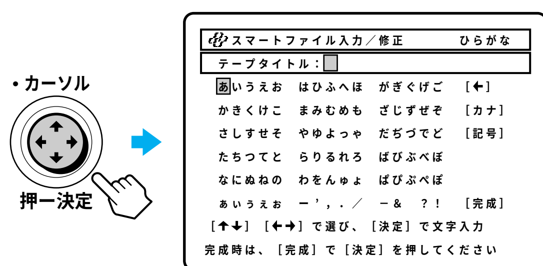
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



4 カーソルスティックを↑/↓に動かして「スマートファイル入力/修正」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。

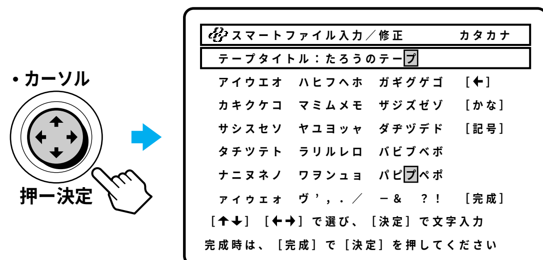


5 カーソルスティックを↑/↓に動かして「テープタイトル」を選び、カーソルスティック（決定）を押す。



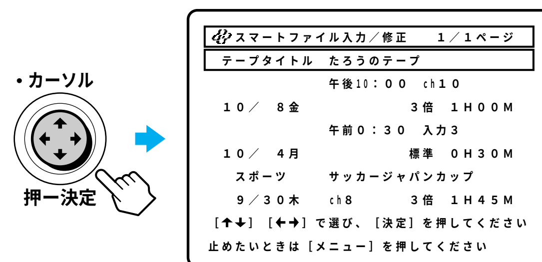
6 カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして文字を選び、カーソルスティック（決定）を押す。

［かな］、［カナ］、［記号］を選んで、カーソルスティック（決定）を押すと、入力する文字の種類を変更することができます。アルファベットは［記号］を選ぶと入力できます。



- **間違えたときは**
  カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして［←］を選び、カーソルスティック（決定）を押します。または、取消し/リセットボタンを押します。
  うしろから一文字ずつ消えます。

7 カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして［完成］を選び、カーソルスティック（決定）を押す。



8 メニュー/予約ボタンを押す。

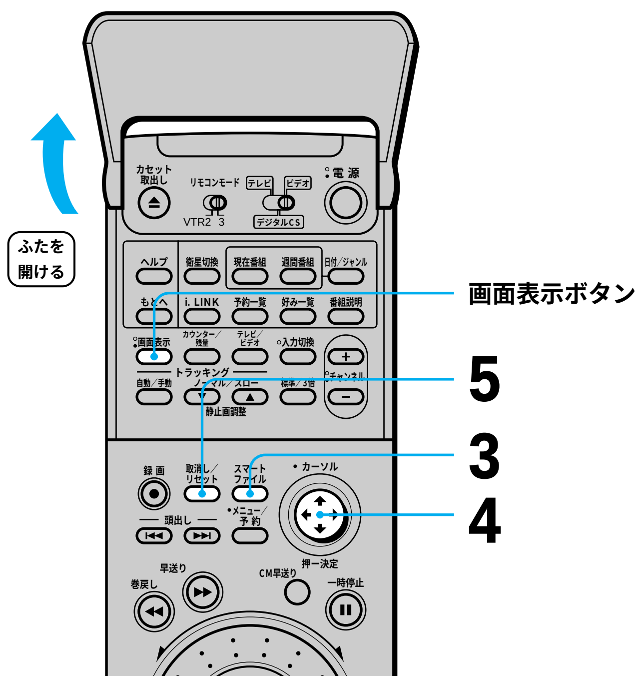
スマートファイル入力/修正画面が消えます。

テープのなまえを消去するには

手順4のあと、カーソルスティックを↑/↓に動かして「テープタイトル」を選び、取消し/リセットボタンを押します。テープのなまえが消え、録画開始日と終了日に戻ります。録画開始日と終了日も消したいときは、もう一度取消し/リセットボタンを押します。

番組の情報を消去する

番組の情報をスマートファイル画面から消去することができます。消去すると、スマートファイル画面では、録画されていない部分になります。

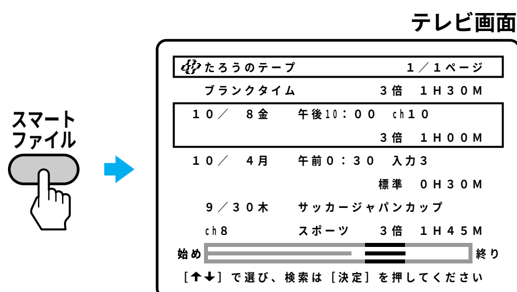


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

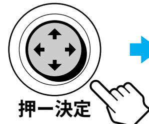
2 **スマートファイルカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入り、ビデオ本体の「スマートファイル」表示が点灯します。

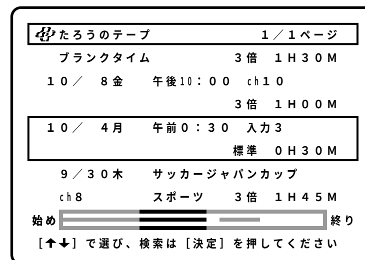
3 **スマートファイルボタンを押す。**
スマートファイル検索画面が表示されます。

テレビ画面

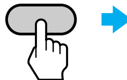


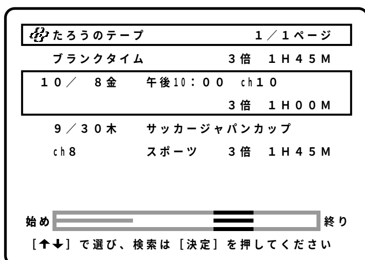
4 **カーソルスティックを↑/↓に動かして、消したい番組を選ぶ。**





5 **取消し/リセットボタンを押す。**
選んだ番組の情報がすべて消えます。





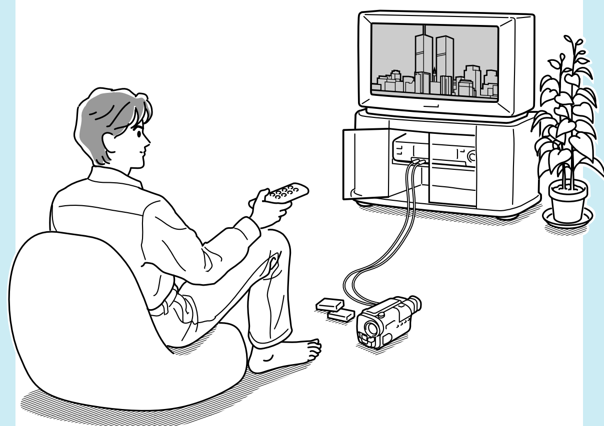
番組の情報を間違えて消したときは

手順**5**で間違って消してしまったときは、画面表示ボタンを押すと、最後に消した番組の情報を元の状態に戻すことができます。ただし、スマートファイル検索画面を消してしまうと、番組の情報を元に戻すことはできません。

他機をつないで行う操作

ここでは、本機にいろいろな機器をつないでできる操作について説明します。
ビデオカメラでとった画像を見たり、ゲームをするときは、本機の前面入力端子を使うと便利です。また、本機に他のビデオデッキやビデオカメラをつないで、テープをそのままダビングしたり、必要なところをつないで編集したりできます。
以下の機器の接続は（ ）内のページをご覧ください。

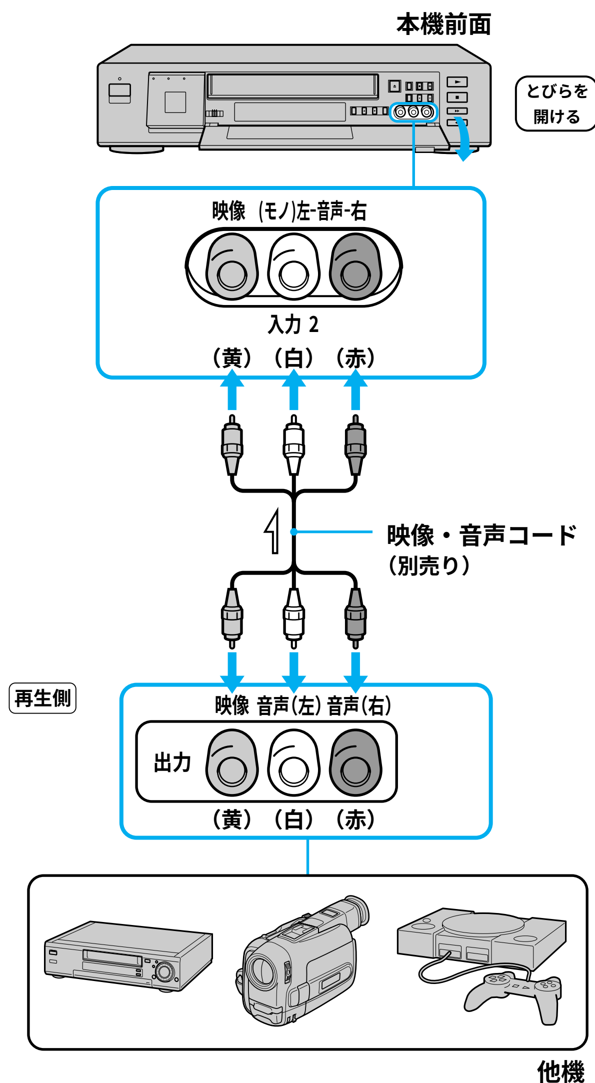
- BSチューナー内蔵テレビ・BSチューナー（☞ 15ページ）
- ケーブルテレビ（CATV）（☞ 38ページ）
- i.LINK対応デジタルCSチューナー（☞ 37ページ）



ビデオ機器をつないで見る・ゲームをする

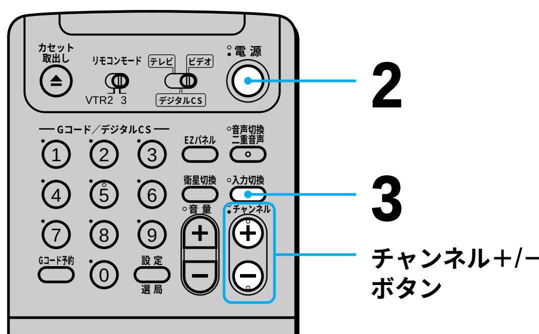
テレビに映像・音声入力端子がなかったり、後面にしかない場合、本機前面の入力2端子にビデオカメラやゲームなどをつなぐと便利です。

接続する



次のページにつづく

ビデオを見る・ゲームをする

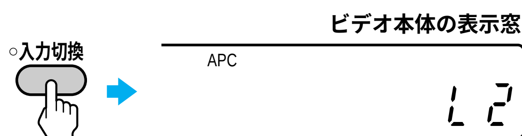


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、本機の電源を入れる。**

3 **入力切換ボタンを押して「L2」を選ぶ。**
入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル → 入力1（L1）→ 入力2（L2）→ 入力3（L3）→ i.LINK（デジタルCS）



4 **本機の入力端子につないだ機器の電源を入れて、その機器の再生をする。**

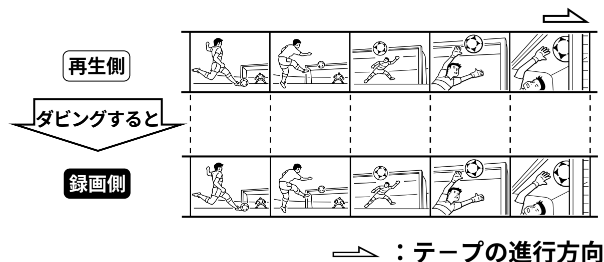
ちょっと一言
- 手順**3**でチャンネル＋/－ボタンを押しても「L2」が選べます。押すたびに次のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル（1、2、…）→ 入力1（L1）→ 入力2（L2）→ 入力3（L3）→ i.LINK（デジタルCS）

ご注意
- 本機の入力端子につないだ機器がモノラルのときは、音声コードを必ず音声左（モノ）端子につないでください。

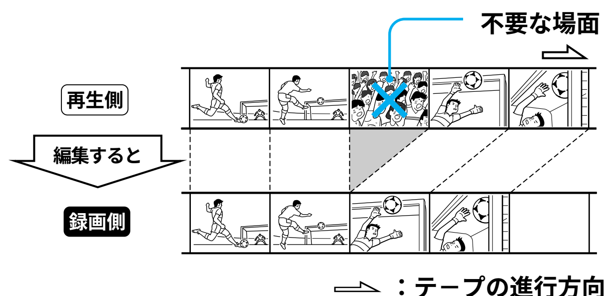
ダビング・編集する

テープの内容を別のテープに録画します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

途中で止めずにそのままダビングするとき



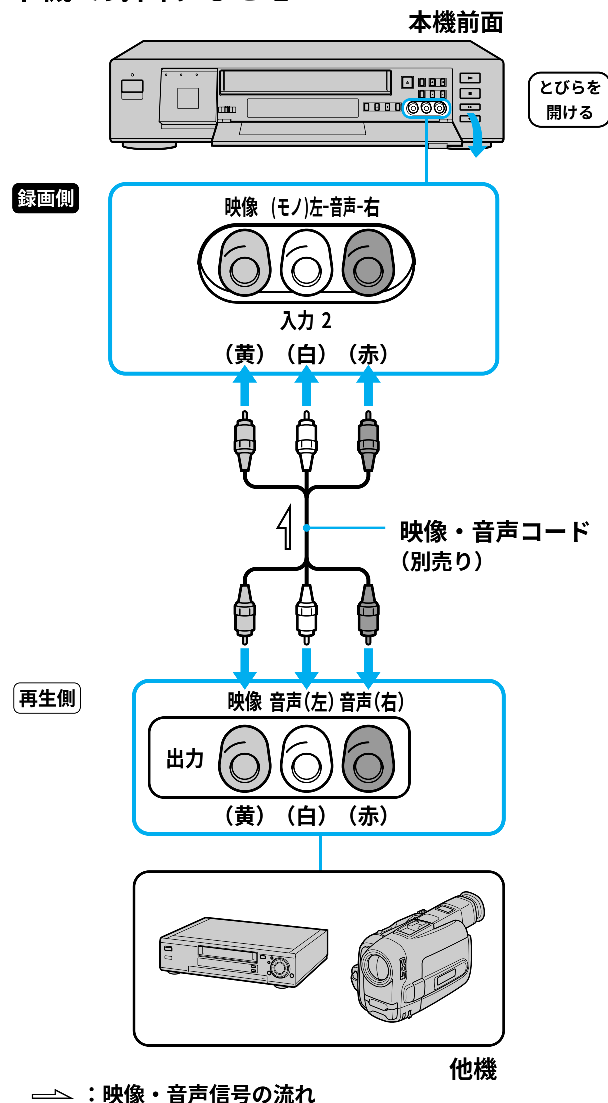
好きな場面だけ編集するとき



接続する

テレビを録画側の機器につなぐと、録画される画像が見られます。

本機で録画するとき



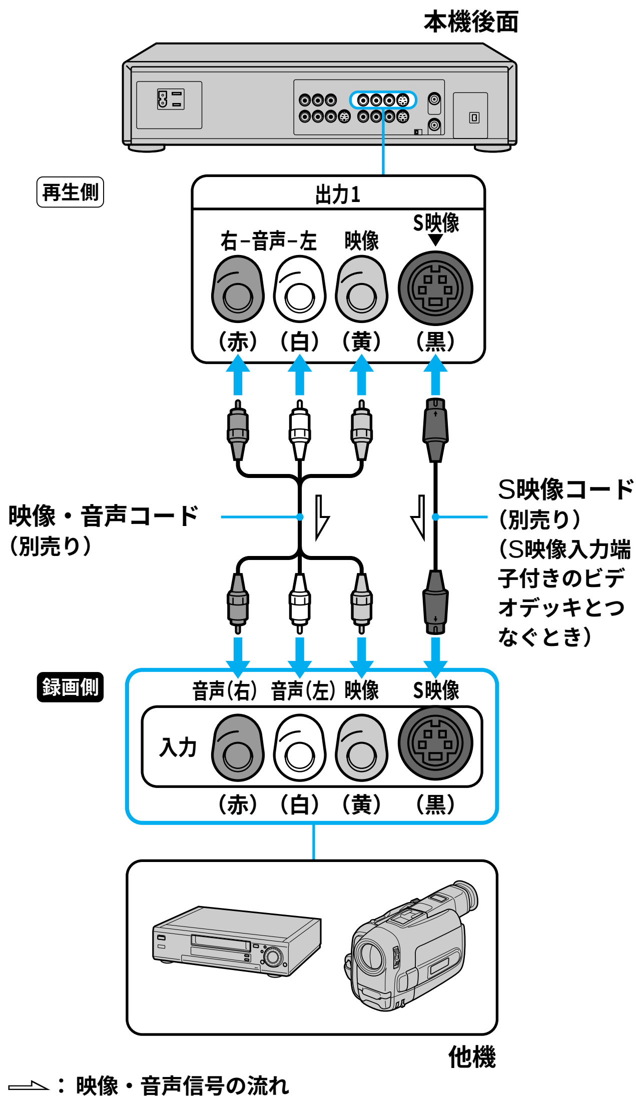
ちょっと一言

- 再生側の機器がモノラルのときは、音声コードは必ず音声左（モノ）端子につないでください（入力2のみ）。
- 本機で録画するときに、本機後面の入力1端子または入力3端子を使うこともできます。
- 本機の入力3端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定2」で「映像入力3」を「S映像」にします（ 43ページ）。

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。

本機で再生するとき



ちょっと一言

- S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

次のページにつづく

テープをダビング・編集する

テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。

1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を録画側の機器に切り換える。**

2 録画側 再生側

両方のビデオデッキにカセットを入れる。

3 再生側

画面表示を消す。

画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、メニューの「各種設定1」の「自動画面表示」を「切」にします（☞ 43ページ）。

4 再生側

二か国語放送などのテープからダビングするときは、録音したい音声を選ぶ。

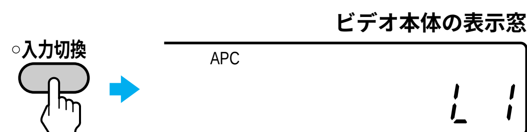
本機が再生側のときは、あらかじめ再生し、音声切換/二重音声ボタンを押して選びます。
音声切換/二重音声ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。

5 録画側

再生側の機器をつないでいる入力（「入力1」、「入力2」、「入力3」など）に切り換える。

本機が録画側のときは、再生側の機器をつないでいる入力端子を、入力切換ボタンで選びます。

- 入力1端子のときは「L1」
- 入力2端子のときは「L2」
- 入力3端子のときは「L3」



6 録画側

録画モードを選ぶ。

本機が録画側のときは、標準/3倍ボタンを押して選びます。

7 録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

8 録画側 再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9 **好きな場面だけ編集するとき**

録画側

画像を見ながら、不要な場面で録画一時停止にする。

再生側

録画を再開したい場面の直前で再生一時停止にする。

手順**8**と**9**を繰り返して、好きな場面だけ編集します。

10 録画側 再生側

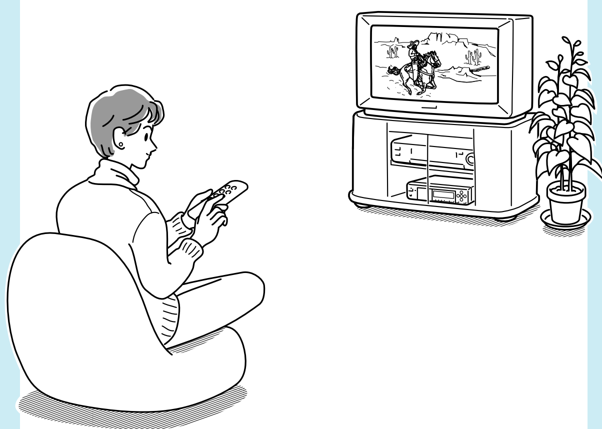
録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

ご注意

- 編集したテープを再生すると、場面のつなぎ目で画像が乱れることがあります。

デジタル録画・再生（i.LINK対応デジタルCSチューナー）

ここでは、本機に別売りのi.LINK対応デジタルCSチューナーをつないでできる操作について説明します。
デジタルCS放送を、D-VHSテープにデジタル録画することができます。デジタル録画した番組は、i.LINK対応デジタルCSチューナーを使って見ることができます。
また、本機のリモコンでi.LINK対応デジタルCSチューナーを操作することができます。



i.LINK（アイリンク）について

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。i.LINKを使って操作を始める前にお読みください。
なお、i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については、「デジタル録画・再生について」（☛ 81ページ）をご覧ください。

i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

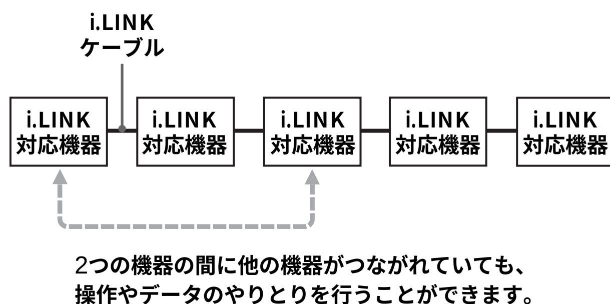
ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
  この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
  このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。
  また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

次のページにつづく

i.LINKでの接続について

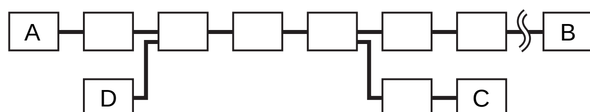
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デイジー・チェーン」と呼びます。



2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐこともできます

- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINK対応機器は、本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。（i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。）
  ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA→Cの経路は6ホップ、A→Dの経路は3ホップとなります。



A→B、A→C、A→D、B→C、B→D、C→D、
いずれの経路も最大17台の機器を接続できます（最大16ホップ）。

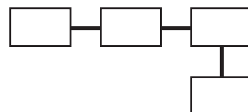
接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

正しい接続例

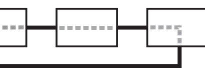


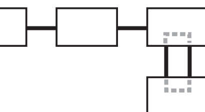


ループの接続例





接続についてのご注意

- パソコンなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100/200/400Mbps*が定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200Mbpsならば、1秒間に200メガビットのデータを送ることができます。

デジタル録画・再生について

ここでは、本機におけるi.LINKを使ったデジタル録画および再生のしかたを説明します。
本機には、デジタルとアナログの変換機能がありません。したがって、デジタル録画できるのは、本機のi.LINK端子につないだ、i.LINK対応デジタルCSチューナーからのデジタル信号のみです。地上波や本機の入力端子につないだ機器からのアナログ信号をデジタル録画することはできません。
また、デジタル録画した番組をテレビで見るには、アナログに変換する必要があります。この場合は、本機のi.LINK端子につないだi.LINK対応デジタルCSチューナーを通して、デジタルからアナログへ変換します。
i.LINKの一般的な規格や特長については、「i.LINKについて」（☛ 79ページ）をご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

i.LINK対応機器の接続には、付属のi.LINKケーブルまたは下記のソニー製i.LINKケーブル（別売り）をお使いください。

- VMC-IL4415（1.5m）
- VMC-IL4435（3.5m）

ご注意
- DVケーブルはご使用になれません。

本機と操作できるi.LINK対応機器

本機は、下記のi.LINK対応デジタルCSチューナーと組み合わせて操作できます。
（1999年6月現在）
- ソニーデジタルCSチューナー DST-MS9

本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーの接続について詳しくは、「i.LINK対応デジタルCSチューナーをつなぐ」（☛ 37ページ）をご覧ください。

ご注意
- デジタルビデオデッキやデジタルビデオカメラ、パソコンをつないで操作することはできません。

i.LINK対応デジタルCSチューナーで本機をLINC（リンク）する

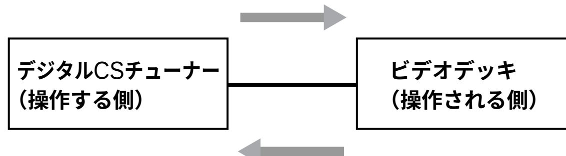
本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーは、ケーブルで接続しただけでは操作できません。デジタル録画および再生をする前に、必ずデジタルCSチューナーで本機をLINCしてください。

「LINC（リンク）する」とは？

i.LINK対応デジタルCSチューナー（i.LINK対応機器を操作する側）は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち1台だけを操作できます。「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。デジタルCSチューナーと相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例）ビデオデッキをLINCするとき

① 「これから操作してもいいですか？」とデジタルCSチューナーがビデオデッキに信号を送る



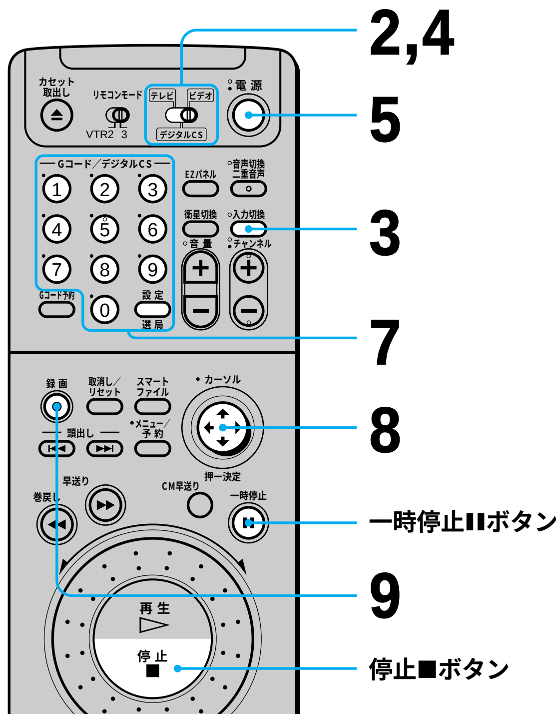
② 「了解です」とビデオデッキがデジタルCSチューナーに信号を送る

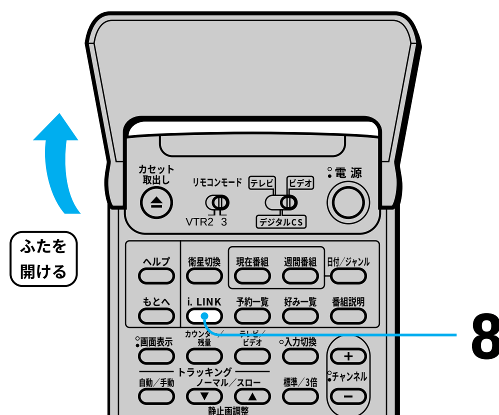
この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。

ちょっと一言
- LINCとは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

デジタルCS放送をデジタル録画する

i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信した番組を、D-VHSテープにデジタル録画することができます。
i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信した番組の予約は、本機ではできません。予約はデジタルCSチューナーで行います。
デジタルCSチューナーの操作について詳しくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

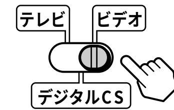




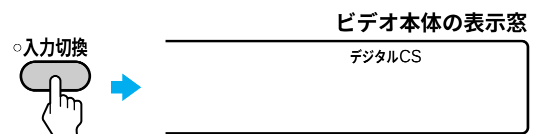


1 **D-VHSカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入り、D-VHS TAPEランプが点灯します。

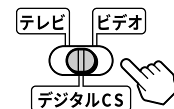
2 **テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。**



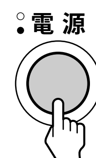
3 **入力切換ボタンを押して「デジタルCS」を選ぶ。**
D-VHSランプが点灯します。



4 **テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを「デジタルCS」にする。**

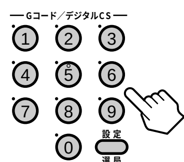


5 **電源スイッチを押して、デジタルCSチューナーの電源を入れる。**



6 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力をビデオをつないだ入力に切り換える。**

7 Gコード/デジタルCS数字ボタンでデジタルCS放送の録画したいチャンネルを選び、選局ボタンを押す。



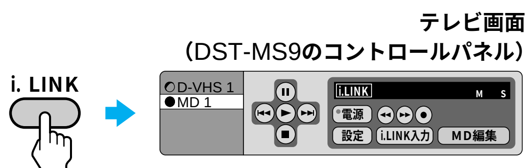
8 デジタルCSチューナーで、本機をLINCする。

本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーは接続しただけでは操作できません。必ずデジタルCSチューナーで本機をLINCしてください。

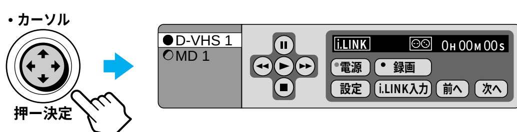
デジタルCSチューナーDST-MS9の場合

1 **i.LINKボタンを押す。**
コントロールパネルが表示されます。

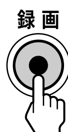
テレビ画面
（DST-MS9のコントロールパネル）



2 **カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして、D-VHSビデオデッキ（本機）を選び、カーソルスティック（決定）を押す。**
bit STREAMランプが点灯し、LINCされます。



9 録画●ボタンを押す。



録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。
録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

ちょっと一言

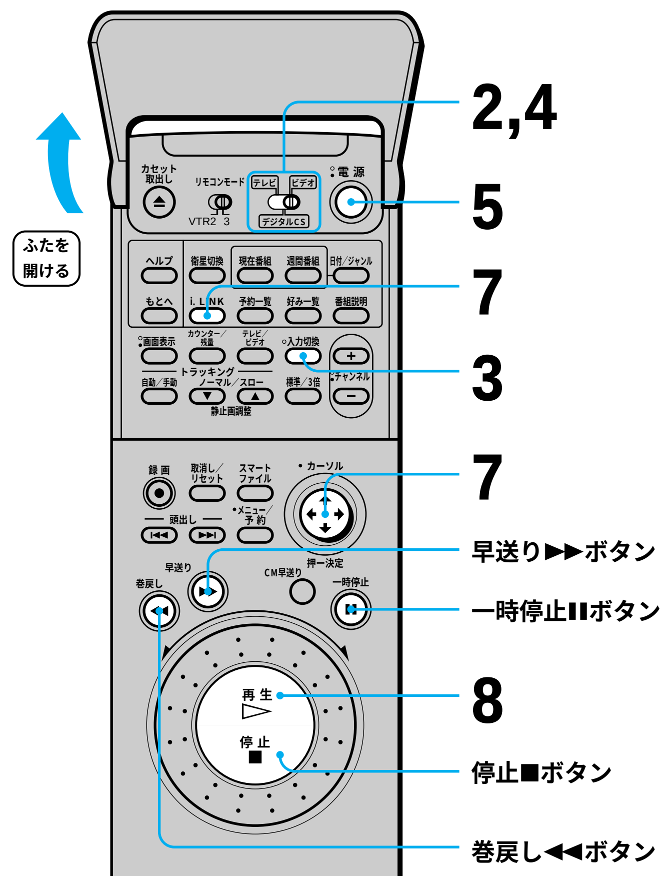
- 手順**9**は、デジタルCSチューナーDST-MS9のコントロールパネルでも操作することができます。カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして、「録画」を選び、カーソルスティック（決定）を押します。
- D-VHSテープにデジタル録画するときは、デジタルCSチューナーDST-MS9のコントロールパネルを表示したままにしていても、コントロールパネルは録画されません。ただし、アナログ録画するときは、コントロールパネルを表示したままにしておくと、コントロールパネルも一緒に録画されます。
- bit STREAMランプは、i.LINK端子にデジタル信号が入力できる状態になると点灯します。

ご注意

- D-VHSテープにデジタル録画するときは、録画モードを選ぶことはできません。
- 本機はDTLAのコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することはできません。DTLAについて詳しくは、☛ 79ページをご覧ください。
- bit STREAMランプが点灯していないと、デジタル録画することができません。
  次のような場合、bit STREAMランプは点灯しません。
  － 本機がLINCされていないとき
  － i.LINKケーブルが正しく接続されていないとき
  － デジタルCSチューナーのメニュー画面やEPG（番組表）が表示されているとき

デジタル録画した番組を見る

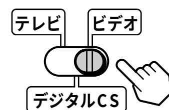
D-VHSテープにデジタル録画した番組を、i.LINK対応デジタルCSチューナーを使って見ることができます。
デジタルCSチューナーの操作について詳しくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。



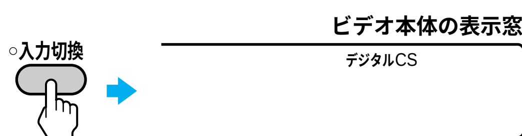


1 **D-VHSカセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入り、D-VHS TAPEランプが点灯します。

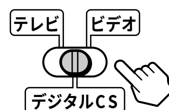
2 **テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。**



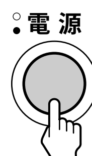
3 **入力切換ボタンを押して「デジタルCS」を選ぶ。**
D-VHSランプが点灯します。



4 **テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを「デジタルCS」にする。**



5 **電源スイッチを押して、デジタルCSチューナーの電源を入れる。**



6 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力をビデオをつないだ入力に切り換える。**

7 デジタルCSチューナーで、本機をLINCする。

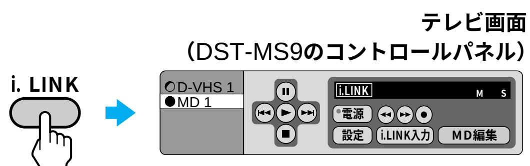
本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーは接続しただけでは操作できません。必ずデジタルCSチューナーで本機をLINCしてください。

デジタルCSチューナーDST-MS9の場合

1 i.LINKボタンを押す。

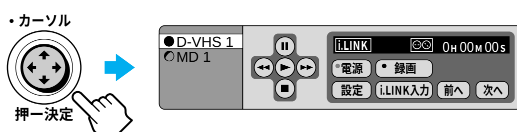
コントロールパネルが表示されます。

テレビ画面
（DST-MS9のコントロールパネル）



2 カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして、D-VHSビデオデッキ（本機）を選び、カーソルスティック（決定）を押す。

bit STREAMランプが点灯し、LINCされます。



8 再生▷ボタンを押す。

bit STREAMランプが消灯します。



再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。

巻き戻し・早送りするには

停止中に、巻戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。

デジタルCSチューナーDST-MS9のコントロールパネルで本機を操作するには

手順**7**で、デジタルCSチューナーDST-MS9で本機をLINCすると、コントロールパネルで本機を操作することができます。



カーソルスティックを↑/↓/←/→に動かして、コントロールパネルの操作したいボタンを選び、カーソルスティック（決定）を押します。

操作	選ぶボタン
再生する	▶
停止する	■
一時停止する	❚❚
早送りする	▶▶
巻き戻しする	◀◀
今の番組を頭出しする	「前へ」
次の番組を頭出しする	「次へ」
電源を入れる/切る	「電源」

ちょっと一言

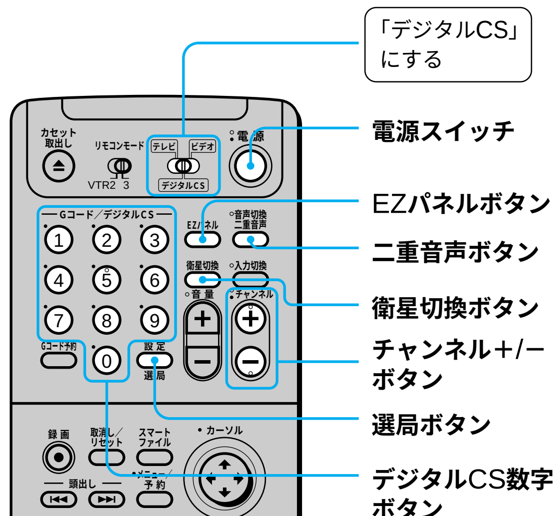
- 再生中に、D-VHSランプが消灯したときは、アナログ録画した番組を再生しています。
- 手順**8**のあとデジタルCSチューナーDST-MS9のコントロールパネルを消すには、i.LINKボタンを押します。
- bit STREAMランプは、i.LINK端子にデジタル信号が入力できる状態になると点灯します。再生中はi.LINK端子から信号が出力されるため、bit STREAMランプは消灯します。

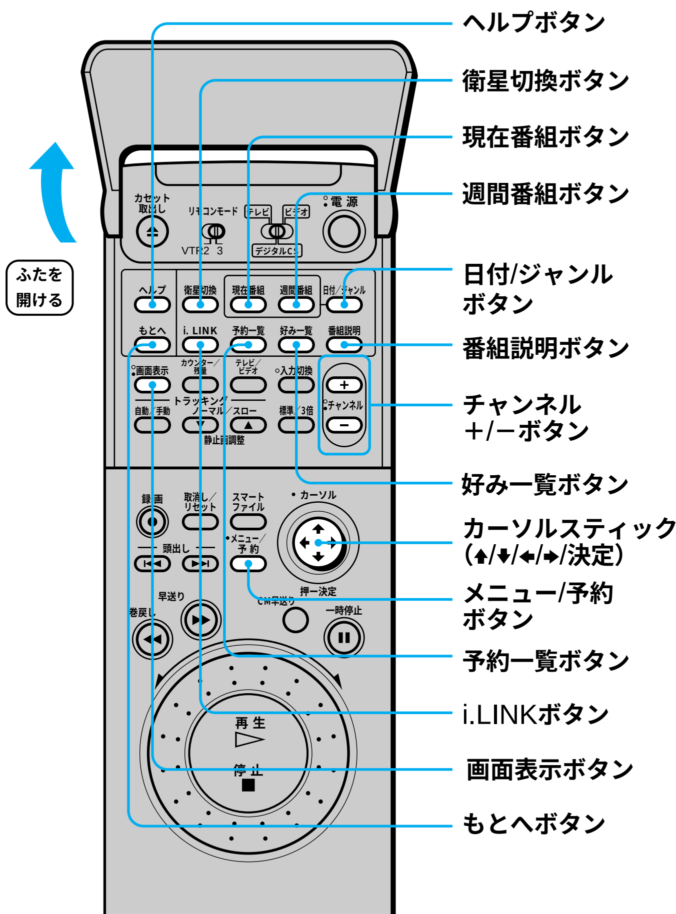
ご注意

- D-VHSテープにデジタル録画した番組は、速さを変えて見ることはできません。
- 本機で音声を切り換えることはできません。音声の切り換えについては、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 再生画像が出るまでに多少時間がかかることがあります。
- bit STREAMランプが点灯していないと、手順**8**で再生▷ボタンを押しても、デジタル録画した番組を見ることができません。
  次のような場合、bit STREAMランプは点灯しません。
  － 本機がLINCされていないとき
  － i.LINKケーブルが正しく接続されていないとき
  － デジタルCSチューナーのメニュー画面やEPG（番組表）が表示されているとき

リモコンでソニー製のデジタルCSチューナーを操作する

本機のリモコンで、ソニー製のデジタルCSチューナーを操作できます。緑色の文字のボタンまたは緑色の点が付いているボタンが使えます。
デジタルCSチューナーを操作するときは、テレビ/デジタルCS/ビデオスイッチを「デジタルCS」にします。





ボタン	働き
電源スイッチ	デジタルCSチューナーの電源を入/切する。
EZパネルボタン	EZパネルを表示する。
二重音声ボタン	二重音声放送の音声を切り換える。押すたびに「主 → 副 → 主/副 → 主・・・」と切り換わる。
衛星切換ボタン	押すたびに衛星B(スカイサービス)と衛星A(パーフェクTV!サービス)を切り換える。
チャンネル+/−ボタン	チャンネルを切り換える。
選局ボタン	デジタルCS数字ボタンでチャンネル番号を入力したあとに押して、チャンネルを決定する。
デジタルCS数字ボタン	チャンネルを切り換える。または、暗証番号などを入力するときに使う。
ヘルプボタン	インタラクティブ放送にヘルプ機能があるときに押すと、ヘルプ画面を表示する。
現在番組ボタン	EPG(現在番組表)を表示する。
週間番組ボタン	EPG(週間番組表)を表示する。
日付/ジャンルボタン	EPG(現在番組表、週間番組表)の番組タイトル欄、日付/時刻欄、CH/ジャンル欄の間でカーソルを移動する。
番組説明ボタン	番組の詳しい説明を表示する。
好み一覧ボタン	あらかじめ設定した好みのチャンネル一覧を表示する。
カーソルスティック(↑/↓/←/→/決定)	画面上の項目を選んだり、決定する。
メニュー/予約ボタン	操作メニューを表示する。
予約一覧ボタン	予約した番組の一覧を表示する。
i.LINKボタン	i.LINKのコントロールパネルを表示する。
画面表示ボタン	チャンネル表示や番組タイトルなどの画面表示を入/切する。
もとへボタン	インタラクティブ放送で、最初の画面に戻す。

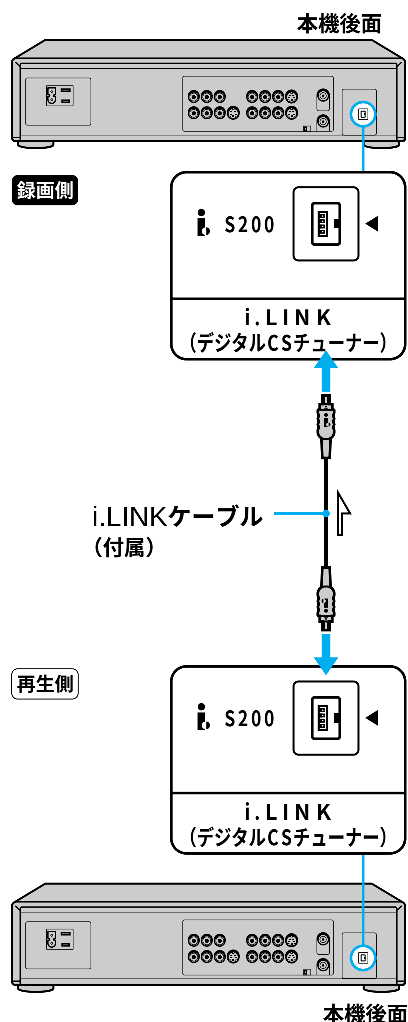
ご注意
- デジタルCSチューナーによっては、一部のボタンが使えないことがあります。

デジタル録画したテープをダビングする

本機2台をi.LINKケーブルでつなぐと、デジタル録画したテープを、D-VHSテープにデジタルでダビングすることができます。ただし、ダビング中の画像をテレビで見ることはできません。

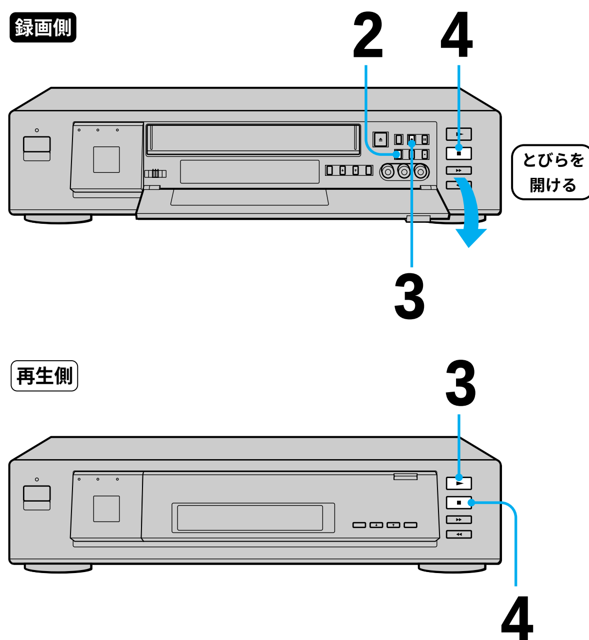
接続する

i.LINK対応機器の接続には、付属のi.LINKケーブルまたはソニーのVMC-IL4415（1.5m）、VMC-IL4435（3.5m）をお使いください。



ダビングする

デジタル録画したテープの内容をそのままダビングすることができます。



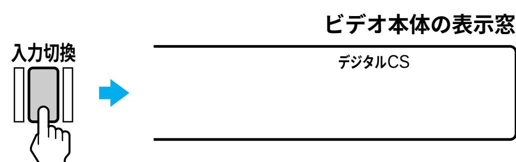
1 再生側 録画側

両方のビデオデッキにD-VHSカセットを入れる。

ビデオの電源が自動的に入ります。

2 録画側

入力切換ボタンを押して、「デジタルCS」を選ぶ。



デジタル録画・再生（i.LINK対応デジタルCSチューナー）

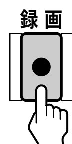
次のページにつづく

デジタル録画したテープをダビングする（つづき）

3

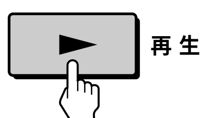
録画側

録画●ボタンを押す。



再生側

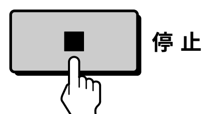
再生▷ボタンを押す。



4

録画側　再生側

録画が終わったら、両方の停止■ボタンを押す。



ご注意

- アナログ録画した番組は、この方法でダビングすることはできません。アナログ録画した番組をダビングするには、「ダビング・編集する」（☞ 76ページ）をご覧ください。
- 本機はDTLAのコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを1回しか許可されていない番組は、ダビングすることはできません（デジタルCS放送からの録画が、1回目のコピーにあたります）。DTLAについて詳しくは、☞ 79ページをご覧ください。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



使えるテープと再生・録画方式について

本機はD-VHS方式です。D-VHS方式で録画するには、D-VHSテープをお使いください。また、VHS方式で録画するには、VHSテープも、S-VHSテープ、D-VHSテープも使えますが、S-VHS方式で記録することはできません。

再生について

録画済みテープの記録方式（D-VHS/S-VHS/VHS）と録画モード（D-VHS、VHS：標準/3倍）を自動判別して再生します。
S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません（簡易再生）。
本機には、デジタルからアナログへの変換の機能がありません。したがって、本機だけでD-VHS方式で録画したテープを再生して見ることはできません。D-VHS方式で録画したテープを再生するには、デジタルからアナログへの変換機能があるデジタルCSチューナーなどをつなぐ必要があります。

ご注意

- 日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープをスローなど特殊再生すると画像が乱れることがあります。

次のページにつづく

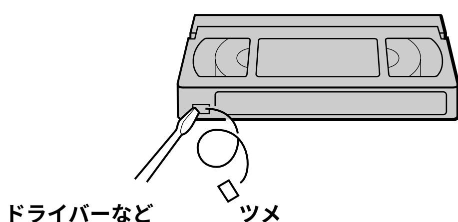
使えるテープと再生・録画方式について（つづき）

録画について

D-VHSテープには、D-VHS方式またはVHS方式で録画することができます。また、VHSテープおよびS-VHSテープには、VHS方式で録画されます。

ちょっと一言

- 録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。



ご注意

- S-VHSテープにD-VHS方式で正しく録画することはできません。再生すると、ブロックノイズや静止画になるか、画像が出ません。

使用上のご注意

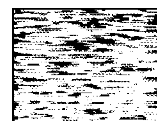
ヘッドのお手入れ—きれいな画像にするために

次のような症状が出たら、ヘッドが汚れています。すぐに別売りの乾式クリーニングカセット（T-25CLD、T-25CLDRなど）で、ヘッドを連続1分間クリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

VHSのビデオヘッドが汚れたとき

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 画像が出なかったり、灰色の画面になる。





汚れはじめたとき → 汚れがひどいとき

D-VHSのビデオヘッドが汚れたとき

- 画像にモザイク状のノイズが見られる。
- 正常に録画されなくなる。
- 画像が出ない。





汚れはじめたとき → 汚れがひどいとき

ヘッドを良い状態で維持するには

約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

ちょっと一言

- 画像が出るクリーニングカセットをお使いになると、10数秒で終了のメッセージが出ることがあります。連続1分間クリーニングするには、停止せずに、そのままクリーニングを続けてください。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、繰り返しヘッドをクリーニングします。ただし、3回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても、正常な画像が出ないときは、ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。

ビデオテープについて

- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

結露（露つき）について

部屋の暖房を入れた直後など、本機内部のドラムやテープに水滴がつくことがあります。これを結露（露つき）といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りついて本機の故障やテープを傷める原因となります。
結露が起こると、ビデオ本体の表示が点灯して、本機はまったく動作しなくなったり、カセットが自動的に出てきたりします。

結露が起きたときは

電源を入れたまま約2時間放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

テープの結露が起きたときは

テープが結露すると、カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因となります。このときは乾燥するまでテープは使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
保証期間中の接続・操作・故障に関する問い合わせは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電源

電源が入っているのに操作できない。	→ 結露（露つき）が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の表示が消えるまで（約2時間）待つ。
電源が入らない。	→ 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

カセット

カセットが入らない。	→ 電源プラグをコンセントに差し込む。 → テープの見える面を上にして入れる。 → 他のカセットが入っている。カセット取出し▲ボタンを押して取り出す。 → 結露が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の表示が消えるまで（約2時間）待つ。
カセットを入れると出てくる。	→ 結露が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の表示が消えるまで（約2時間）待つ。

画像

ビデオの画像が映らない。	→ テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2（放送のないほう）にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。 → メニューが出ている。メニュー/予約ボタンを押して消す。 → 予約画面が出ている。メニュー/予約ボタンを押す。 → テープに何も記録されていない。
再生した画像がチラつく、汚ない。	→ トラッキングがずれている。トラッキング▼/▲ボタンで調整する（☞ 50ページ）。 → ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする（☞ 90ページ）。 → テープに傷がある。
ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。	→ アンテナやテレビを正しくつなぐ（☞ 9ページ）。 → メニューの「TVチャンネル合わせ」でチャンネルを合わせる（☞ 22ページ）。 → 外部入力になっている（ビデオ本体の表示窓に「L1」、「L2」または「L3」が表示されている）。チャンネル＋/－ボタンを押して、テレビのチャンネルを表示させる。
ビデオで受信しているテレビ放送の画像が汚い。	→ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。 → アンテナの向きを調節する。 → 画像を微調整する（☞ 40ページ）。 → 本機とテレビを離して設置する。 → 本機から離してアンテナ線をたばねる。
テレビのチャンネルを変えられない。	→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	→ チャンネル＋/－ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を、入力3端子につないでいるときは「L3」をビデオ本体の表示窓に出す。 → S映像端子を使って本機の入力3端子につないだ場合は、メニューの「各種設定2」で「映像入力3」を「S映像」にする。S映像端子を使っていなければ「映像」にする（☞ 43ページ）。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、デジタルCSチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。

音声

2つの音が混ざって聞こえる。	➔ 音声切換/二重音声ボタンを押す。
再生時に音声が途切れる。	➔ テープに傷がある。
ステレオ放送を録画したテープがモノラルで聞こえる。	➔ モノラル音声が選ばれている。音声切換/二重音声ボタンを押してステレオ音声を選ぶ。 ➔ モノラルビデオで録画したテープは、常にモノラル音声になる。 ➔ テレビとビデオをアンテナ線だけでつないでいる。映像・音声入力端子付きテレビのときは、映像・音声コードもつなぐ。

録画・予約・編集

録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。	➔ カセットが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞ 90ページ）。
裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	➔ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。
予約したのに録画されていない。	➔ 予約待機中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（☞ 24ページ）。
予約した内容が途中で切れている。	➔ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞ 24ページ）。 ➔ プロ野球中継など前の番組が延長されたため。
予約した内容が途中から始まっている。	➔ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。 ➔ 予約が重なっていた（☞ 61ページ）。
クイックタイマーが途中で終わっている。/途中が抜けている。	➔ クイックタイマー録画中に停電が起きて電源が切れたため。停電すると時間だけが減り続ける。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から残り時間が録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞ 24ページ）。

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。	➔ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。 ➔ 間違った地域番号が設定されている。正しい地域番号を設定する（☞ 23ページ）。 ➔ 受信している放送局が登録されていない。チャンネルを追加する（☞ 31ページ）。 ➔ ケーブルテレビ（CATV）は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。 ➔ 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる（☞ 24ページ）。

デジタル録画・再生

デジタル録画ができない。	➔ デジタルCSチューナーで本機をLINCする（☞ 83ページ）。 ➔ 入力切換ボタンを押して、「デジタルCS」を選ぶ。
デジタル録画中に画像がテレビに映らない。	➔ テレビの入力をビデオをつないだ入力に切り換える。
デジタル録画した番組が再生できない。	➔ デジタルCSチューナーで本機をLINCする（☞ 85ページ）。 ➔ 入力切換ボタンを押して、「デジタルCS」を選ぶ。 ➔ テレビの入力をビデオをつないだ入力に切り換える。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

表示

メニューや画面表示が画面に出ない。
- → テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2（放送のないほう）にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。

メニューが操作の途中で消える。
- → リモコンのボタンを押さずにしばらくたつと、メニューは自動的に消える。始めから操作をし直す。

ビデオ本体のカセット表示と「予約」表示が点滅する。
- → 予約待機中で、カセットのツメが折れている。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさぐ。



カセット表示

- → 予約待機中で、カセットが入っていない。カセットを入れ、電源を切る。
- → 予約待機中で、テープが終わりまで進んでいる。録画するカセットを入れ、電源を切る。

ビデオ本体のテープカウンターが動かない。
- → 録画されていない部分は動かない。

ビデオ本体に「－：－－」表示が点灯している。
- → 時計を合わせる（☞ 24ページ）。
- → 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☞ 24ページ）。

ビデオ本体に💧表示が出ている。
- → 自己診断機能が働いている。「自己診断表示」（☞ 95ページ）にしたがって対応する。

ビデオ本体の「予約」表示が、予約録画中なのに消えている。
- → 予約録画中にテープが終わりまで進んだため。予約は取り消されている。続けて録画する場合は、録画するカセットを入れ、録画または予約する。

リモコン

リモコンが働かない。
- → 乾電池が消耗している（☞ 8ページ）。
- → 乾電池が入っていない（☞ 7ページ）。
- → 本体の電源を入れる。
- → リモコンを本体に向けて操作する（☞ 8ページ）。
- → ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☞ 7ページ）。
- → 予約待機中は、電源スイッチ以外は働かない。
- → 乾電池を交換すると、リモコンのテレビメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。メーカー番号を合わせ直す（☞ 39ページ）。

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのビデオデッキが同時に動く。
- → 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☞ 8ページ）。

リモコンのGコード/デジタルCS数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。
- → チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。Gコード/デジタルCS数字ボタンはGコードを入れるとき、またはデジタルCSチューナーの操作に使う。

自己診断表示

（アルファベットや数字で始まる表示、🄳表示が出たら）

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機が正しく動作していないときに、ビデオ本体の表示窓に数字とアルファベットの5桁の表示、または🄳表示を出してお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。詳しくは以下の表をご覧になり、各表示にあった対応をしてください。
表示の「□□」に入る数字またはアルファベットは、本機の状態によって変わります。

表示	原因と対応のしかた
🄳	結露（露つき）が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の🄳表示が消えるまで（約2時間）待つ。
E□□□□	本機が正しく動作していない。カセットを入れ直し、再度操作し直す。

正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示をお知らせください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

• この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
• 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
• 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではビデオデッキの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：SLD-DC1
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

主な仕様

システム

録画方式	VHS：	回転2ヘッドヘリカルスキャンＦＭ方式
	D-VHS：	回転2ヘッドヘリカルスキャン方式
録音方式	VHS：	回転2ヘッドハイファイステレオ方式（VHS従来音声トラックはモノラル録音）
	D-VHS：	回転2ヘッドヘリカルスキャン方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式	
テープ速度	VHS：	33.4mm/秒（標準）、11.1mm/秒（3倍）
	D-VHS：	16.67mm/秒
使用可能テープ	VHS：	VHS方式/S-VHS方式/D-VHS方式のビデオカセットテープ
	D-VHS：	D-VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間	VHS：	標準：3時間（T-180使用時） 3倍：9時間（T-180使用時）
	D-VHS：	5時間（DF-300使用時）
早送り・巻き戻し時間		
	VHS：	約2分30秒（T-120使用時）
	D-VHS：	約3分（DF-300使用時）
受信チャンネル	VHF：1 ～ 12チャンネル UHF：13 ～ 62チャンネル CATV：C13 ～ C63チャンネル	

入・出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75ΩＦ型コネクター
映像入力	入力1/入力2/入力3の3系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像入力	入力3の1系統、4ピンミニDIN、1Vp-p（75Ω不平衡） 色信号：0.286Vp-p （75Ω不平衡）
S映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニDIN、 1Vp-p（75Ω不平衡） 色信号：0.286Vp-p （75Ω不平衡）
音声入力	入力1/入力2/入力3の3系統、 ピンジャック（左、右） 入力レベル：327mVrms （入力インピーダンス：47kΩ以上）
音声出力	出力1/出力2の2系統、ピンジャック（左、右） 出力レベル：327mVrms （出力インピーダンス：10kΩ以下）
i.LINK	4ピン S200（1系統） デジタルCSチューナー用

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	24W、12W（電源「切」時）
補助電源コンセント	
	非連動（最大300W）
時計方式	クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間	1回　約1時間以内
許容動作温度	5℃ ～ 40℃
許容保存温度	－20℃ ～ 60℃
最大外形寸法	幅 435 × 高さ 105 × 奥行き 347mm （最大突起含む）
本体質量	約 6.1kg
付属リモコン	RMT-V277 電源：DC3V 単3形（R6）乾電池2個付属
付属品	7ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

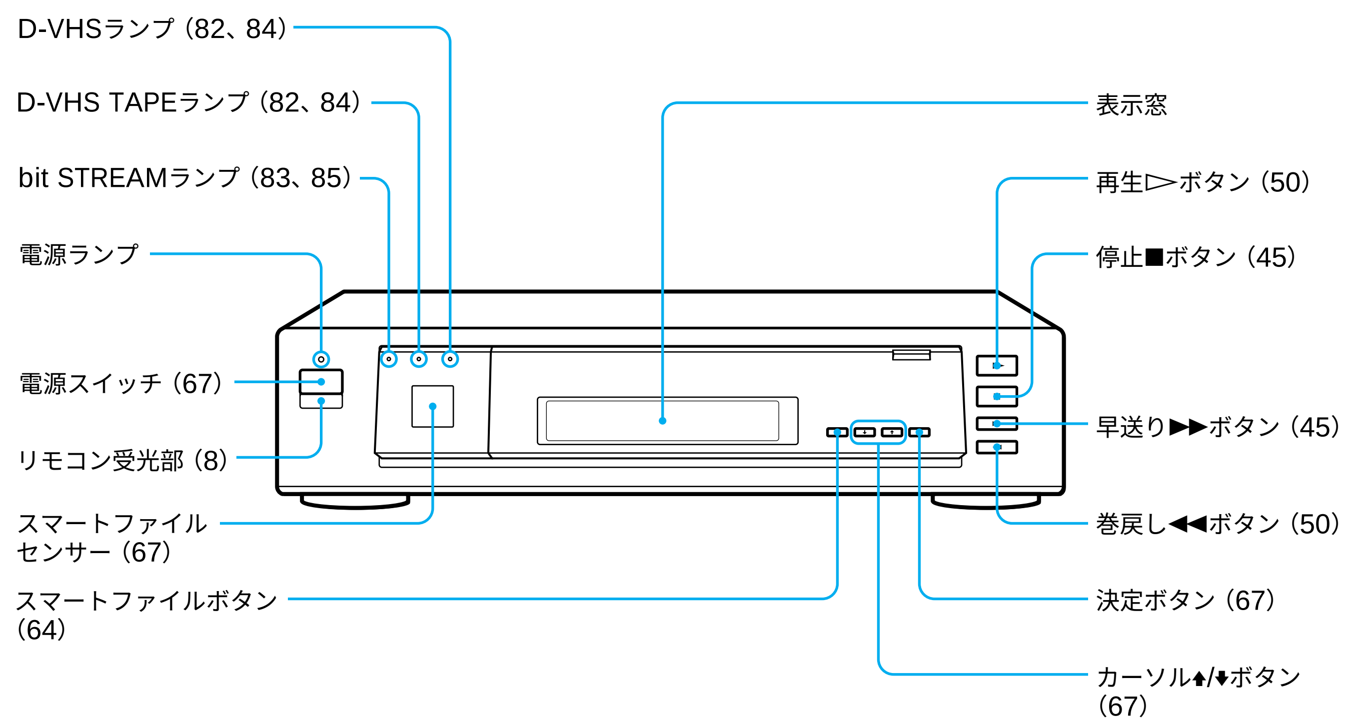
各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

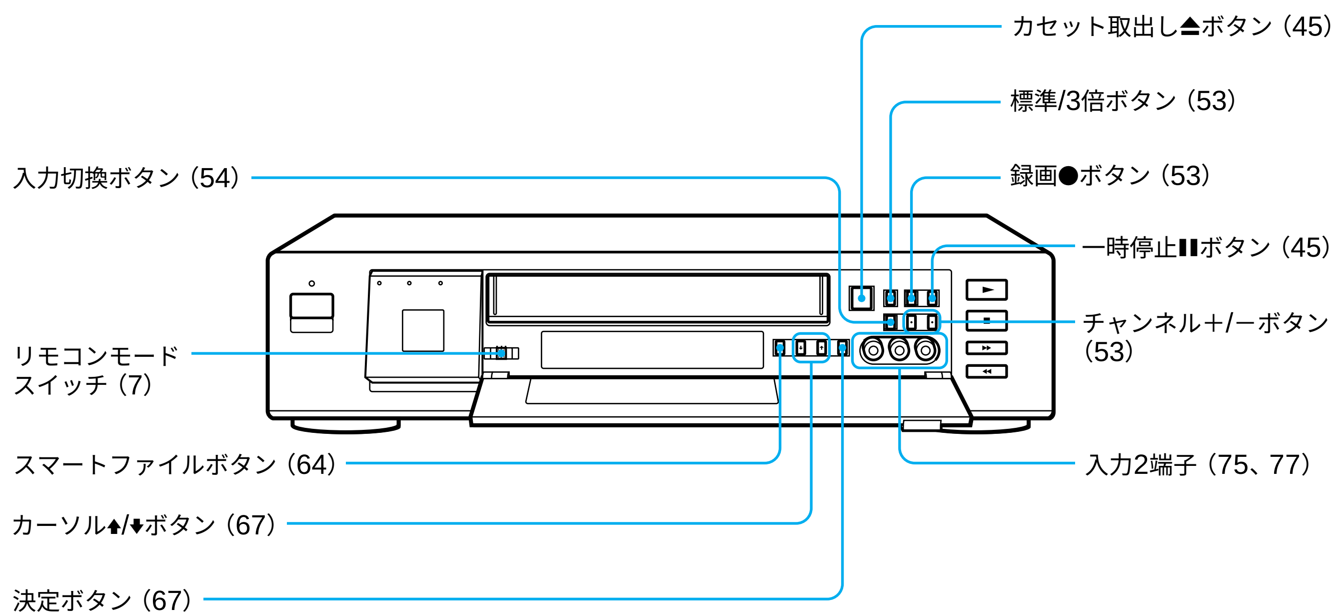
前面



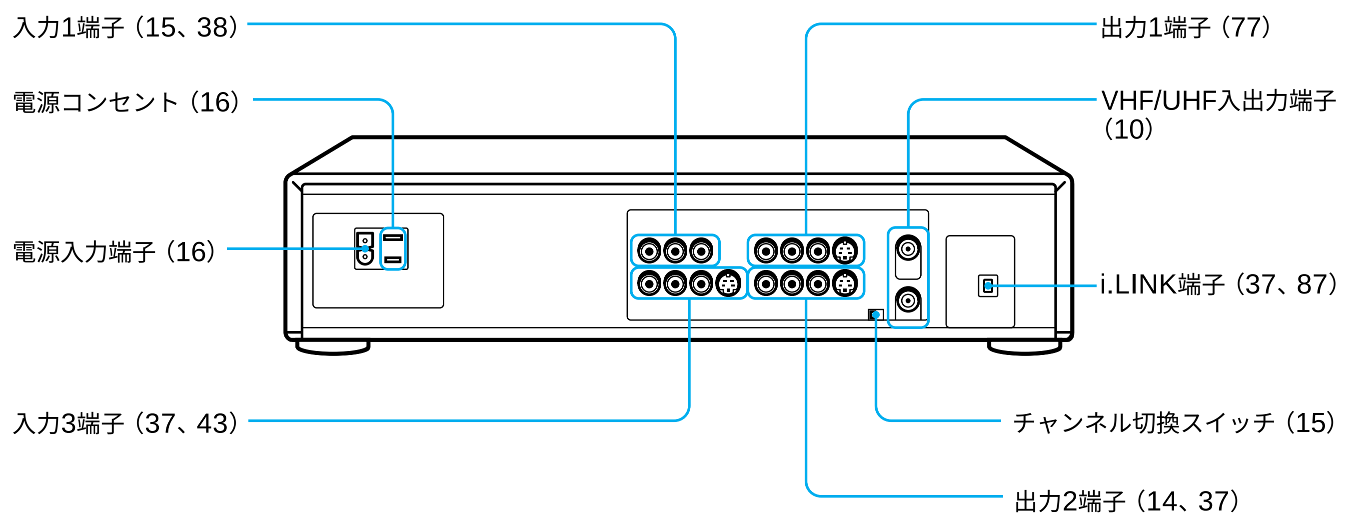
次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

前面（とびらを開けたとき）



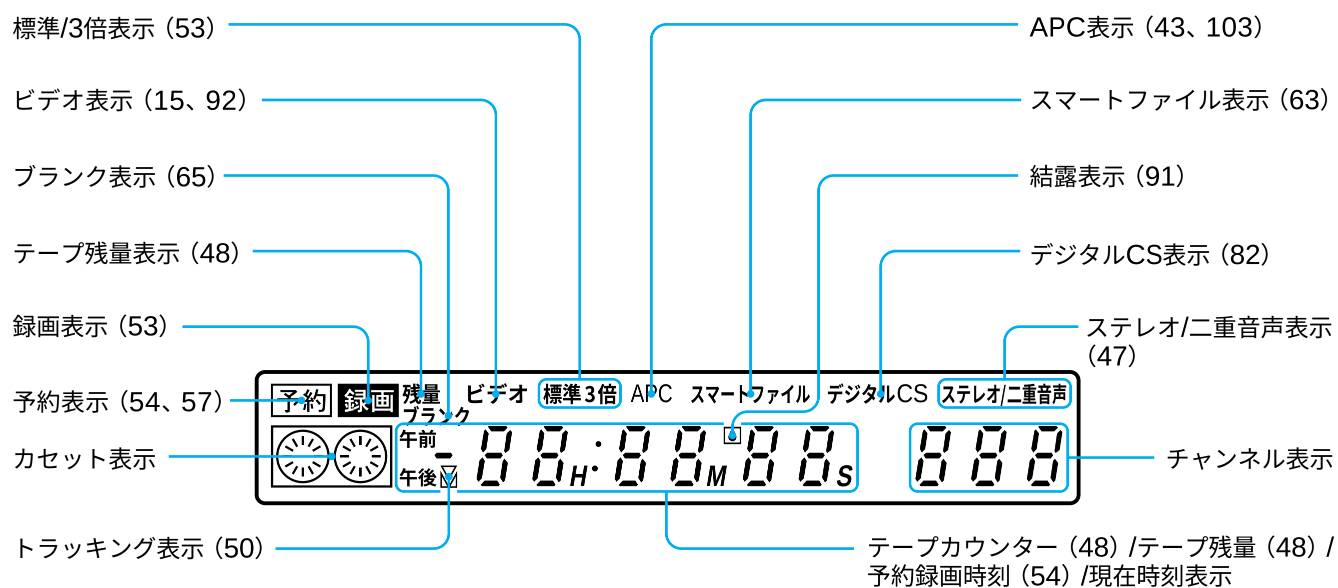
後面



次のページにつづく

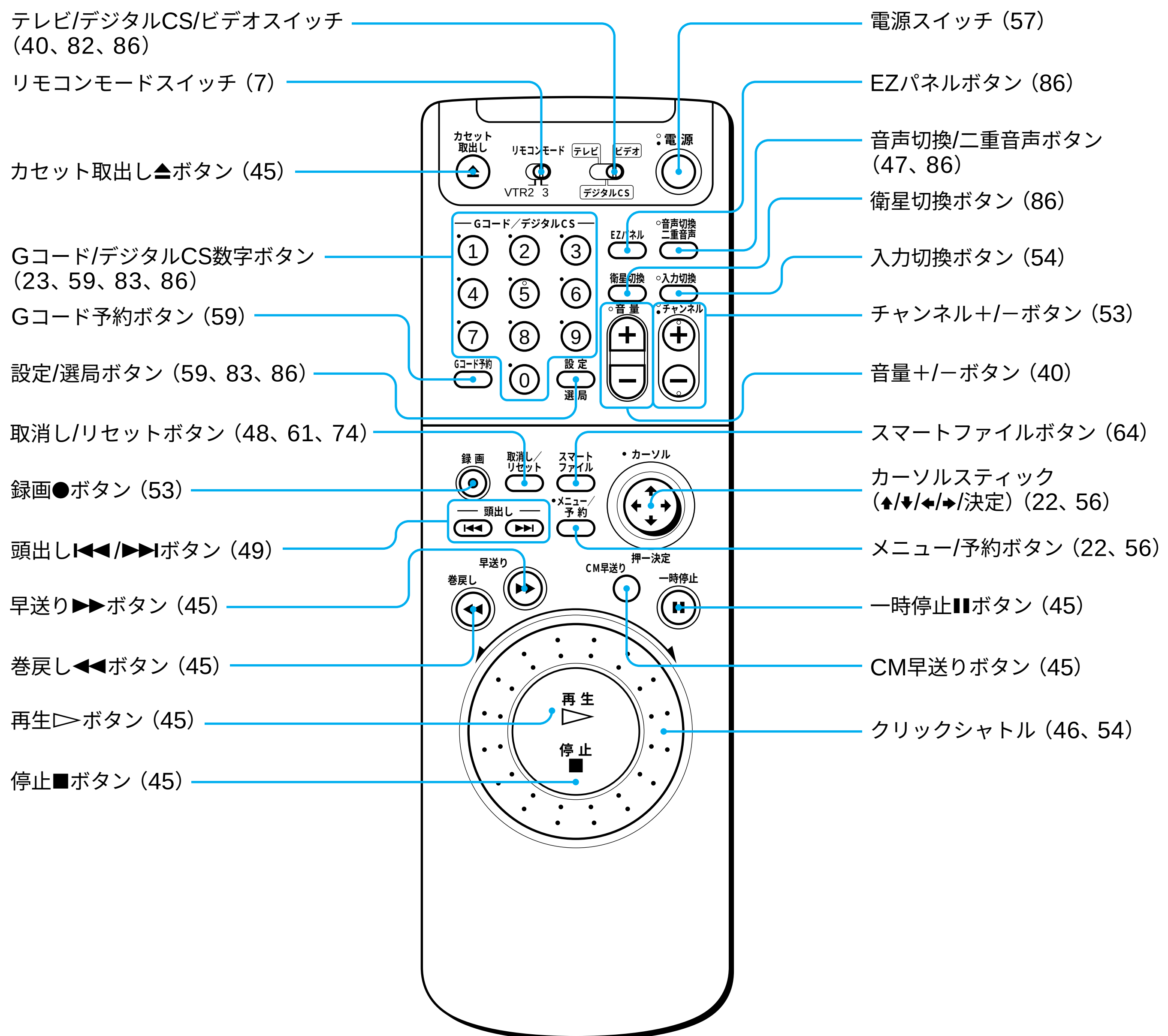
各部のなまえ（つづき）

本体表示窓



リモコン

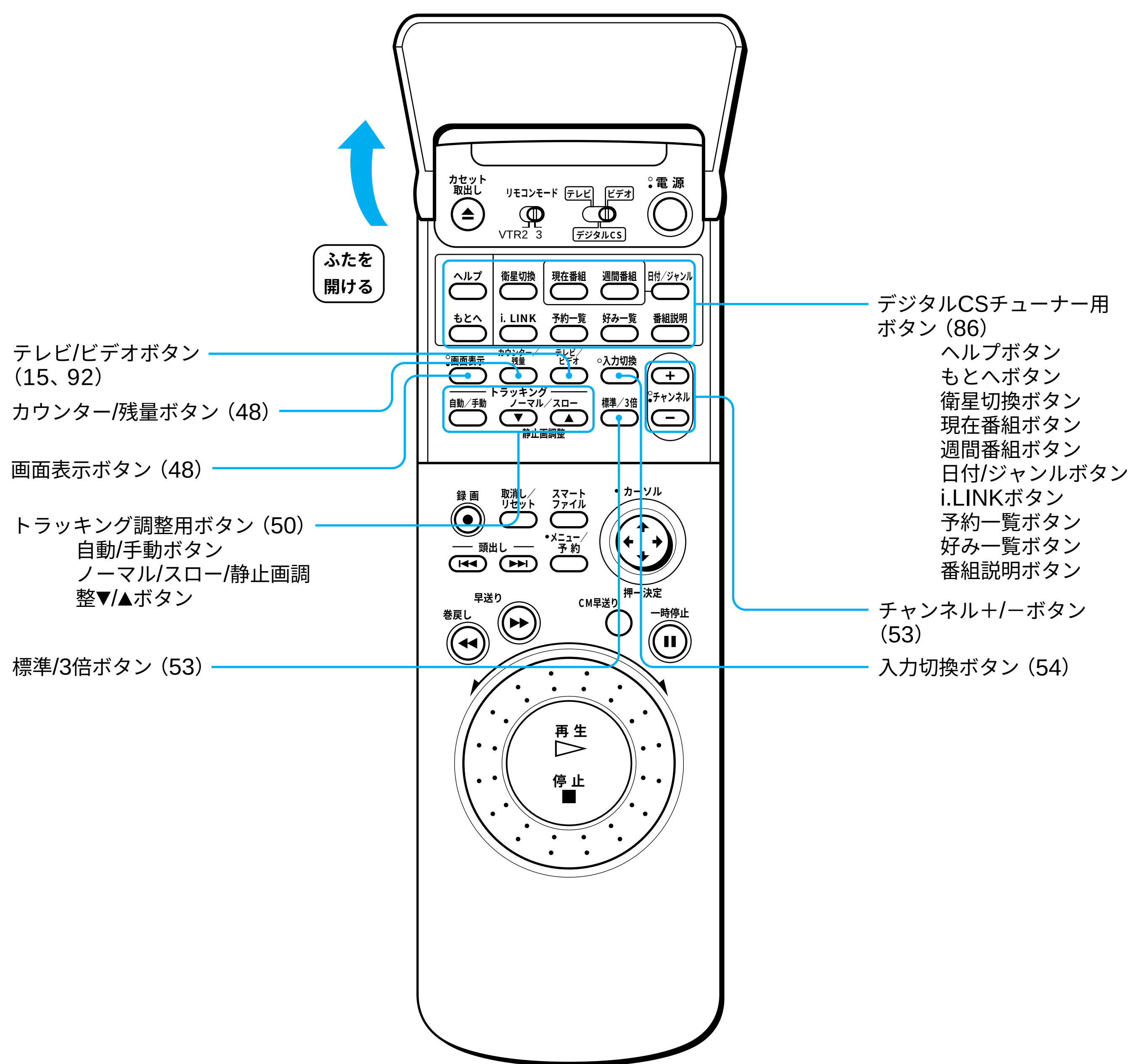
リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

ふたを開けたとき



用語解説

五十音順

カ行

ガイドチャンネル
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号です。

結露（露つき）
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機のドラムやテープに水滴が付くことです。テープがドラムに貼り付いて故障の原因になります。電源を入れたままビデオ本体の表示が消えるまで1時間以上待ってください。

サ行

受信チャンネル
ビデオが放送局を受信したときのチャンネルです。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

タ行

デジタルCS放送
通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができます。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要です。

CSはCommunication Satellite（コミュニケーション・サテライト）の略です。

トラッキング
テープに記録された信号をなぞって読みとるようにすることです。ずれると再生時に画像がチラついたり、雑音が入ったりします。

ナ行

ノーマル音声
ハイファイでないVHSビデオで録画・再生するときやアフレコ機能のあるVHSビデオでアフレコするときに使われるモノラル音声です。

ハ行

ハイファイ音声
ハイファイビデオ（本機など）で再生したときに聞こえる高品質なステレオ音声です。

表示チャンネル
ビデオで放送局を選ぶとき表示されるチャンネルです。お好きな番号に変更することができます。

ヘッド
テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分です。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングしてください。

ヤ行

予約待機
予約をすると、ビデオ本体の「予約」表示が点灯します。これが予約待機（予約録画待ち）の状態です。予約した時間になると自動的に録画が行われます。録画開始時刻に電源が入っていると、録画が行われません。

ラ行

リモコンモードスイッチ
2台以上のソニーのビデオデッキを使うとき、操作したいデッキだけが反応するようにリモコンの信号を切り換えるスイッチです。ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていないと、リモコンでは操作できません。

アルファベット順

APC
他機で録画したVHSテープの再生・録画やレンタルビデオの再生を、テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質にします。本機ではメニューで「APC」を「切」にしない限り常にはたらきます。
APCはAdaptive Picture Control（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）の略です。

bit STREAM
デジタルCS放送などで、すでに圧縮やスクランブルなどの加工をされたデジタル信号のことです。

CATV
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のことです。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略です。

Gコード
一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている、番組を予約するための番号です。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

Printed in Japan

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル　**0120-88-9374**
受け付け時間　**午前9時～午後5時**（年末、年始、祝日を除く毎日）
ご購入の初期に不具合がみつかった場合、必要に応じて、
ご希望の日時に引き取り修理または交換品のお届けをいたします。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111